Canon

Satera MF4270

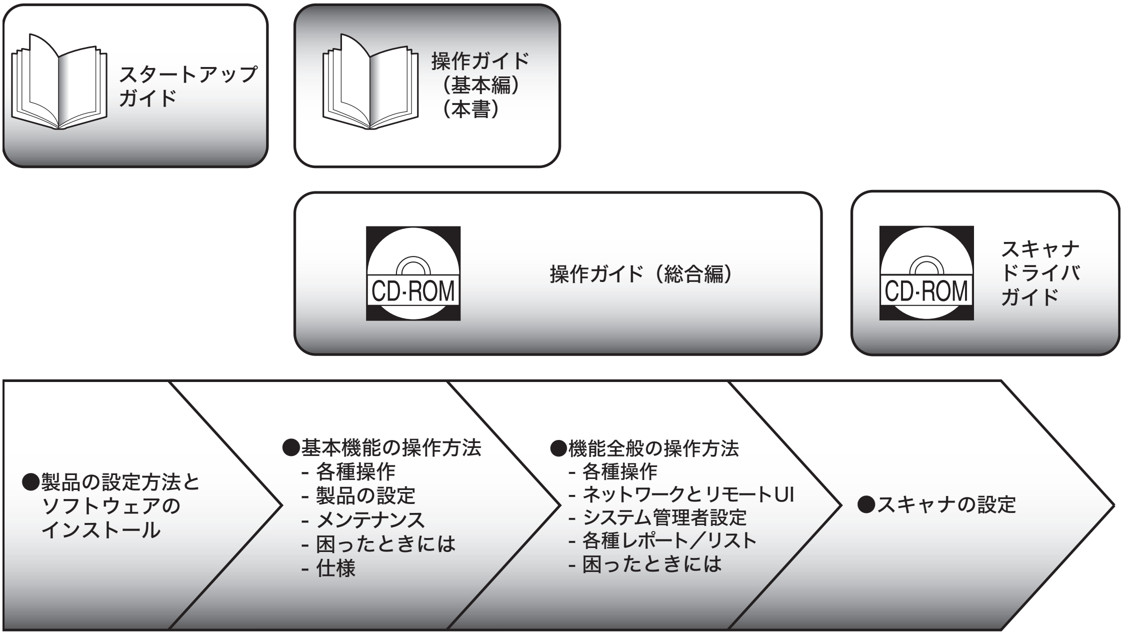
操作ガイド（基本編）



ご使用前に必ず本書をお読みください。
いつでも使用できるように大切に保管してください。

JPN

取扱説明書の分冊構成について



- PDF 形式のマニュアルを表示するには、Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader が必要です。ご使用のシステムに Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader がインストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードし、インストールしてください。
- 本書は、改良のため画面などは予告なく変更されることがあります。正確な仕様が必要な場合はキヤノンまでお問い合わせください。
- 本書に万一ご不審な点や誤り、または記載漏れなどお気付きのことがありましたら、ご連絡ください。
- 本書の内容を無断で転載することは禁止されています。

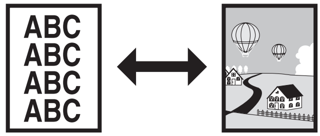
こんなことができます

コピー機能

原稿の種類に合わせて、画質を調節する

コピー画質の調節

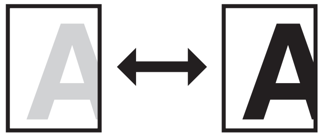
→ P.3-3



原稿の読み取り濃度を調整する

読み取り濃度の調節

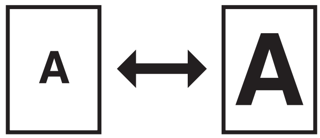
→ P.3-4



コピーを拡大／縮小する

拡大／縮小コピー

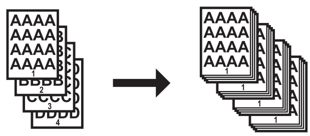
→ P.3-6



ページ順に並べる

ソートコピー

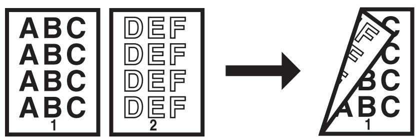
→ P.3-8



両面にコピーする

両面コピー

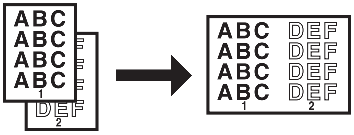
→ P.3-12



2 枚の原稿を 1 枚の用紙にコピーする

2 in 1

→ P.3-10

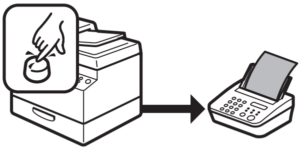


ファクス機能

ボタン 1 つで宛先を指定する

ワンタッチダイヤル

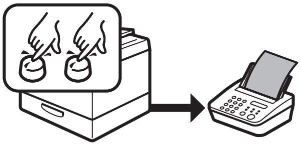
→ P.4-17



2 桁の番号で宛先を指定する

短縮ダイヤル

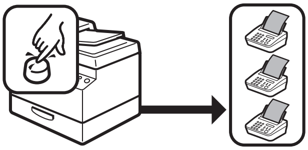
→ P.4-19



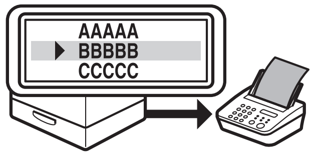
複数の宛先を 1 つの宛先として指定する

グループダイヤル

→ P.4-20



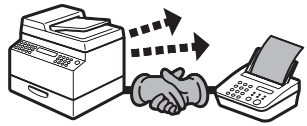
宛先を検索する



宛先表からのダイヤル

→ P.4-21

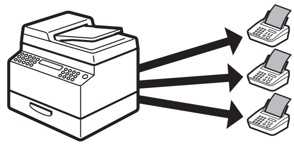
通話中の場合かけなおす



リダイヤル

→ 操作ガイド（総合編）「第 4 章 送信と受信」「ファクスダイヤル機能」

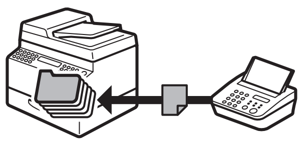
複数の宛先に文書を送る



同報送信

→ 操作ガイド（総合編）「第 4 章 送信と受信」「送信応用機能」

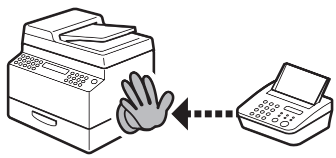
受信した文書をプリントしないでメモリに蓄積する



メモリ受信

→ 操作ガイド（総合編）「第 4 章 送信と受信」「受信応用機能」

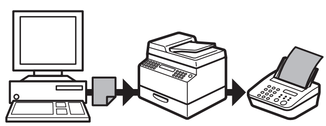
番号非通知のファクスの受信を拒否する



DM 制限

→ 操作ガイド（総合編）「第 4 章 送信と受信」「受信応用機能」

コンピュータからファクスを送信する

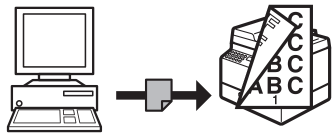


PC ファクス

→ オンラインヘルプ

プリンタ機能

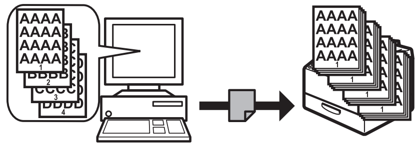
コンピュータからプリントする



プリント

→ オンラインヘルプ

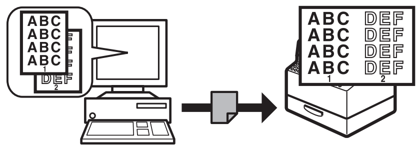
出力紙をページ順に並べる



ソートプリント

→ P.6-3

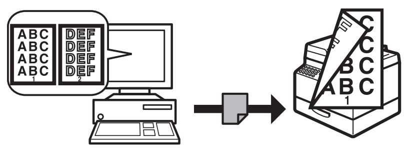
2 枚の原稿を 1 枚の用紙にプリントする



2 in 1

→ P.6-4

両面にプリントする

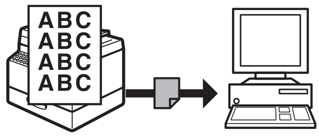


両面プリント

→ P.6-5

スキャナ機能（USB 接続のみ）

画像に合わせてスキャナを設定する



スキャナ

→　スキャナドライバガイド「MF Toolbox を設定する」

リモート UI 機能

コンピュータから本製品を管理する

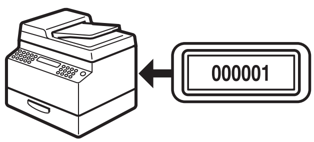


リモート UI

→　操作ガイド（総合編）「第 7 章 リモート UI」

システム管理機能

システム管理設定の内容を暗証番号で保護する



システム管理設定

→　操作ガイド（総合編）「第 8 章 システム管理設定」「システム管理暗証番号を設定する」

目次

はじめに

このたびはキヤノン製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。本製品をお使いになる前に、安全のために以下の注意事項をよくお読みください。

安全にお使いいただくために

警告

本書で指示された部位を除き、本製品をご自分で分解したり、修理したりしないでください。感電などの原因になることがあります。本製品の修理については、お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センターにご連絡ください。

取り扱いと保守／点検について

注意

プリントされた用紙は熱くなっている場合があります。排紙トレイから用紙を取り除くときや用紙を揃えるときは、やけどをしないように注意してください。

- 本製品に貼ってある注意ラベルの指示に従ってください。
- 本製品に強い衝撃や振動を与えないでください。
- 本製品を移動または清掃するときは電源コードを抜いてください。
- 紙づまりを防ぐために、プリント中は電源の入切、操作パネル部や後ろカバーの開閉、用紙の出し入れをしないでください。
- 本製品を移動する場合は、トナーカートリッジを必ず本体から取り外してください。
- トナーカートリッジは、光にさらさないように、購入時に収められていた保護袋に入れるか、厚手の布でくるんでください。
- 持ち運ぶときは、本製品の左右にある取っ手をしっかりと持ってください。用紙カセットや金具部分は、絶対に持たないでください。
- 本製品の内部に異物を入れないでください。異物が製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になることがあります。
- 製品内部にピンやクリップ、ホチキスの針などの金属片を落とさないでください。
- 水などの液体をこぼさないように、本製品の近くでは飲食しないでください。
- 定期的に本製品を清掃してください。ほこりなどがたまると正しく動作しないことがあります。
- 電話回線の抵抗値と本製品の抵抗値の合計が 1700Ω を超える場合など、電話回線や地域などの条件によって通信できないことがあります。このようなときには、お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センターにご相談ください。

- 以下のような場合は本製品の主電源スイッチを切り、電源コードを抜いて、お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センターにご連絡ください。
  - 電源コードやプラグが傷んだり、断線しているとき
  - 本製品の中に水などの液体がこぼれたとき
  - 本製品が雨や水に濡れたとき
  - 同梱の取扱説明書の手順どおりに操作しても本製品が正常に動作しないとき
    手順にない不正な調整をしてしまうと、故障の原因となったり、正常な動作に戻すまでに特殊な修理が必要となったりしますのでご注意ください。
  - 本製品を落としたり、傷つけたりしたとき
  - 本製品の動作に明らかに異常がみられるとき、エラーランプが点滅し続けるとき
- 本製品の補修用性能部品の最低保有期間は、本製品製造打ち切り後 7 年間です。
- レーザー光は、人体に有害となる恐れがあります。そのため本製品では、レーザー光はレーザースキャナユニット内にカバーで密封されており、お客様が通常の操作をする場合にはレーザー光が漏れる心配は全くありません。安全のために以下の注意事項を必ずお守りください。
  - 本書で指示された以外のカバーは、絶対に開けないでください。
  - 本製品に貼ってある以下の注意ラベルをはがさないでください。



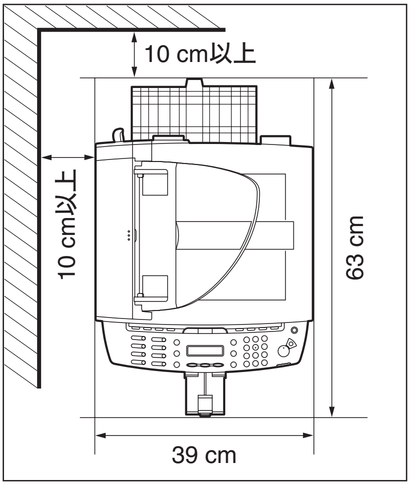
  - この製品は IEC60825-1:1993 においてクラス 1 レーザ製品であることを確認しています。
  - 万一レーザー光が漏れて目に入った場合、目に障害が起こる原因になることがあります。

⚠ 注意

ここに規定されている以外のことをした場合は、危険なレーザー光が漏れる可能性があります。

設置について

- 平らで、ぐらつきや振動がなく、本製品をしっかりと支えられる場所に設置してください。
- 涼しくて湿気やほこりがなく、風通しの良い場所に設置してください。
- ちりやほこりがない環境でお使いください。
- 高温多湿にならない環境でお使いください。
- 直射日光の当たる場所に設置しないでください。故障の原因になることがあります。窓の近くに設置する場合は、厚手のカーテンまたは日よけを窓に取り付けてください。
- 水気のある場所では使用しないでください。湿気を含んだ物を本製品に近づけないようにしてください。
- 屋外での使用や設置は避けてください。
- スピーカーなど磁気を含んだ機器や、磁界を生じる機器の近くに設置しないでください。
- 本製品の通気口を壁や物でふさがないように設置してください。また、ベッドやソファー、毛足の長いじゅうたんなどの上に設置しないでください。通気口がふさがれると製品内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。通気口は壁や他の機器などから 10cm 以上離して設置してください。



＊操作パネル部を持ち上げた場合、奥行きは 75.5cm となります。

- いつでも電源コードが抜けるように、電源コードの周りには物を置かないでください。異常な音や煙、熱、変なにおいなどが発生した場合は、直ちに主電源スイッチを切り、電源コードを抜いて、お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センターにご連絡ください。
- 電源コードの上に物を置かないでください。また、電源コードを踏んだり、束ねたり、結んだりしないでください。
- 使用中の製品からは、オゾンが発生しますが、その量は人体に影響を及ぼさない程度です。ただし、換気の悪い部屋で長時間使用する場合や、大量にプリントする場合には、快適な作業環境を保つため、部屋の換気をするようにしてください。

電源について

- 雷が鳴ったら、すぐに主電源スイッチを切り、電源コードを抜いてください。
- 電源コードを抜いたときは差しなおすまでに 5 分以上間隔をおいてください。
- 電源コードを無停電電源に接続しないでください。

⚠ **警告**

本製品から微弱な磁気が出ています。心臓ペースメーカーをご使用の方は、異常を感じたら本製品から離れてください。そして直ちに、医師にご相談ください。

資源再利用について

キヤノンでは環境保全ならびに資源の有効活用のため、リサイクルの推進に努めております。回収窓口が製品により異なりますので、以下の内容をお読みいただき、ご理解とご協力をお願いします。

● **使用済み複写機の受け入れ場所について**

使用済みとなった複写機につきましては、次のように回収を行っています。お問い合わせ先に注意してご連絡願います。

	キヤノンでは、環境保全と資源の有効活用のため、回収されたオフィス用、使用済み複写機のリサイクルを推進しています。 使用済みの複写機の回収については、お買い求めの販売店、または弊社お客様相談センターもしくは担当の営業にお問い合わせください。 なお、事情により回収にご協力いただけない場合には、廃棄物処理法に従い処分してください。

● **使用済みトナーカートリッジなどの回収について**

使用済みとなったトナーカートリッジなどにつきましては、次のように回収を行っています。お問い合わせ先に注意してご連絡願います。

	キヤノンでは、環境保全と資源の有効活用のため、使用済みトナーカートリッジの回収とリサイクルを推進しています。 使用済みトナーカートリッジの回収については、担当のサービス店、または弊社お客様相談センターにお問い合わせください。 なお、事情により回収にご協力いただけない場合には、トナーがこぼれないようにビニール袋などに入れて、地域の条例に従い処分してください。

カスタマーサポート

本製品は、メンテナンスフリーで安心してお使いいただけるように作られています。操作上問題が発生したときは、「第 11 章 困ったときには」を参照してください。それでも解決しない場合や点検が必要と考えられる場合には、お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センター（巻末参照）にご連絡ください。

本書の読みかた

マークについて

本書では、本製品を使用する上で安全のためにお守りいただきたいことや、役に立つ情報に下記のマークを付けています。

警告

取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。

注意

取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。

メモ

操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。

また本書では、操作するキー、ディスプレイに表示されるメッセージ、コンピュータ画面上のボタンや項目を以下のように表記しています。

- キー名称：[ストップ／リセット]
- ディスプレイ：＜ヨウシヲ　ホキュウシテクダサイ＞
- コンピュータ画面上のボタンおよび選択項目：[詳細設定]

本書の操作説明で使用している操作パネル図中の番号は、操作手順の番号に対応しています。

略称について

本書では、日本郵政公社製のはがきを郵便はがきと記載しています。

規制について

本体製品名称について

この製品は、販売されている地域の安全規制に従って、以下の（）内の名称で登録されている場合があります。
MF4270（F152900）

電波障害規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
通信ケーブルはシールド付をご使用ください。

高調波の抑制について

本機器は社団法人日本事務機械工業会が定めた複写機及び類似の機器の高調波対策ガイドライン（家電・汎用品高調波抑制対策ガイドラインに準拠）に適合しています。

国際エネルギースタープログラムについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。
国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしてオフィス機器の省エネルギー化推進のための、国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により、参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機などのオフィス機器で、それぞれの基準並びにマーク（ロゴ）は、参加各国の間で統一されています。

物質エミッションの放散に関する認定基準について

粉塵、オゾン、スチレンの放散については、エコマーク No117「複写機 Version2.0」の物質エミッションの放散に関する認定基準を満たしています。（トナーは本製品用に推奨しておりますキヤノン　カートリッジ　304 を使用し、白黒複写を行った場合について、試験方法：RAL-UZ62:2002 の付録 3 ～ 5 に基づき試験を実施しました。）

原稿などを読み込む際の注意事項

以下を原稿として読み込むか、あるいは複製したり、加工したりすると、法律により罰せられる場合がありますのでご注意ください。

● 著作物など
他人の著作物を権利者に無断で複製などすることは、個人的または家庭内その他これに準ずる限られた範囲においての使用を目的とする場合を除き違法となります。また、人物の写真などを複製する場合には肖像権が問題となることがあります。

● 通貨、有価証券など
以下のものを本物と偽って使用する目的で複製すること、またはその本物と紛らわしいものを作成することは法律により罰せられます。

- 紙幣、貨幣、銀行券（外国のものを含む）
- 国債証券、地方債証券
- 郵便為替証書
- 郵便切手、印紙
- 株券、社債券
- 手形、小切手
- 定期券、回数券、乗車券
- その他の有価証券

● 公文書など
以下のものを本物と偽って使用する目的で偽造することは法律により罰せられます。

- 公務員または役所が作成した免許証、登記簿謄本その他の証明書や文書
- 私人が作成した契約書その他権利義務や事実証明に関する文書
- 役所または公務員の印影、署名または記号
- 私人の印影または署名

［関係法律］
- 刑法
- 著作権法
- 通貨及証券模造取締法
- 外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券
- 証券偽造変造及模造ニ関スル法律
- 郵便法
- 郵便切手類模造等取締法
- 印紙犯罪処罰法
- 印紙等模造取締法

商標について

Canon、Canon ロゴ、および Satera はキヤノン株式会社の商標です。
Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

著作権について

免責事項

本書の内容は予告なく変更することがありますのでご了承ください。
キヤノン株式会社は、ここに定める場合を除き、市場性、商品性、特定使用目的の適合性、または特許権の非侵害性に対する保証を含め、明示的または暗示的にかかわらず本書に関していかなる種類の保証を負うものではありません。キヤノン株式会社は、直接的、間接的、または結果的に生じたいかなる自然の損害、あるいは本書をご利用になったことにより生じたいかなる損害または費用についても、責任を負うものではありません。

1 お使いになる前に

各部の名称とはたらき



A　ADF（自動原稿給紙装置）
セットされた原稿を自動的に読み込み位置に送ります。

B　原稿ガイド
原稿の幅に合わせて調節します。

C　原稿給紙トレイ
原稿をセットします。

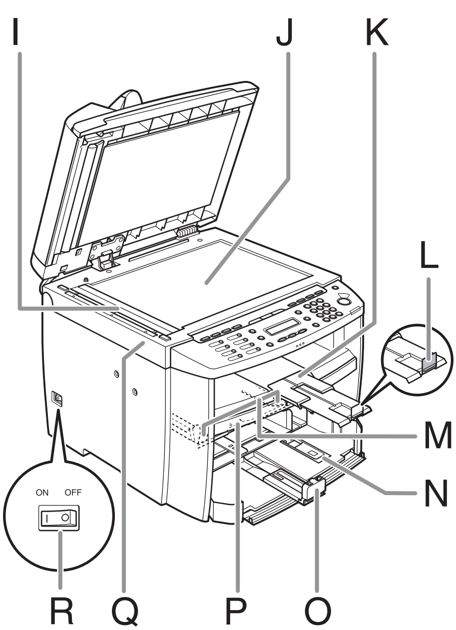
D　原稿排紙トレイ
原稿が排出されます。

E　操作パネル
本製品を操作します。

F　排紙トレイ
コピー、プリント、ファクスなどの出力紙を排出します。

G　用紙カセット
用紙をセットします。

H　用紙カバー
用紙カセット内の用紙をほこりやチリから保護します。



I　ADF 読み取りエリア
ADF にセットされた原稿を読み取ります。

J　原稿台ガラス
原稿をセットします。

K　排紙補助トレイ
引き出して使用します。

L　排紙ストッパー
排紙トレイから出力紙が落ちるのを防ぎます。A4 サイズの用紙で出力する場合に、ストッパーを開いて使用します。

M　手差しトレイ用紙ガイド
用紙の幅に合わせて調節します。

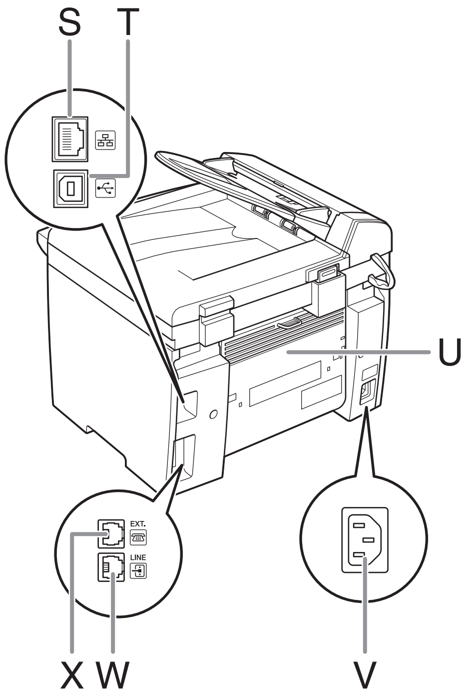
N　はがき用ガイド
はがきをセットするときに使います。

O　用紙後端ガイド
用紙の後端を押さえます。

P　手差しトレイ
手差しで１枚ずつプリントするときに使用します。

Q　操作パネル部
トナーカートリッジの交換や、つまった用紙を取り除くときに開きます。

R　主電源スイッチ
電源を入れたり、切ったりします。



S　LAN ポート
ネットワークケーブルを接続します。

T　USB ポート
USB ケーブルを接続します。

U　後ろカバー
つまった用紙を取り除くときに開きます。

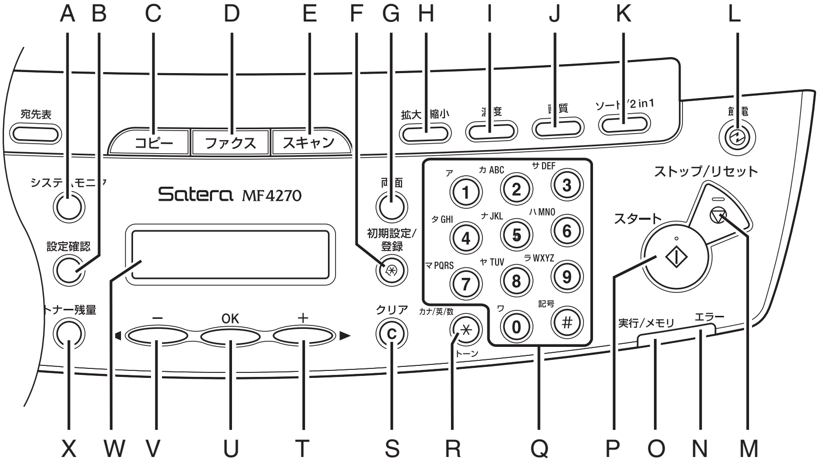
V　電源ソケット／アース端子
電源コードおよびアース線を接続します。

W　電話回線端子
電話線コードを接続します。

X　外付け電話機用端子
外付け電話機を接続します。

操作パネル

メイン操作パネル



A　［システムモニタ］キー
プリント状況、コピー状況、送受信状況、送受信履歴、転送エラー状況、メモリ残量、またはレポート出力状況を確認するときに使います。

B　［設定確認］キー
コピーの設定を確認するときに使います。

C　［コピー］キー
コピーモードに切り替えます。

D　［ファクス］キー
ファクスモードに切り替えます。

E　［スキャン］キー
スキャンモードに切り替えます。

F　［初期設定／登録］キー
各種の設定、登録をするときに使います。

G　［両面］キー
両面コピーを設定するときに使います。

H　［拡大／縮小］キー
コピーの拡大／縮小率を設定するときに使います。

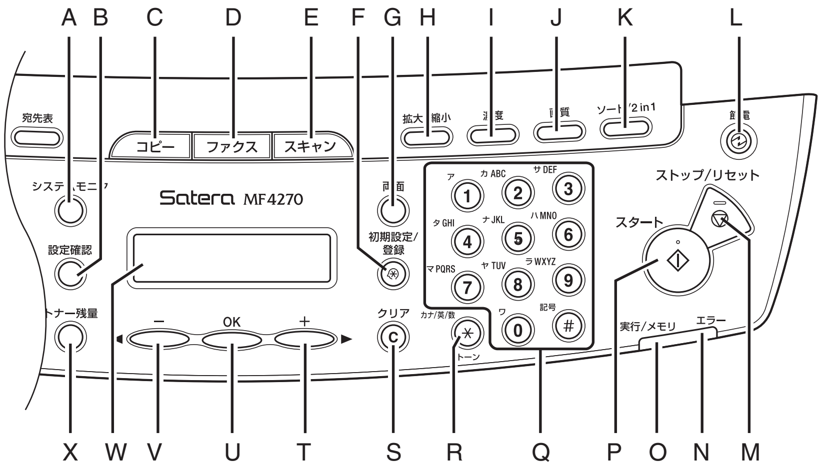
I　［濃度］キー
コピーや送信原稿の濃度を調整するときに使います。

J　［画質］キー
コピーやファクスの画質を設定するときに使います。

K　［ソート／２ in 1］キー
ソートコピーや２ in １コピーを設定するときに使います。

L　［節電］キー
手動で節電状態に設定したり解除したりするときに使います。節電状態のときはグリーンに点灯します。

M　［ストップ／リセット］キー
ジョブを中止するときに使います。また、待受画面に戻るときにも使います。



N　エラーランプ
エラーが発生したときに点滅します。

O　実行／メモリランプ
本製品が動作中に点滅します。待機中のジョブがあるとき、およびメモリにデータが蓄積されているときは点灯します。

P　［スタート］キー
コピー、スキャン、ファクス送信などを開始するときに使います。

Q　テンキー
文字や数字を入力するときに使います。

R　［トーン］キー
プッシュ回線とダイヤル回線を切り替えるときに使います。

S　［クリア］キー
入力した文字や数字を削除するときに使います。

T　［+►］キー
設定する数値を上げるときに使います。また、次のメニュー項目を表示するときにも使います。

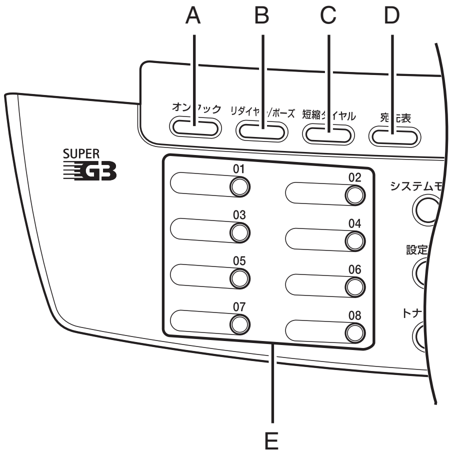
U　［OK］キー
設定、登録した内容を確定するときに使います。

V　［◄−］キー
設定する数値を下げるときに使います。また、前のメニュー項目を表示するときにも使います。

W　ディスプレイ
メッセージや動作状況を表示します。設定操作中は選択項目、テキスト、数字などを表示します。

X　［トナー残量］キー
トナー残量を確認するときに使います。

ファクス操作パネル



A　［オンフック］キー
外付け電話機の受話器を置いたままダイヤルするときに使います。

B　［リダイヤル／ポーズ］キー
最後に指定した宛先を呼び出すときに使います。また、ファクス番号にポーズを挿入するときに使います。

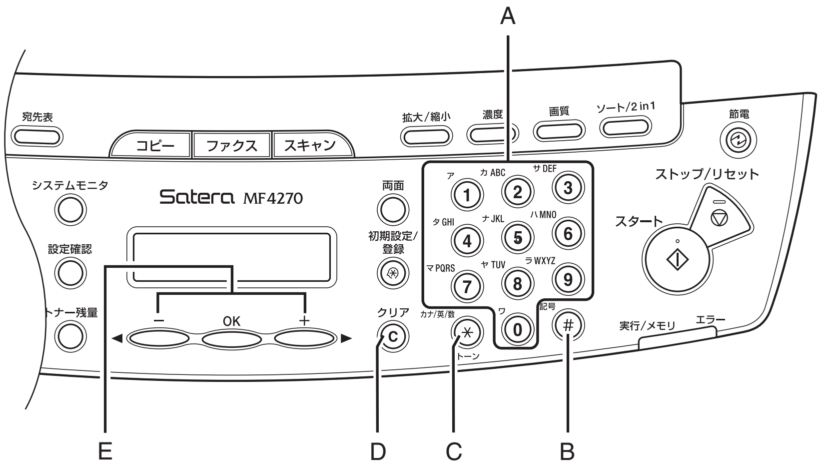
C　［短縮ダイヤル］キー
短縮ダイヤルに登録した宛先を指定するときに使います。

D　［宛先表］キー
ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに登録した宛先を相手先の名前から検索するときに使います。

E　ワンタッチダイヤルキー
ワンタッチダイヤルに登録した宛先を指定するときに使います。

文字の入力方法

宛先の登録の際などに、文字の入力を促す画面が表示されます。
以下のボタンを使用して、文字を入力します。



A　文字の入力は操作パネルのテンキーを使います。入力したい文字が表示されるまでテンキーを繰り返し押します。

B　記号を入力するには、[#] を押します。

C　入力モードを切り替えるには [＊] を押します。
- [ｱ]：カナモード
- [A]：アルファベットモード
- [1]：数字モード

D　カーソルの位置で文字を削除するには、[クリア] を押します。文字をすべて削除するには、[クリア] を長押しします。

E　カーソルを動かすには、[◄−] または [+►] を押します。

入力モードを切り替えることにより、以下の文字を入力できます。

＊	[ア]	[A]	[1]
1	アイウエオ		1
2	カキクケコ	ABCabc	2
3	サシスセソ	DEFdef	3
4	タチツテト	GHIghi	4
5	ナニヌネノ	JKLjkl	5
6	ハヒフヘホ	MNOmno	6
7	マミムメモ	PQRSpqrs	7
8	ヤユヨ	TUVtuv	8
9	ラリルレロ	WXYZwxyz	9
0	ワヲン アイウエオヤユヨツ	0	
#	(スペース) ゛(濁音) ゜(半濁音) 。「」、・−	(スペース) − . ＊ # ! " , ; : ^ ` _ = / | ´ ? $ @ % & + ( ) [ ] { } < >	#

文字を入力する

例：「キヤノン」と入力します。

1 **画面入力モードが［ｱ］になっていることを確認します。**

例）

```
ナマエ                    [ア]
_
```

メモ

入力モードは［＊］を押すたびに、カナ→アルファベット→数字と変わり、数字の次は最初のカナに戻ります。

2 **②を繰り返し押して、「キ」を入力します。**

例）

```
ナマエ                    [ア]
キ
```

3 **⑧を繰り返し押して、「ヤ」を入力します。**

例）

```
ナマエ                    [ア]
キヤ
```

4 **⑤を繰り返し押して、「ノ」を入力します。**

例）

```
ナマエ                    [ア]
キヤノ
```

5 **⓪を繰り返し押して、「ン」を入力します。**

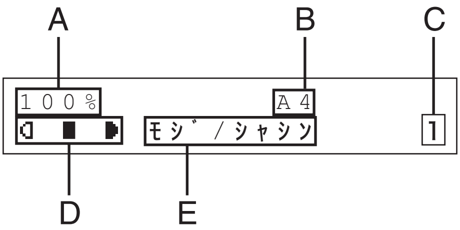
例）

```
ナマエ                    [ア]
キヤノン
```

6 **［OK］を押して、入力を確定します。**

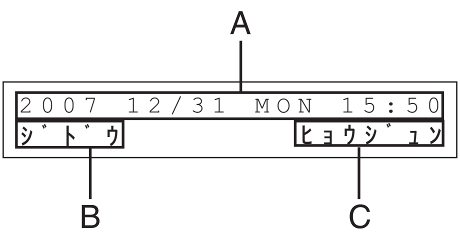
ディスプレイ（待受画面）

コピーモード



A　ズーム倍率
B　用紙サイズ
C　部数
D　濃度
E　画質

ファクスモード



A　日付／時刻
B　受信モード
C　画質

スキャンモード



メモ

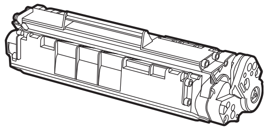
- 必要に応じて、主電源スイッチを入れたときに表示される待受画面を変更することができます。変更する場合は、[初期設定／登録]→＜キョウツウ　シヨウ セッテイ＞→＜ショキキノウノ　セッテイ＞で設定登録を行ってください。（→メニューの設定内容：P.12-3）
- 主電源スイッチを入れると、ディスプレイに＜シバラク　オマチクダサイ＞と表示されたのち、待受画面に切り替わります。
- 1 分間何も操作をしないと、ディスプレイが待受画面に戻ります。

トナーカートリッジ

本製品に対応するキヤノン純正カートリッジの寿命は、約 2,000 ページです。このページ数は、「ISO/IEC 19752」* に基づき、工場出荷時の印字濃度設定のままで、A4 サイズの用紙に印刷した場合の値です。トナー消費量は、印刷する書類の内容によって異なります。図、表、グラフなどを多用した、空白部分が少ない書類はトナー消費量が多くなるので、トナーカートリッジの寿命が短くなります。トナーカートリッジの交換の際は、必ず本製品専用のトナーカートリッジを使用してください。

* 「ISO/IEC 19752」とは、国際標準化機構（International Organization for Standardization）より発行された「印字可能枚数の測定方法」に関する国際標準です。

トナーカートリッジ名：
カートリッジ　304



機種名	対応するキヤノン純正カートリッジ	印字枚数
MF4270	カートリッジ　304	A4 サイズで約 2,000 枚

トナーカートリッジの取り扱い

- トナーカートリッジをコンピュータ画面やディスクドライブ、フロッピーディスクなどに近づけないでください。トナーカートリッジ内部のマグネットによって破損する恐れがあります。
- トナーカートリッジは、高温多湿や急激に温度が変化するような場所および火気のある場所に保管しないでください。
- トナーカートリッジを、直射日光や電灯の光に 5 分以上さらさないでください。
- トナーカートリッジは保護袋に入れて保管し、本製品に取り付けるまで保護袋から取り出さないでください。
- トナーカートリッジの保護袋は保管しておいてください。本製品を移動するときなどに必要になります。
- トナーカートリッジを、塩分を含んだ空気や、エアゾールスプレーなどから出る腐食性ガスが充満している場所に保管しないでください。
- 必要なとき以外は、トナーカートリッジを取り外さないでください。
- トナーカートリッジのドラム保護シャッターを開けないでください。ドラム表面を光にさらしたり、傷つけたりすると、プリント品質が低下する恐れがあります。
- トナーカートリッジを取り扱う際は、ドラム保護シャッターに触れないように必ず取っ手を持ってください。
- トナーカートリッジを立てて置いたり、逆さにしたりしないでください。トナーカートリッジ内部でトナーが固まってしまい、振っても元に戻らなくなることがあります。
- 使用済みトナーカートリッジを廃棄する場合は、トナー容器を保護袋に入れてトナーが飛び散らないようにし、自治体の指示に従って処理してください。
- トナーカートリッジからトナーが漏れたときは、吸い込んだり直接皮膚につけたりしないように注意してください。皮膚についた場合は、石鹸を使い水で洗い流し、刺激が残る場合や吸い込んだ場合には直ちに医師に相談してください。
- トナーカートリッジを本体から取り外すときは、トナーが飛び散って目や口などにトナーが入らないように、丁寧に取り出してください。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。
- トナーなどの消耗品は幼児の手が届かないところへ保管してください。もしトナーを飲んだ場合は、直ちに医師と相談してください。
- トナーカートリッジは分解しないでください。トナーが飛び散って目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。

注意

トナーが発火してやけどの原因になることがあるので、トナーカートリッジを火の中に投げ入れないでください。

トナー残量の確認

［トナー残量］を押して、トナーカートリッジのトナー残量を確認できます。トナー残量はディスプレイに 4 段階で表示されます。
トナーカートリッジが寿命の場合は、トナーカートリッジを交換してください。
（→トナーカートリッジを交換する：P.10-11）

トナーカートリッジは充分に使用できる状態です。

```
トナーザンリョウ
0%      ■■■■■■      100%
```

通常に使用できる状態です。

```
トナーザンリョウ
0%      ■■■■□□      100%
```

トナーカートリッジの寿命が近づいています。
交換用のトナーカートリッジを用意してください。

```
トナーザンリョウ
0%      ■■□□□□      100%
```

トナーカートリッジが寿命になりました。
トナーカートリッジを交換してください。

```
トナーザンリョウ
0%      □□□□□□      100%
```

メモ

待受画面に戻るには、［ストップ／リセット］を押します。

消耗品のご購入相談窓口

お買い求めの販売店またはお近くのキヤノン販売店にてお買い求めください。ご不明な場合は巻末のキヤノンお客様相談センター（巻末参照）までお問い合わせください。

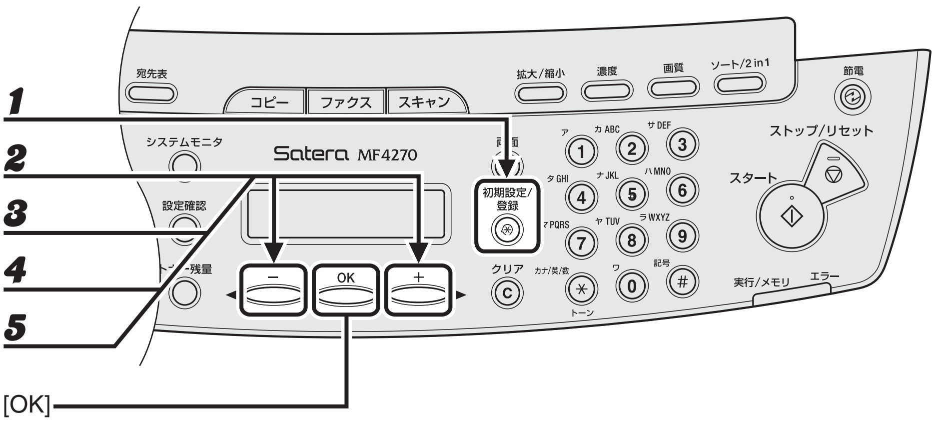
電話回線の種類

電話回線の種類を設定する

初期設定では、電話回線の種別は自動的に判別されるように設定されています。電話回線の種別を自動的に判別する場合は、以下の設定をする必要はありません。
なお、構内交換機（PBX)、ホームテレホン、ビジネスホンに接続している場合は、電話回線の種別が自動的に判別されないことがあります。自動的に判別されない場合は、以下の手順に従い手動で設定してください。
工場出荷時の初期値は<ジドウ>に設定されています。

メモ

電話回線の種別を自動的に判別する場合は、電話線コードを接続してから、電源を入れてください。電源を先に入れた場合、電話回線の種別は自動的に判別されません。



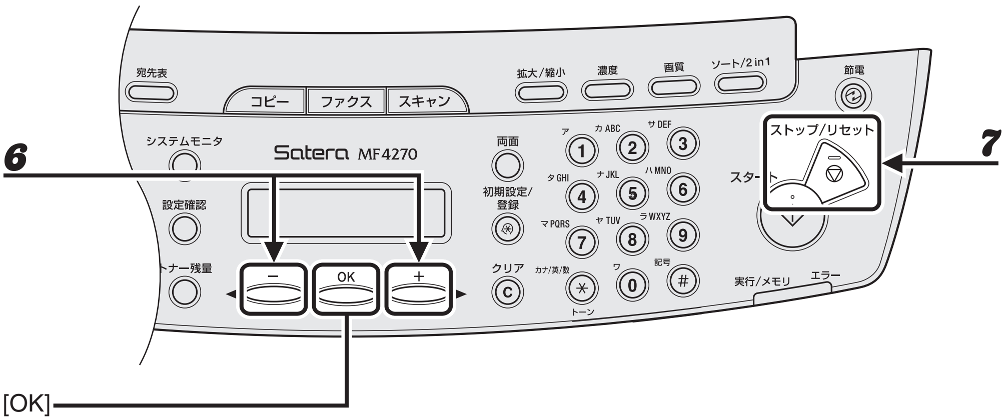
1 ［初期設定／登録］を押します。

2 ［◄ −］または［+ ►］を押して<ファクスセッテイ>を選択し、[OK]を押します。

3 ［◄ −］または［+ ►］を押して<キホントウロク>を選択し、[OK]を押します。

4 ［◄ −］または［+ ►］を押して<カイセン　シュルイ　センタク>を選択し、[OK]を押します。

5 ［◄ −］または［+ ►］を押して<シュドウ>を選択し、[OK]を押します。



6 **［◄ −］または［+ ►］を押して電話回線の種類を選択し、［OK］を押します。**

＜プッシュカイセン＞：お使いの電話がトーン回線の場合に選択します。
＜ダイヤルカイセン＞：お使いの電話がパルス回線の場合に選択します。＜ダイヤルカイセン＞を選択した場合、回線速度を＜ 20PPS ＞か＜ 10PPS ＞から選択します。工場出荷時の初期値は＜ 20PPS ＞に設定されています。

メモ

お使いの電話回線の種類が分からない場合は、ご利用の電話会社にお問い合わせください。

7 **［ストップ／リセット］を押して待受画面に戻ります。**

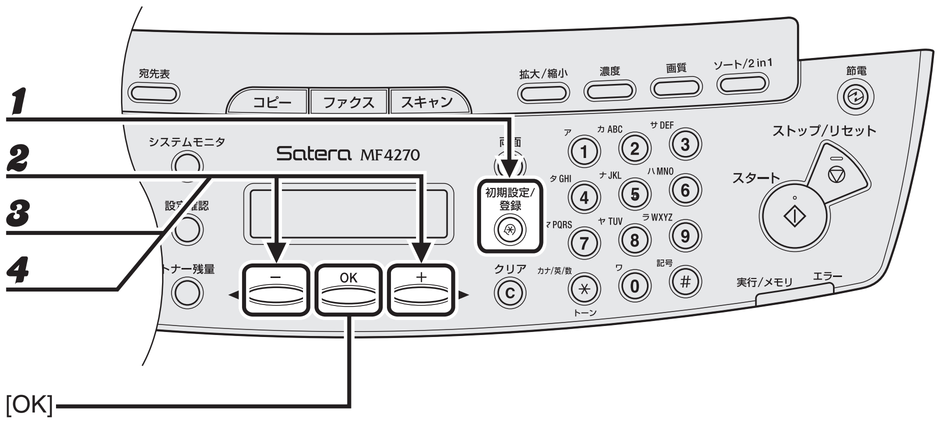
タイマー設定

スリープモードを設定する

本製品はある一定時間何も操作をしないと、自動的に節電状態に移行します（スリープモード）。スリープモードに移行すると、［節電］がグリーンに点灯し、他のランプやディスプレイの表示は消えた状態になります。
工場出荷時の初期値は＜ ON ＞と＜ 5 フン＞に設定されています。

メモ

以下の状態の場合は、スリープモードになりません。
- 本製品が操作中の場合
- 実行／メモリランプが点灯または点滅している場合
- エラーメッセージがディスプレイに表示され、エラーランプが点滅している場合
- 手差しトレイに用紙がセットされている場合
- 本体内で紙づまりが発生している場合
- 外付け電話機の受話器が外れている場合

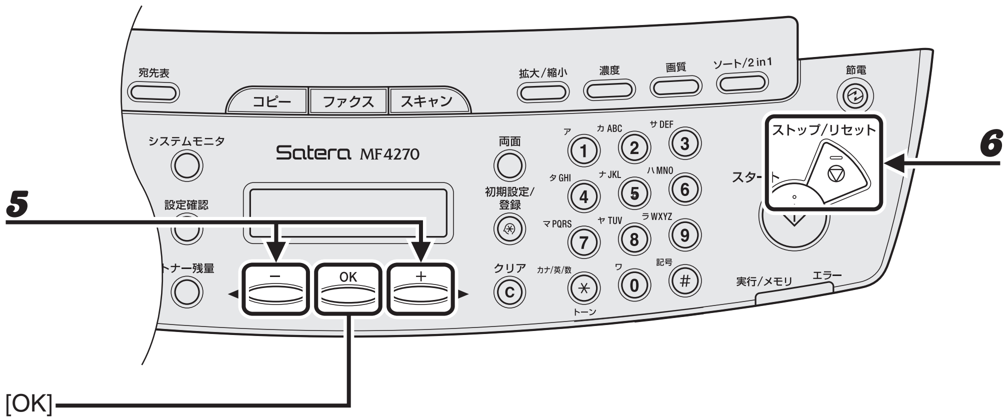


1　［初期設定／登録］を押します。

2　［◄－］または［＋►］を押して＜タイマー　セッテイ＞を選択し、［OK］を押します。

3　［◄－］または［＋►］を押して＜オートスリープ＞を選択し、［OK］を押します。

4　［◄－］または［＋►］を押して＜ ON ＞を選択し、［OK］を押します。



5 [◄ −] または [+ ►] を押して時間を選択し、[OK] を押します。

時間は 3 分〜 30 分の間で設定できます（1 分刻み)。
テンキーを使って数値を入力することもできます。

メモ

初期値は 5 分に設定されています。

6 [ストップ／リセット] を押して待受画面に戻ります。

メモ

- スリープモードに移行すると、[節電] がグリーンに点灯します。
- スリープモードから復帰するには、[節電] を押してください。
- 手動でスリープモードにするには、[節電] を押してください。
- 以下の状態の場合は、スリープモードが解除されます。
  - [節電] が押された場合
  - ファクスを受信した場合
  - 外付け電話機の受話器が外れている場合
  - コンピュータからプリントジョブが送信され、プリントが開始された場合

2 原稿と用紙の取り扱い

使用可能な原稿

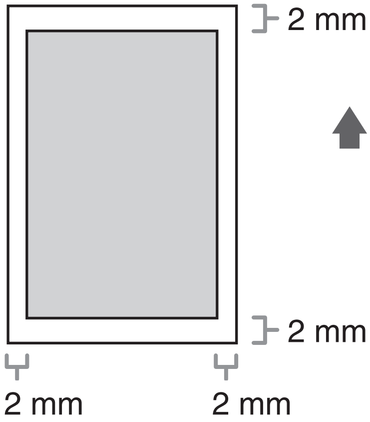
	原稿台ガラス	ADF
原稿の種類	・ 普通紙 ・ 厚紙 ・ 写真 ・ 小型原稿（名刺サイズなど） ・ 特殊紙（トレーシングペーパー *1、OHP フィルム *1 など） ・ 本（厚さ 24mm までのもの）	普通紙（同じサイズ、厚さ、重量の複数枚の原稿、または 1 枚の原稿）
サイズ（幅 x 長さ）	最大 216mm × 297mm	最大 216mm × 356mm 最小 105mm × 148.5mm
重量	最大 2kg	40 ～ 105g/m^2
枚数	1 枚	最大 35 枚 *2

*1 トレーシングペーパーや OHP フィルムなどの透過原稿をコピーする場合は、原稿台ガラスに原稿を下向きにしてセットし、白紙を原稿の上に重ねて置いてください。
*2 80g/m^2 の用紙

- のり、インク、修正液が完全に乾いてから、原稿をセットしてください。
- ADF 内で原稿がつまるのを防ぐために、以下のものは使用しないでください。
  - しわや折り目のある原稿
  - カーボン紙やカーボンバック紙
  - カールした、または巻いた紙
  - コート紙
  - 破れた原稿
  - 薄質半透明紙や薄紙
  - ホッチキスの針またはクリップが付いた紙
  - 熱転写プリンタでプリントされた紙
  - OHP フィルム
- ADF で読み込むことができる原稿は片面のみです。両面原稿の読み込みはできません。

読み取り範囲

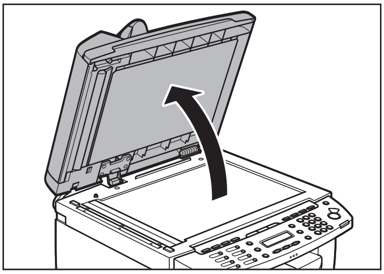
原稿の文字や画像が、以下の図の淡色部分に収まっていることを確認してください。下記の余白は目安であり、実際とは異なる場合があります。



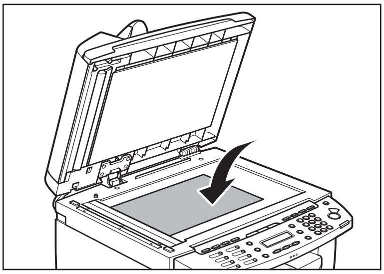
原稿をセットする

原稿台ガラスにセットする

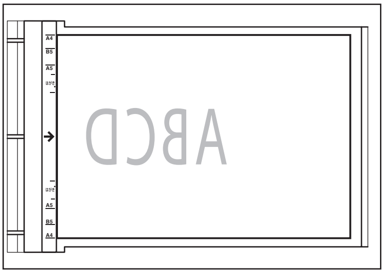
1 原稿台ガラスカバーを開きます。



2 読み取る面を下にして、原稿を原稿台ガラスに置きます。

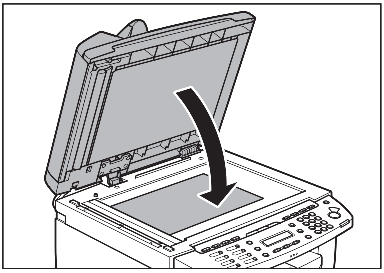


3 用紙サイズマークに合わせて原稿をセットしてください。



原稿が用紙サイズマークに合わない場合は、原稿の中心線を矢印に合わせてください。

4 原稿台ガラスカバーを静かに閉じます。



原稿を読み込む準備ができました。

注意

- **原稿台ガラスカバーを閉じるときは、指をはさまないよう注意してください。けがをする恐れがあります。**
- **原稿台ガラスカバーを無理に閉じないでください。原稿台ガラスが破損してけがをする恐れがあります。**

メモ

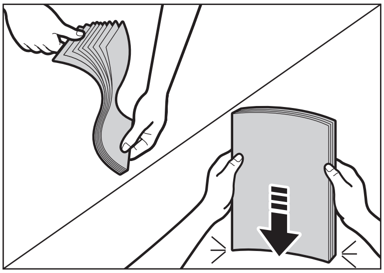
読み込みが完了したら、原稿台ガラスから原稿を取り出してください。

ADF にセットする

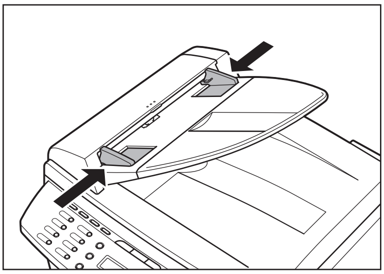
メモ

ADF で読み込むことができる原稿は片面のみです。両面原稿の読み込みはできません。

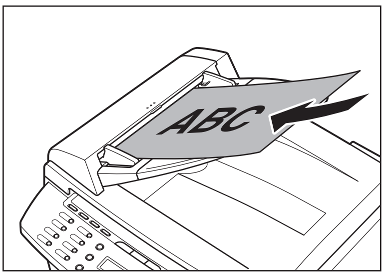
1 原稿をさばいてから、平らな場所で原稿の縁をそろえます。



2 原稿ガイドを原稿の幅に合わせます。



3 読み取る面を上にして、ADF に原稿をセットします。



原稿を読み込む準備ができました。

メモ

- 読み込み中に原稿を追加したり、抜いたりしないでください。
- すべての原稿が読み込まれたら、紙づまりを防ぐために原稿排紙トレイから原稿を取り出してください。
- 30 回以上 ADF で同じ原稿を読み込まないでください。繰り返し読み込まれた原稿は、折りたたまれたり破れたりして、紙づまりを起こすことがあります。
- 鉛筆で書かれた原稿を読み込んで給紙ローラが汚れた場合は、清掃してください。
(→日常のお手入れ：P.10-1)

使用可能な用紙

用紙サイズ

使用できる用紙サイズは以下のとおりです。
表中の◎は片面印刷と自動両面印刷が可能、○は片面印刷のみ可能です。

			用紙カセット	手差しトレイ
枚数			最大 250 枚 （積載高さ 25mm 以下）	最大 1 枚
坪量			60 ～ 128g/m^2	60 ～ 163g/m^2
用紙サイズ	A4		◎*1 *2 *3	○*3
	B5		○	○
	A5		○	○
	レター		◎*1 *2 *3	○*3
	リーガル		○*1	○
	エグゼクティブ		○	○
	郵便はがき（100 × 148mm）		○	○
	郵便往復はがき（148 × 200mm）		○	○
	封筒*4	洋形４号（105 × 235mm）	○	○
		洋形２号（114 × 162mm）	○	○
	オフィシオ		○*1	○
	ブラジルーオフィシオ		○*1	○
	メキシコーオフィシオ		○*1	○
	フォリオ		○*1	○

*1 受信文書およびレポートやリストの印刷が可能です。
*2 受信文書の両面印刷が可能です。自動両面印刷は、64 ～ 80g/m^2 の用紙のみ可能です。
*3 両面コピーが可能です。
*4 用紙カセット：105 ～ 128g/m^2、手差しトレイ：105 ～ 163g/m^2

		用紙カセット	手差しトレイ
用紙サイズ	ガヴァメントーレター	○ *1	○
	ガヴァメントーリーガル	○ *1	○
	FOOLSCAP	○ *1	○
	ユーザ定義用紙	○ *5	○ *5

*1 受信文書およびレポートやリストの印刷が可能です。
*5 コンピュータからプリントするときに使用可能な用紙です。
幅 76 ～ 216mm、長さ 127 ～ 356mm の用紙をセットすることができます。

用紙の種類

使用できる用紙の種類は以下のとおりです。

メモ

＜ B5 ＞、＜ A5 ＞、＜エグゼクティブ＞、＜ヨウガタ　4 ゴウ＞、＜ヨウガタ　2 ゴウ＞、＜ハガキ＞または＜オウフクハガキ＞を選択した場合は、本体の設定とプリンタドライバの設定は必要ありません。

用紙の種類	本体の設定	プリンタドライバの設定	積載枚数（用紙カセット）	積載枚数（手差しトレイ）
普通紙（64 ～ 90g/m^2）	＜フツウシ＞	[普通紙]	170 ～ 250 枚 [*2]	1 枚
	＜フツウシ L ＞ [*1]	[普通紙 L]		
厚紙（105～163g/m^2）	＜アツガミ＞ [*3]	[厚紙]	100 ～ 170 枚 [*2]	1 枚
	＜アツガミ H ＞ [*3 *4]	[厚紙 H]		
再生紙（64～80g/m^2）[*5]	＜フツウシ＞	[普通紙]	100 枚	1 枚
	＜フツウシ L ＞ [*1]	[普通紙 L]		
OHP フィルム [*6]	＜ OHP　フィルム＞	[OHP フィルム]	100 枚	1 枚
はがき [*7]	–	–	20 枚	1 枚
封筒	–	–	20 枚	1 枚

[*1] ＜フツウシ＞を選択してプリントすると用紙がひどくカールする場合は、＜フツウシ L ＞を選択してください。
[*2] 普通紙と厚紙は坪量によって積載枚数が変わります。
[*3] 用紙カセット：105 ～ 128g/m^2、手差しトレイ：105 ～ 163g/m^2
[*4] ＜アツガミ＞を選択してプリントすると文字が薄くなる場合は、＜アツガミ H ＞を選択してください。
[*5] 再生紙は、古紙配合率 100%の再生紙も使用できます。
[*6] OHP フィルムは、レーザプリンタ用のものを使用してください。キヤノン機専用の OHP フィルムをお使いになるようお勧めします。
[*7] インクジェット用の郵便はがき、郵便往復はがきを使用することはできません。

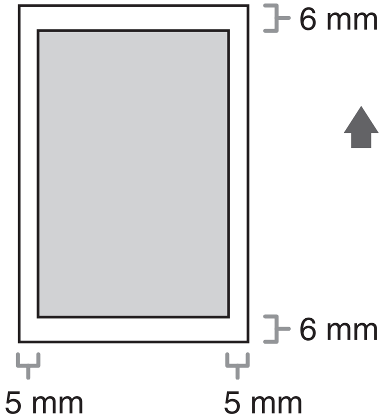
メモ

用紙サイズの初期値は A4 です。別の用紙サイズを使用する場合は、用紙サイズの設定を変更してください。
（→用紙のサイズと種類を設定する：P.2-17）

- 紙づまりを防ぐため、以下の用紙は使用しないでください。
  - しわや折り目のある紙
  - カールした、または巻いた紙
  - コート紙
  - 破れた紙
  - 湿った紙
  - 非常に薄い紙
  - 熱転写プリンタでプリントされた紙（裏面にコピーしないでください。）
- 以下の用紙ではプリントが不鮮明になります。
  - 目の粗い紙
  - つるつるした紙
  - 光沢紙
- 用紙にほこり、糸くず、油のしみが付かないようにしてください。
- 用紙を大量に購入する際は、事前に用紙を試してください。
- 用紙は包装紙で包み、平らな場所で保管してください。開封した用紙は元の包装紙で包みなおし、涼しい乾燥した場所で保管してください。
- 用紙は室温 18 ℃～ 24 ℃、相対湿度 40%～ 60%の場所で保管してください。

プリント範囲

淡色部分は、A4 サイズ用紙のプリント範囲の目安です。下記の余白は目安であり、実際とは異なる場合があります。



用紙をセットする

用紙カセットに用紙をセットする方法については、スタートアップガイド「本製品のセットアップ」「用紙カセットを組み立て、用紙をセットする」を参照してください。

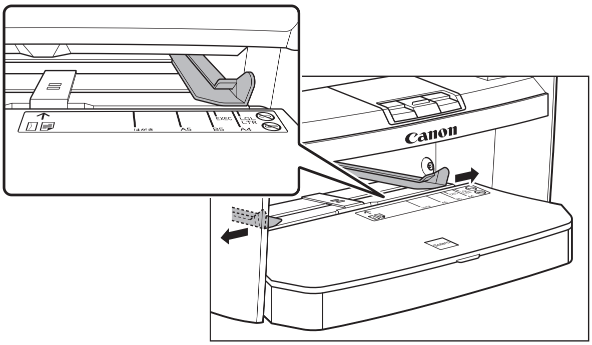
手差しトレイにセットする

用紙カセットにセットされている用紙と、種類やサイズが異なる用紙にコピーやプリントする場合は、手差しトレイを使います。手差しトレイには用紙を 1 枚ずつセットします。

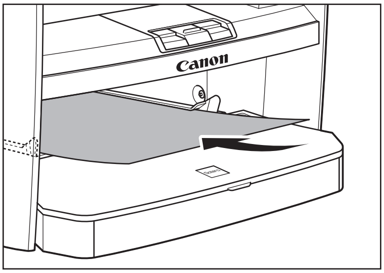
メモ

- 手差しトレイにセットされた用紙は、用紙カセットにセットされた用紙よりも先に給紙されます。
- 洋形 4 号、洋形 2 号の封筒を使用してください。
- プリンタドライバで正しい用紙サイズを設定してください。（オンラインヘルプを参照してください。）
- 受信した文書、レポートのプリントは、用紙カセットからのみ給紙が可能です。手差しトレイに用紙がセットされている場合は、<テザシノ　ヨウシヲ　ジョキョ>と表示されます。

1 **手差しトレイ用紙ガイドの幅を紙幅より少し広めにセットします。**

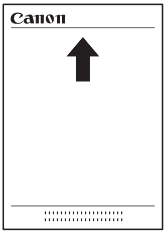


2 用紙をセットする場合は、プリントしたい面を上にして手差しトレイにまっすぐに差し込みます。

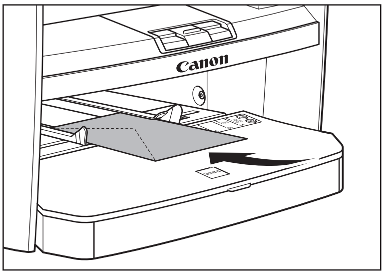


メモ

ロゴがプリントされた用紙をセットする場合は、プリントしたい面（ロゴ側）を上にして、用紙の上端から先に手差しトレイにセットします。



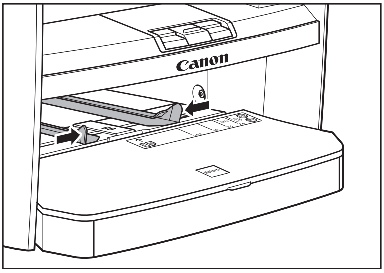
封筒をセットする場合は、プリントしたい面を上にして右端から先に封筒をまっすぐに手差しトレイに差し込みます。



注意

封筒の短いほうの辺にフタがついている場合、必ずフタのついている側から手差しトレイに差し込んでください。この向きに入れないと紙づまりの原因になります。

3 **手差しトレイ用紙ガイドを用紙の幅に合わせます。**



メモ

ガイドが用紙のサイズに合っていないと、きちんとプリントされないことがあります。

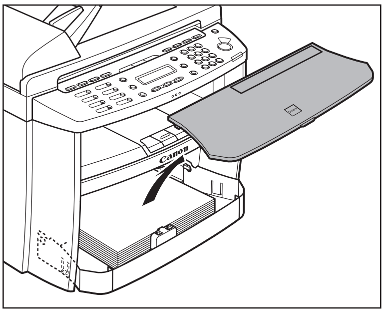
4 **セットした用紙のサイズと種類を設定します。**

用紙のサイズと種類の設定方法については、「用紙のサイズと種類を設定する」（→ P.2-17）を参照してください。

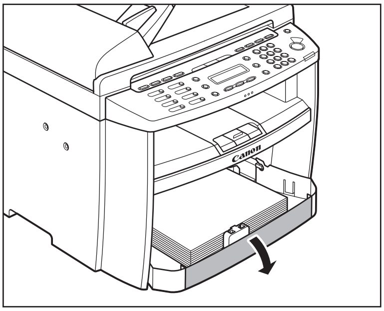
はがきをセットする

用紙カセットにはがきをセットする場合は、はがきが正しく給紙されるように、はがき用ガイドを使用します。はがきは「郵便はがき」と「郵便往復はがき」をプリントできます。

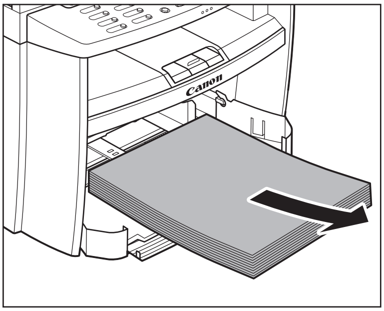
1 **用紙カバーを用紙カセットから取り外します。**



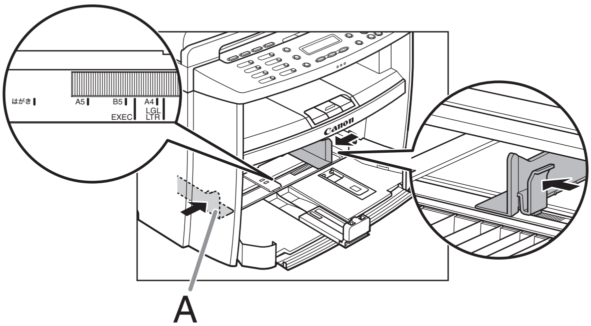
2 用紙カセットの前面部を開きます。



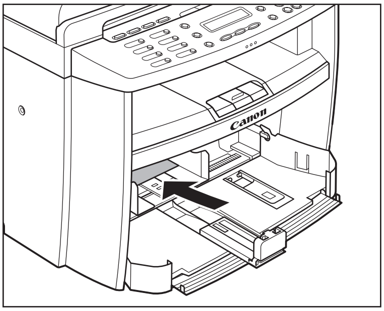
3 用紙カセットから用紙を取り出します。



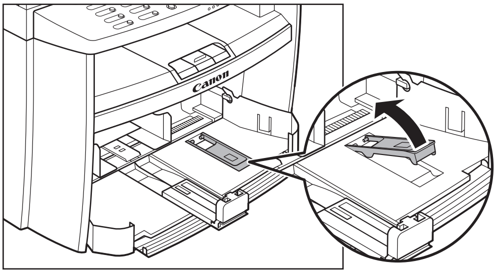
4 左右の用紙ガイド（A）をつまみながら、「はがき」の位置に合うようスライドさせます。



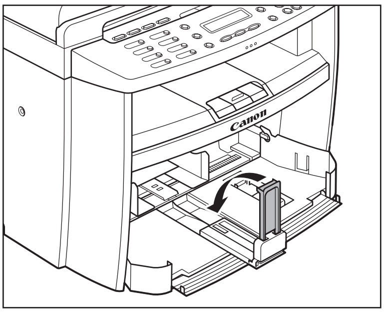
5 印刷する面を上にして、はがきの上側を奥にセットします。



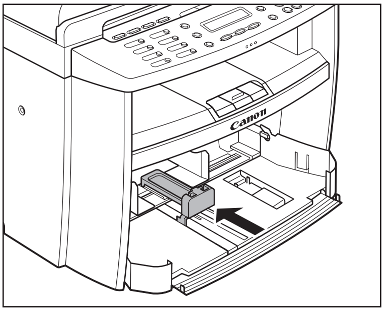
6 用紙カセットから、はがき用ガイドを取り外します。



7 はがき用ガイドを用紙後端ガイドに差し込み、前方に倒します。



8 用紙後端ガイドをスライドさせ、はがき用ガイドをはがきの後端に合わせます。

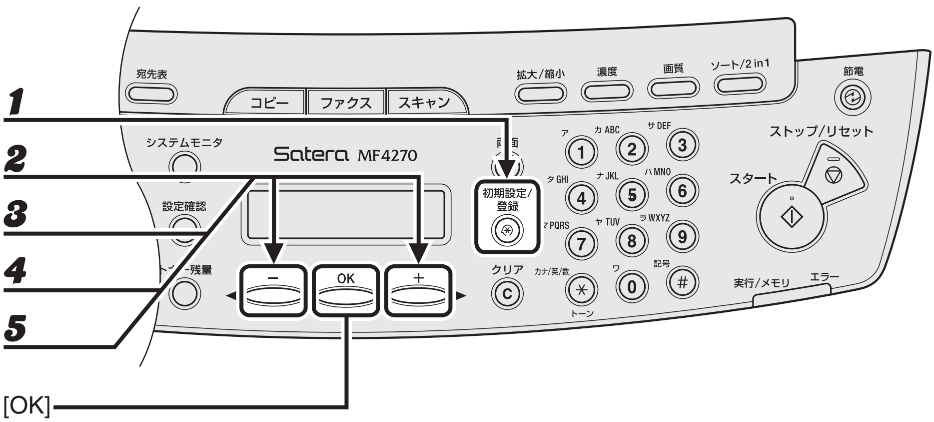


9 はがきの種類に合わせて、用紙のサイズを設定します。

用紙のサイズの設定方法については、「用紙のサイズと種類を設定する」（→ P.2-17）を参照してください。

用紙のサイズと種類を設定する

初期値は、＜フツウシ＞と＜ A4 ＞です。別の種類の用紙やサイズをセットする場合は、以下の手順に従って設定を変更してください。
手順 3 と手順 6 で用紙カセットまたは手差しトレイを選択するのを除いて、用紙カセットと手差しトレイとで手順は同じです。



1 **［初期設定／登録］を押します。**

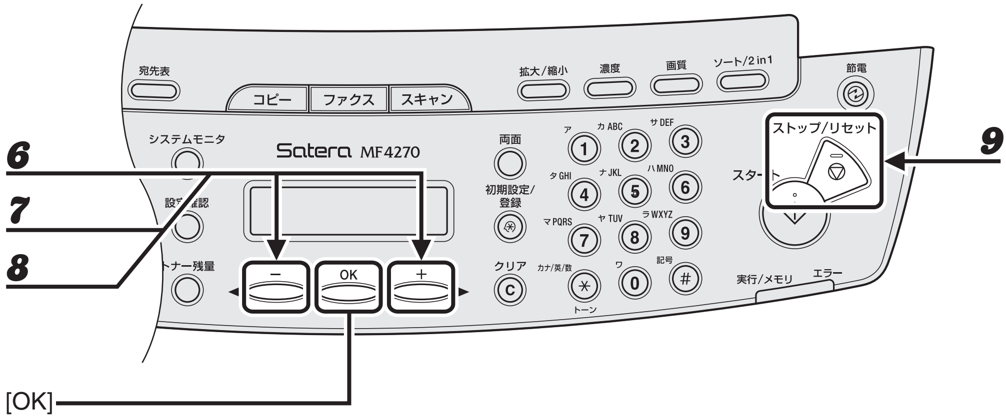
2 **［◄ −］または［＋ ►］を押して＜ヨウシ　セッテイ＞を選択し、［OK］を押します。**

3 **［◄ −］または［＋ ►］を押して＜カセット＞または＜テザシトレイ＞を選択し、［OK］を押します。**

4 **［◄ −］または［＋ ►］を押して＜ヨウシ　サイズ＞を選択し、［OK］を押します。**

5 **［◄ −］または［＋ ►］を押して用紙のサイズを選択し、［OK］を押します。**

以下の用紙サイズを選択できます。
＜ A4 ＞、＜ B5 ＞、＜ A5 ＞、＜エグゼクティブ＞、＜ヨウガタ　4 ゴウ＞、＜ヨウガタ　2 ゴウ＞、＜ハガキ＞、＜オウフクハガキ＞、＜ OFICIO ＞、＜ BRAZIL − OFICIO ＞、＜ MEXICO − OFICIO ＞、＜ FOLIO ＞、＜ GOVERNMENT-LETTER ＞、＜ GOVERNMENT-LEGAL ＞、＜ FOOL SCAP ＞、＜ LTR ＞、＜ LGL ＞



6 **[◄ −] または [+ ►] を押して<カセット>または<テザシトレイ>を選択し、[OK] を押します。**

7 **[◄ −] または [+ ►] を押して<ヨウシノ　シュルイ>を選択し、[OK] を押します。**

メモ

手順 5 で、< B5 >、< A5 >、<エグゼクティブ>、<ヨウガタ　4 ゴウ>、<ヨウガタ　2 ゴウ>、<ハガキ>または<オウフクハガキ>を選択した場合は、<ヨウシノ　シュルイ>は選択できませんので、手順 9 に進んでください。

8 **[◄ −] または [+ ►] を押して用紙の種類を選択し、[OK] を押します。**

以下の紙種を選択することができます。
普通紙（$64g/m^2$ ～ $90g/m^2$）：<フツウシ>、<フツウシ L >[*1]
厚紙または封筒（用紙カセット：$105g/m^2$ ～ $128g/m^2$、手差しトレイ：$105g/m^2$ ～ $163g/m^2$）：<アツガミ>、<アツガミ H >[*2]
OHP フィルム：< OHP　フィルム>

[*1] <フツウシ>を選択してプリントすると用紙がひどくカールする場合は、<フツウシ L >を選択してください。

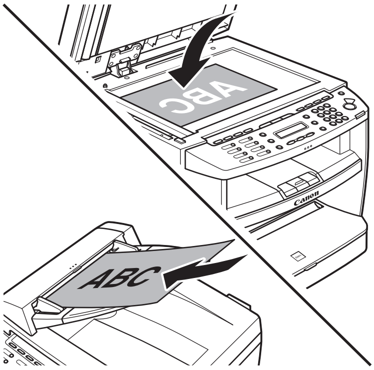
[*2] <アツガミ>を選択してプリントすると文字が薄くなる場合は、<アツガミ H >を選択してください。

9 **[ストップ／リセット] を押して待受画面に戻ります。**

3 コピーする

以下の手順に従ってコピーします。

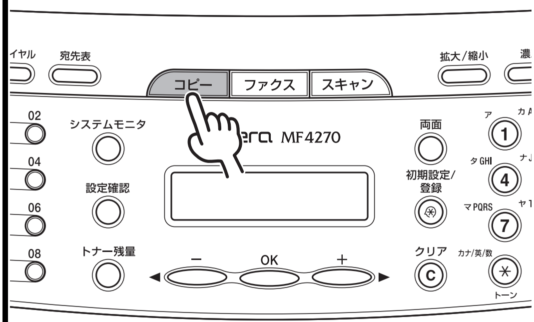
1 原稿をセットする



原稿台ガラスまたは ADF に原稿をセットします。

使用できる原稿については「使用可能な原稿」（→ P.2-1）を参照してください。

2 コピーモードを選択する



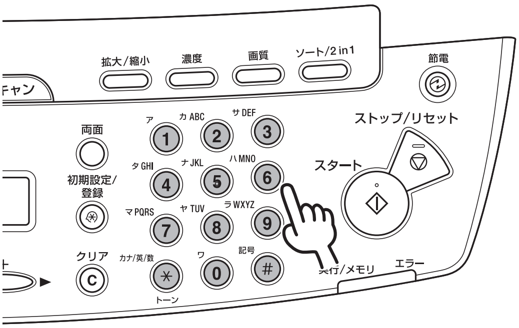
［コピー］を押します。

コピーランプが点灯し、コピーモードになります。

こんなときは ...

- **画質、濃度、倍率を調整するとき：**
  「コピーの設定をする」（→ P.3-3）を参照してください。

3 コピー部数を入力する



テンキーを使ってコピー部数（1 ～ 99）を入力します。

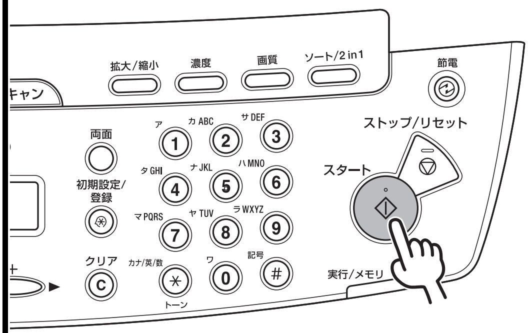
例）

```
100%            A4
◐ ■ ◑ モジ゛/シャシン       1
```

こんなときは ...

- **間違った番号を入力したとき：**
  ［クリア］を押して、正しい部数を入力しなおします。

4 コピーを開始する



［スタート］を押します。

こんなときは ...

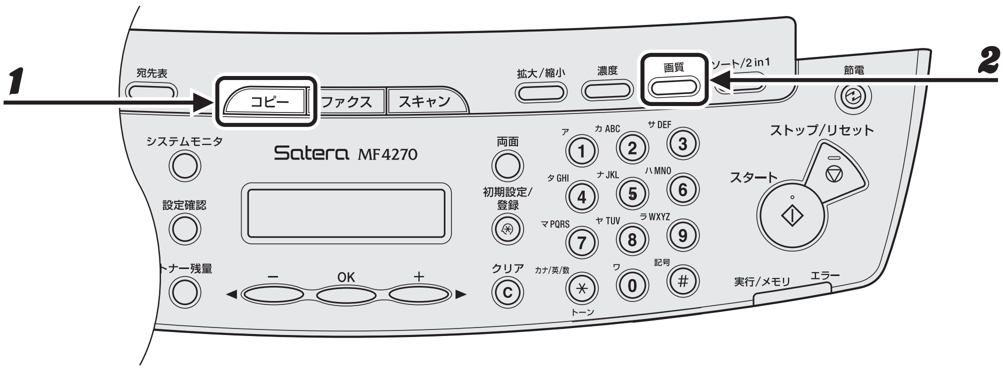
- **コピージョブを中止するために［ストップ／リセット］を押したとき：**
  ＜コピーヲ　チュウシ　シマスカ？＞が表示された場合は、［◄━］を押して＜ハイ＞を選択します。

コピーの設定をする

［スタート］を押してコピーを開始する前に、読み込む原稿の種類に合わせて設定を調整することができます。1 分間何も操作をしなかった場合または［ストップ／リセット］を押した場合は、調整した設定は初期値に戻ります。

画質を調節する

工場出荷時の初期値は＜モジ／シャシン＞に設定されています。



1　**［コピー］を押します。**

2　**［画質］を繰り返し押して、原稿の種類を選択します。**

＜モジ／シャシン＞：文字と写真のある原稿に適しています。
＜モジ＞：文字原稿に適しています。
＜シャシン＞：細かい文字または写真のある原稿に適しています。
＜モジ／シャシン＋＞：細かい文字と写真のある原稿に適しています。

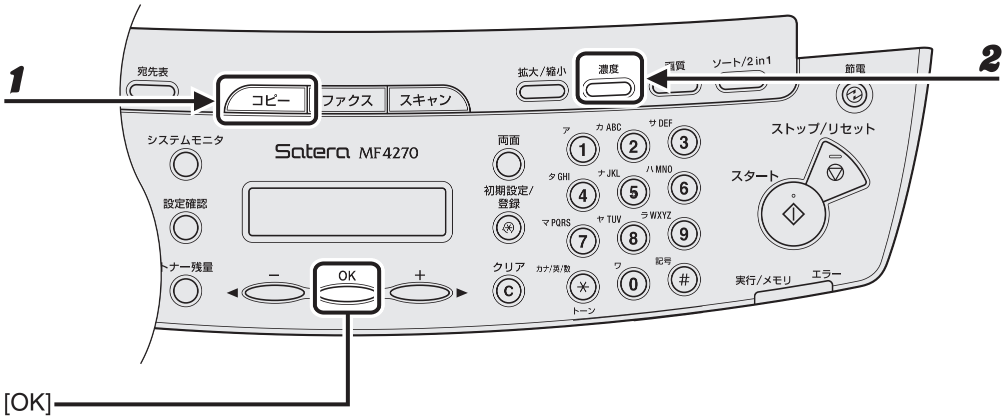
メモ

- 濃度が＜ジドウ＞に設定されている場合、［画質］を押すと濃度は自動的に手動設定に切り替わります。
- すべての設定を取り消すには、［ストップ／リセット］を押します。
- ［ファクス］などを押し、モードを切り替えた場合も、設定が取り消されます。初期値として登録したい場合は、［初期設定／登録］→＜コピー　シヨウ　セッテイ＞→＜ヒョウジュンモードノ　ヘンコウ＞→＜ガシツ＞で設定登録を行ってください。（→メニューの設定内容：P.12-3）

濃度を調節する

自動または手動で、原稿に最適な濃度に調整できます。
工場出荷時の初期値は<シュドウ>（5）に設定されています。

● 自動調節



---

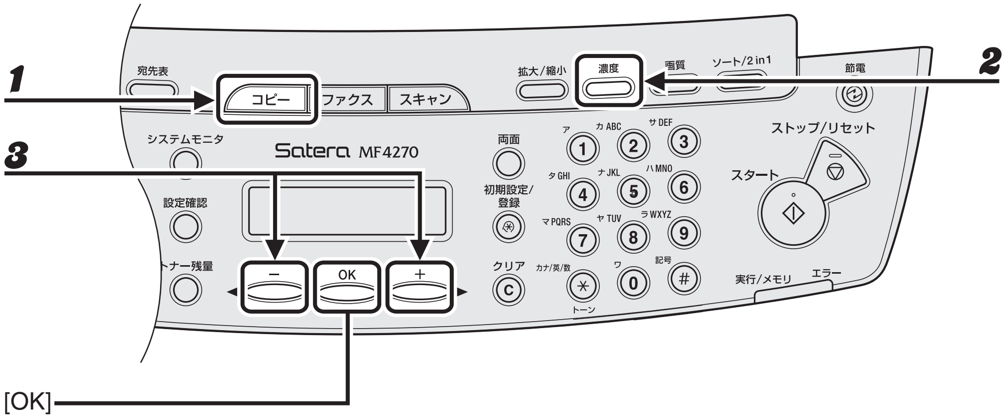
1 **［コピー］を押します。**

2 **［濃度］を繰り返し押して<ジドウ>を選択し、［OK］を押します。**

メモ

画質は自動的に<モジ>に設定されます。

● **手動調節**



---

1 **[コピー]を押します。**

2 **[濃度]を繰り返し押して、手動モードを選択します。**

3 **[◄－]または[＋►]を押して濃度を選択し、[OK]を押します。**

例)

```
ヨミトリ　ノウド
－ウスク　◖□□□□■□□□□◗　コク＋
```

[◄－]：濃い原稿を薄くコピーします。
[＋►]：薄い原稿を濃くコピーします。

メモ

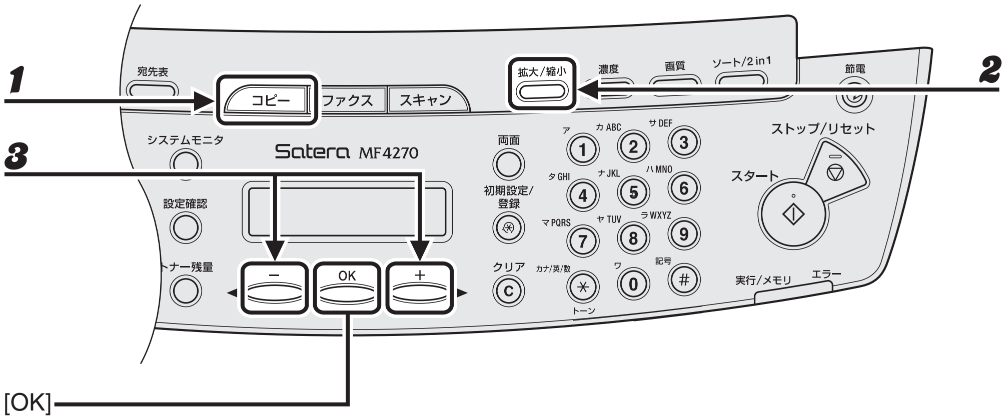
- すべての設定を取り消すには、[ストップ／リセット]を押します。
- [ファクス]などを押し、モードを切り替えた場合も、設定が取り消されます。初期値として登録したい場合は、[初期設定／登録]→<コピー　シヨウ　セッテイ>→<ヒョウジュンモードノ　ヘンコウ>→<ヨミトリ　ノウド>→<シュドウ>で設定登録を行ってください。(→メニューの設定内容：P.12-3)

倍率を設定する

工場出荷時の初期値は< 100% >に設定されています。

● 定形変倍を使用して拡大／縮小する

原稿を拡大または縮小して、別のサイズに変更できます。



1 **［コピー］を押します。**

2 **［拡大／縮小］を押します。**

3 **［◄ −］または［+ ►］を押してコピー倍率を選択し、［OK］を押します。**

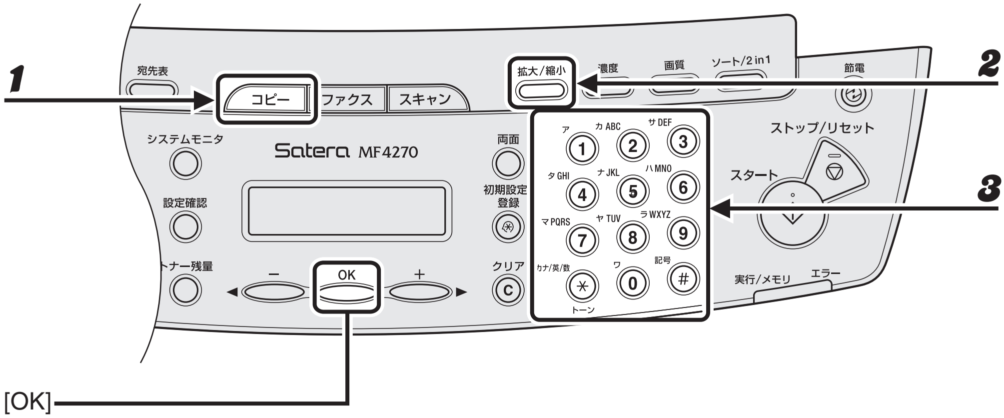
- 200% MAX.
- 141% A5 → A4
- 122% A5 → B5
- 115% B5 → A4
- 100%
- 86% A4 → B5
- 81% B5 → A5
- 70% A4 → A5
- 50% MIN.

メモ

- <コピー　シヨウ　セッテイ>の<サイズ　ケイレツ>が<インチ>または< A >に設定されている場合は、定形コピー変倍は以下のようになります。
  インチ：50%、64%、78%、100%、129%、200%
  A：50%、70%、100%、141%、200%
- すべての設定を取り消すには、［ストップ／リセット］を押します。

● ズーム変倍を使って拡大／縮小する

1%刻みで任意のコピー倍率を指定し、画像を拡大または縮小できます。コピー倍率は、50% ～ 200%の範囲で指定できます。



1 **［コピー］を押します。**

2 **［拡大／縮小］を 2 回押します。**

3 **テンキーを使ってコピー倍率を入力し、［OK］を押します。**

例）

```
ズーム    50-200%
 -          100%        +
```

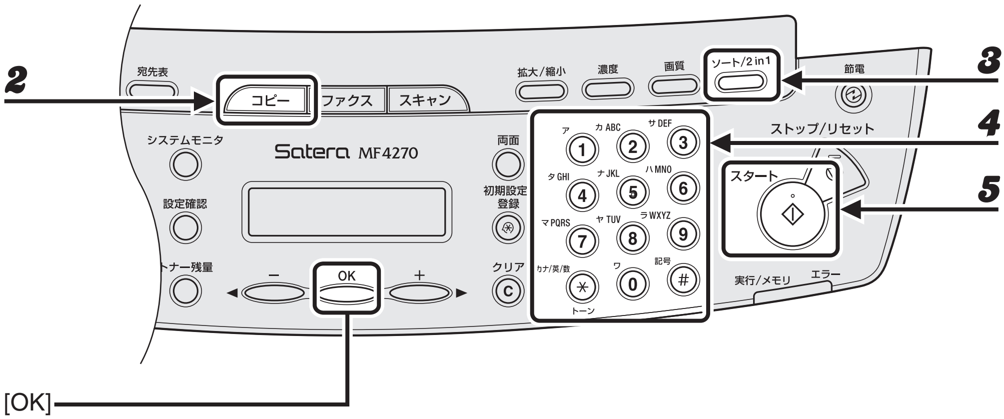
［◄－］または［＋►］を押してコピー倍率を調整することもできます。コピー倍率を大きくするには、［＋►］を押します。コピー倍率を小さくするには、［◄－］を押します。

メモ

コピー倍率を 100%に戻すには、［拡大／縮小］を繰り返し押して＜ 100% ＞を選択し、［OK］を押します。

ソートコピー

コピーをページ順にそろえることができます。この機能は、「両面コピー」（→ P.3-12）および「2 in 1」（→ P.3-10）の機能と一緒に使うことができます。



---

1 原稿をセットします。

ADF を使用しない場合は、1 枚目の原稿を原稿台ガラスにセットします。

2 [コピー] を押します。

メモ

<コピー　シヨウ　セッテイ>の<ヒョウジュンモードノ　ヘンコウ>で<ジドウソート>が< ON >に設定されている場合は、手順 4 に進んでください。

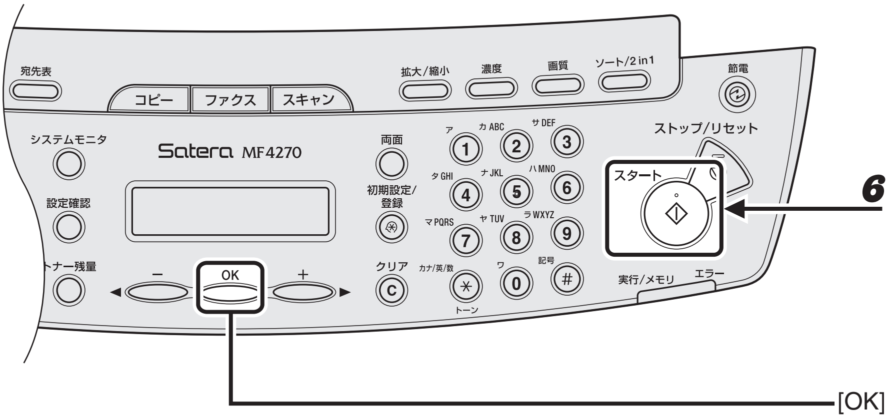
3 [ソート／ 2 in 1] を繰り返し押して<ソート>を選択し、[OK] を押します。

ソートコピー機能を「2 in 1」（→ P.3-10）と一緒に使いたい場合は、<ソート＋ 2 in 1 >を選択し、[OK] を押します。
「両面コピー」と一緒に使いたい場合は、P.3-12 の手順 3 に進んでください。

4 テンキーを使ってコピー部数（1 ～ 99）を入力します。

5 [スタート] を押します。

ADF を使っている場合は、ここで作業は完了です。
原稿台ガラスを使っている場合は、手順 6 に進んでください。



6 原稿台ガラスに次のページをセットして、[スタート] を押します。

この手順を繰り返して、すべてのページを読み込みます。

7 [OK] を押します。

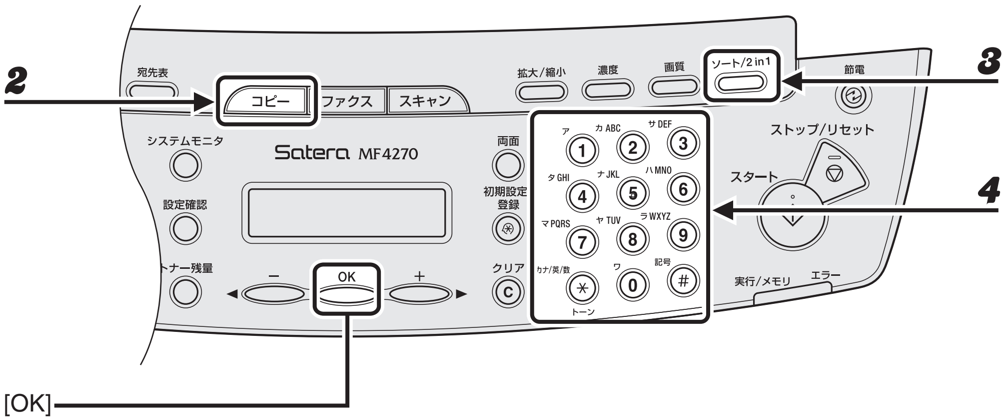
残りの部数がコピーされます。

メモ

- すべての設定を取り消すには、[ストップ／リセット] を押します。
- [ファクス] などを押し、モードを切り替えた場合も、設定が取り消されます。初期値として登録したい場合は、[初期設定／登録] →＜コピー　シヨウ　セッテイ＞→＜ヒョウジュンモードノ　ヘンコウ＞→＜ジドウソート＞→＜ ON ＞で設定登録を行ってください。(→メニューの設定内容：P.12-3)
- 複数ページの原稿を読み込んでいるときにメモリがいっぱいになった場合は、ディスプレイに＜メモリガ　イッパイデス＞と表示されます。この場合は、[OK] を押して待受画面に戻り、メモリに蓄積された原稿をプリントするか、送信するか、削除してください。

2 in 1

2 in 1 を使うと、A4 およびレターサイズに合うように 2 枚の原稿を自動的に縮小してコピーすることができます。この機能は、「ソートコピー」（→ P.3-8）および「両面コピー」（→ P.3-12）の機能と一緒に利用できます。



1　原稿をセットします。

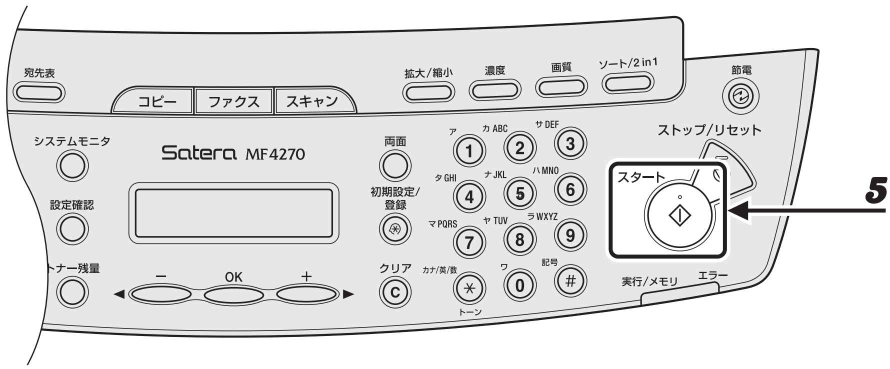
ADF を使用しない場合は、1 枚目の原稿を原稿台ガラスにセットします。

2　［コピー］を押します。

3　［ソート／ 2 in 1］を繰り返し押して＜ 2 in 1 ＞を選択し、［OK］を押します。

2 in 1 機能を「ソートコピー」（→ P.3-8）と一緒に使いたい場合は、＜ソート＋ 2 in 1 ＞を選択し、［OK］を押します。
「両面コピー」と一緒に使いたい場合は、P.3-12 の手順 3 に進んでください。

4　テンキーを使ってコピー部数（1 ～ 99）を入力します。



5 [スタート] を押します。

原稿台ガラスに原稿をセットした場合は、原稿 1 枚ごとに [スタート] を押します。すべての原稿の読み込みが完了したら、自動的に 2 in 1 コピーが始まります。

メモ

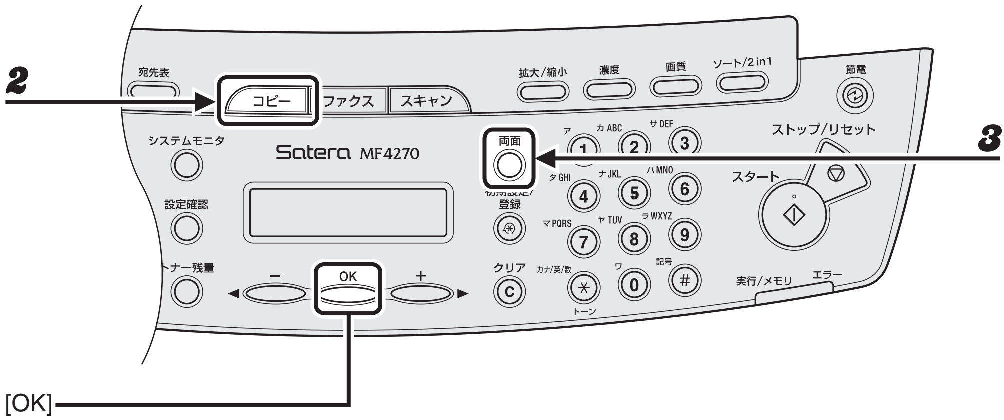
- 2 枚目の原稿を読み込まずに [OK] を押した場合は、1 枚目の原稿のみ用紙の左側にプリントされます。
- 2 in 1 でコピーすると、縮小された原稿間に最大で 4mm の余白ができます。
- すべての設定を取り消すには、[ストップ／リセット] を押します。

両面コピー

両面コピー機能を使って、片面の原稿から両面コピーをすることができます。この機能は、「ソートコピー」(→ P.3-8) および「2 in 1」(→ P.3-10) の機能と一緒に使うことができます。

メモ

両面コピーには以下の用紙を使用してください。
- 用紙サイズ：A4 およびレター
- 用紙の重さ：64 〜 80g/m^2



1 **原稿をセットします。**

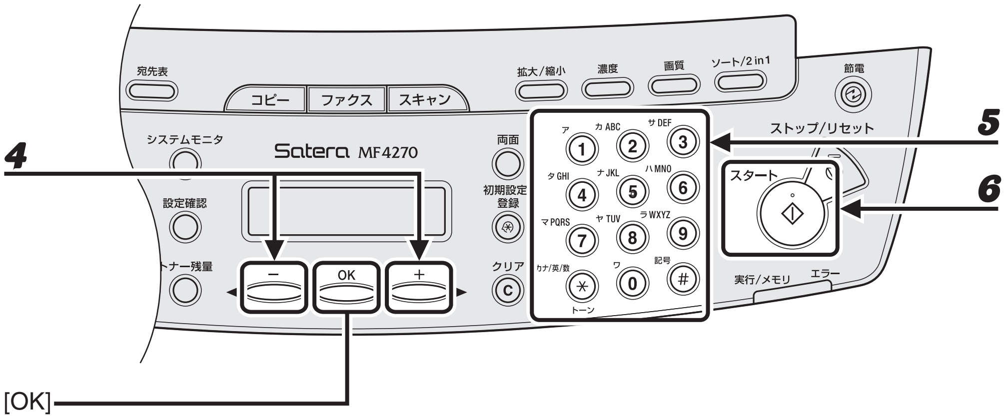
ADF を使用しない場合は、1 枚目の原稿を原稿台ガラスにセットします。

メモ

ADF で読み込むことができる原稿は片面のみです。両面原稿の読み込みはできません。

2 **［コピー］を押します。**

3 **［両面］を繰り返し押して< ON >を選択し、［OK］を押します。**



4 **[◄ −] または [+ ►] を押して＜サユウビラキ＞または＜ジョウゲビラキ＞を選択し、[OK] を押します。**

＜サユウビラキ＞：コピーの表と裏の面の上下を同じ向きにします。
＜ジョウゲビラキ＞：コピーの表と裏の面の上下を逆向きにします。

メモ

横原稿の場合、＜サユウビラキ＞を選択すると、コピーの表と裏の面の上下を逆向きにします。＜ジョウゲビラキ＞を選択すると、コピーの表と裏の面の上下を同じ向きにします。

5 **テンキーを使ってコピー部数（1 ～ 99）を入力します。**

6 **[スタート] を押します。**

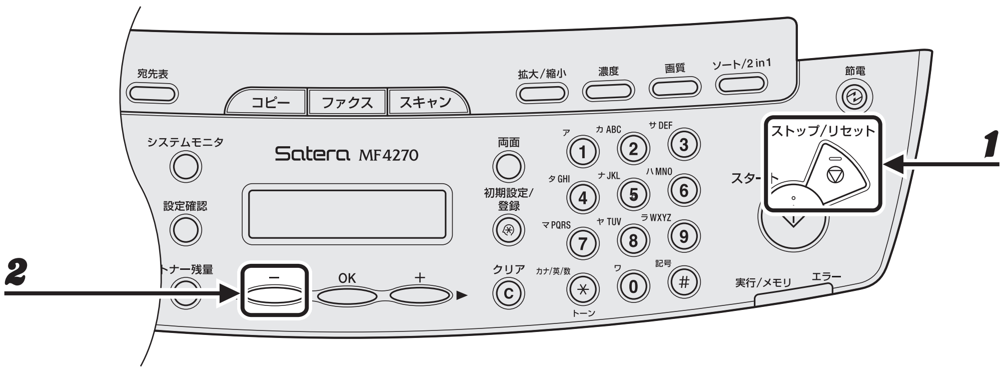
原稿台ガラスに原稿をセットした場合は、原稿 1 枚ごとに［スタート］を押します。両面原稿のときは、片面の読み込みが終了したら、もう一方の面をセットし［スタート］を押します。
すべての原稿の読み込みが完了したら、自動的に両面コピーが始まります。

メモ

- すべての設定を取り消すには、［ストップ／リセット］を押します。
- ［ファクス］などを押し、モードを切り替えた場合も、設定が取り消されます。初期値として登録したい場合は、[初期設定／登録]→＜コピー　シヨウ　セッテイ＞→＜ヒョウジュンモードノ　ヘンコウ＞→＜リョウメン＞→＜ ON ＞で設定登録を行ってください。（→メニューの設定内容：P.12-3）
- 手順４の代わりに、[OK]を押すだけで手順５に進めます。この場合は、＜サユウビラキ＞でコピーされます。

コピージョブの中止

以下の手順で、原稿の読み込み操作や印刷操作を中止します。



1　**［ストップ／リセット］を押します。**

2　**＜コピーヲ　チュウシ　シマスカ？＞と表示されたら、［◄ ─］を押して＜ハイ＞を選択します。**

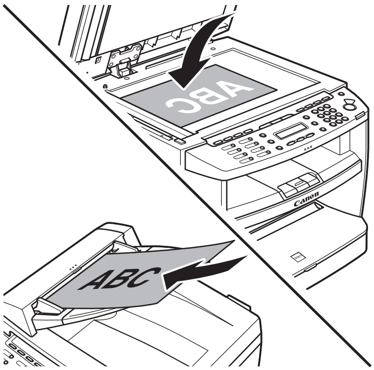
```
コピ゜ーヲ　チュウシ　シマスカ？
  〈 ハイ            イイエ  〉
```

ジョブが中止され、コピー部数がリセットされます。

4 送信する

以下の手順に従って原稿を送信してください。
応用機能については、操作ガイド（総合編）「第 4 章 送信と受信」を参照してください。

1 原稿をセットする



原稿台ガラスまたは ADF に原稿をセットします。

使用できる原稿については「使用可能な原稿」（→ P.2-1）を参照してください。

2 ファクスモードを選択する



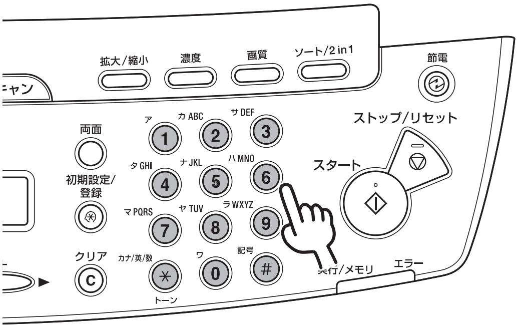
［ファクス］を押します。

ファクスランプが点灯し、ファクスモードになります。

こんなときは ...

- **画質や濃度などを調整するとき：**
  「読み込み設定」（→ P.4-3）を参照してください。

3 ファクス番号を入力する



テンキーを使って相手先のファクス番号を入力します。

ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルなど、スピードダイヤルを使って宛先を指定することもできます。（→宛先を指定する：P.4-17）

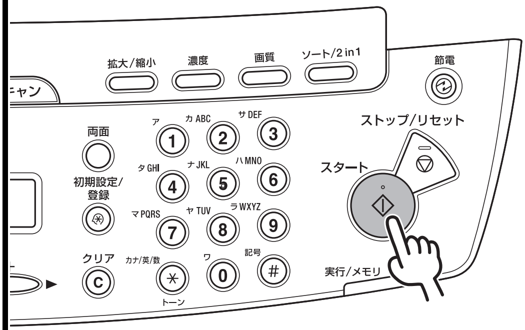
例）

```
=０１２XXXXXXX_
```

こんなときは ...

- **ファクス番号を消去するとき：**
  ［◄━］を押すと番号が 1 つずつ消去されます。［クリア］を長押しすると入力内容が 1 度にすべて消去されます。

4 原稿を送信する



［スタート］を押します。

原稿台ガラスに原稿をセットした場合は、原稿 1 枚ごとに「スタート」を押します。すべての原稿の読み込みが完了したら［OK］を押します。

こんなときは ...

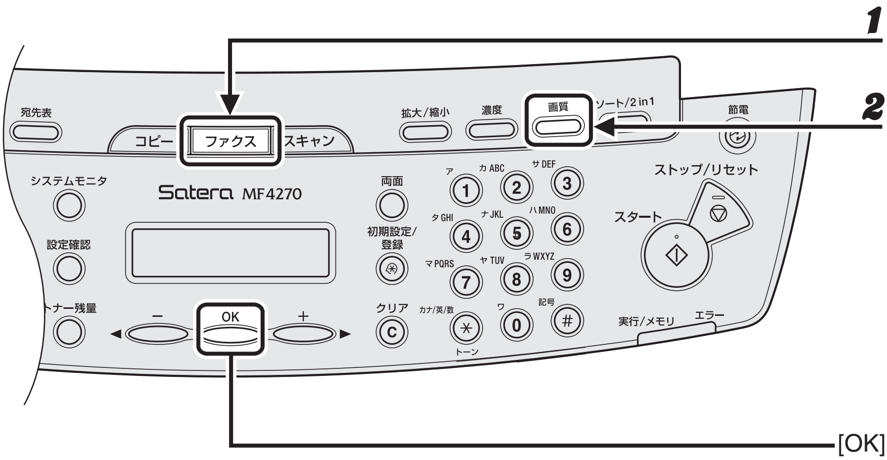
- **ファクス送信を中止するとき：**
  ［ストップ／リセット］を押します。
  ＜ツウシンヲ　チュウシ　シマスカ？＞と表示された場合は、［◄━］を押して＜ハイ＞を選択します。

読み込み設定

送信原稿の種類に合わせて、画質と濃度を調整できます。高い画質に設定すると、出力画像は鮮明になりますが、通信速度は遅くなります。

画質を調節する

工場出荷時の初期値は<ファイン>に設定されています。



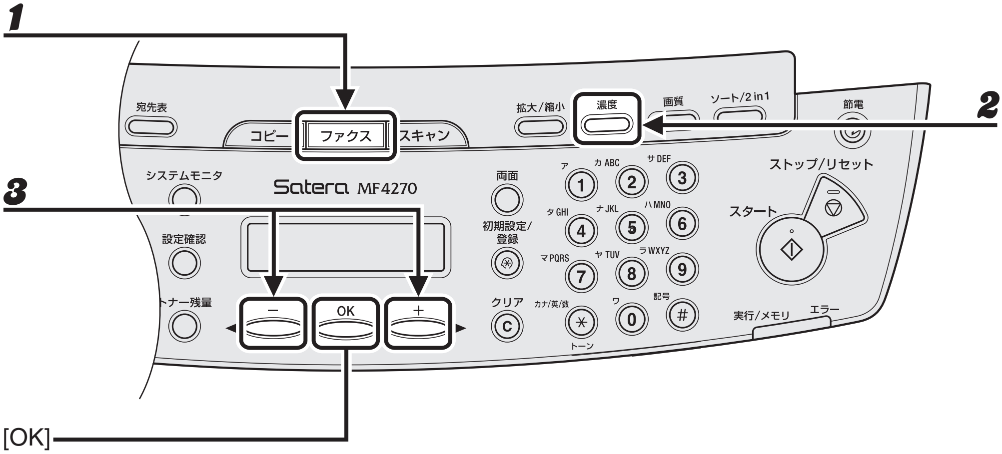
1 **[ファクス] を押します。**

2 **[画質] を繰り返し押して希望の画質を選択し、[OK] を押します。**

<ヒョウジュン>：文字のみの原稿に適しています。(200 × 100dpi)
<ファイン>：文字の細かい原稿に適しています（解像度は<ヒョウジュン>の 2 倍)。(200 × 200dpi)
<シャシン>：写真を含む原稿に適しています（解像度は<ヒョウジュン>の 2 倍)。(200 × 200dpi)
<スーパーファイン>：細かい文字と画像を含む原稿に適しています（解像度は<ヒョウジュン>の 4 倍)。(200 × 400dpi)

濃度を調節する

工場出荷時の初期値は（5）に設定されています。



1 **［ファクス］を押します。**

2 **［濃度］を押します。**

3 **［◄ー］または［＋►］を押して濃度を選択し、［OK］を押します。**

例）

```
ヨミトリ ノウド゛
-ウスク ◖□□□□■□□□□◗ コク+
```

［◄ー］：原稿の濃度を薄くします。
［＋►］：原稿の濃度を濃くします。

メモ

本手順で手動調整した場合は、読み込みが終了すると、設定値が初期値に戻ります。基本設定として登録したい場合は、［初期設定／登録］→<ファクスセッテイ>→<キホントウロク>→<ヒョウジュンモードノ　ヘンコウ>→<ヨミトリ　ノウド>で設定登録を行ってください。（→メニューの設定内容：P.12-3）

宛先を登録／編集／削除する

原稿の送信先はテンキー入力の他、宛先登録機能を使って指定できます。テンキーでは宛先を1 字ずつ入力するのに対し、宛先登録機能ではよく利用する宛先（ファクス／電話番号）をあらかじめ登録しておくことで原稿送信時に宛先を入力する手間を省くことができます。このように宛先をあらかじめ登録しておくことのできる機能を宛先表と呼び、宛先表を使って素早く簡単に宛先を指定する方法をスピードダイヤルと呼びます。スピードダイヤルを使った宛先の指定方法は以下の種類があります。

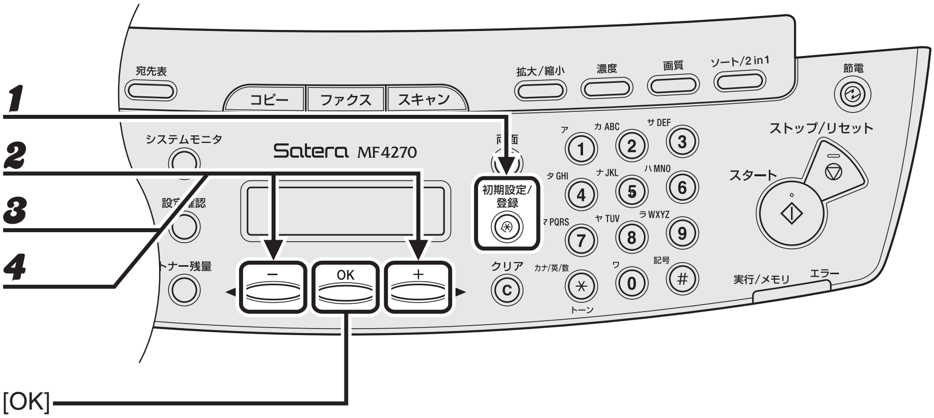
- ● ワンタッチダイヤル（→ワンタッチダイヤルを使用する：P.4-17）
  - ・ 登録済みの宛先を1回のキー操作で呼び出す機能です。最大8件まで宛先を登録できます。
  - ・ 原稿送信時は、登録先のワンタッチダイヤルキー（01 〜 08）を押すだけで宛先を指定できます。
- ● 短縮ダイヤル（→短縮ダイヤルを使用する：P.4-19）
  - ・ 登録済みの宛先を短縮番号を使って呼び出す機能です。最大 100 件まで宛先を登録できます。
  - ・ 原稿送信時は、[短縮ダイヤル] を押したあと、2 桁の登録先番号（00 〜 99）を入力するだけで宛先を指定できます。
- ● グループダイヤル（→グループダイヤルを使用する：P.4-20）
  - ・ ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルとして登録済みの各宛先を 1 つのグループにまとめて登録する機能です。複数の宛先を 1 つの宛先として登録するため、1 度に送信する相手先が多い場合でも宛先指定操作が簡単に行えます。
  - ・ グループダイヤルの登録先は未登録のワンタッチダイヤルになります。1 つのグループダイヤルには最大 50 件まで宛先を登録できます。
  - ・ 原稿送信時の宛先指定操作はワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルと同様になります。
- ● 宛先表キーによる指定（→宛先表を使用する：P.4-21）
  - ・ ワンタッチダイヤル／短縮ダイヤル／グループダイヤルとして登録済みの宛先を相手先の名前から検索して指定できます。登録先を忘れてしまった場合などに便利な機能です。
  - ・ 原稿送信時は、[宛先表] を押したあと、相手先の名前から検索して指定できます。

メモ

- ・ 文字入力のしかたについては、「文字の入力方法」（→ P.1-7）を参照してください。
- ・ スピードダイヤルに登録した宛先は、お使いのコンピュータにファイルとして保存したり、保存したファイルを本製品に取り込むことができます。詳細については、操作ガイド（総合編）「第 7 章 リモート UI」「宛先表をファイルに保存する（エクスポート）」または「宛先表をファイルから読み込む（インポート）」を参照してください。
- ・ 登録済みの宛先については、宛先一覧表を出力して参照できます。（→レポート設定：P.12-10）

ワンタッチダイヤル／短縮ダイヤルを登録／編集する

● ワンタッチダイヤル／短縮ダイヤルを登録する



---

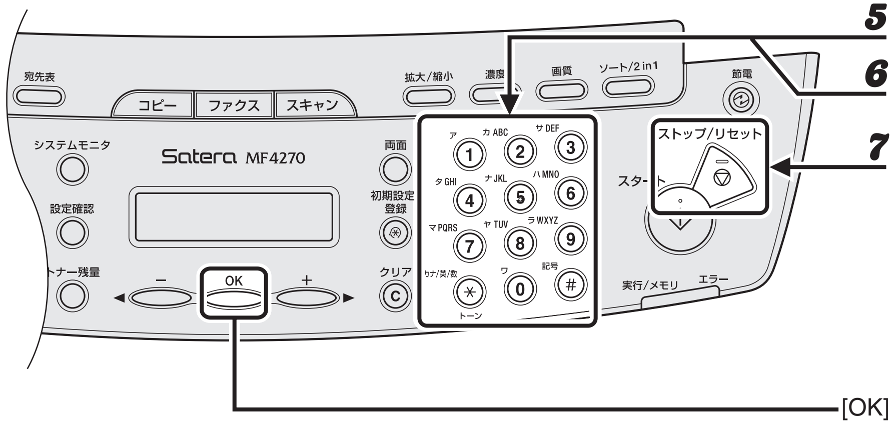
1 ［初期設定／登録］を押します。

2 ［◄ −］または［+ ►］を押して<アテサキヒョウ　シヨウセッテイ>を選択し、［OK］を押します。

3 ［◄ −］または［+ ►］を押して<ワンタッチ　ダイヤル>または<タンシュク　ダイヤル>を選択し、［OK］を押します。

4 ［◄ −］または［+ ►］を押して登録するワンタッチダイヤル（01 ～ 08）または短縮ダイヤル（00 ～ 99）を選択し、［OK］を押します。

操作パネル上の以下のキーを使って選択することもできます。
ワンタッチダイヤル：ワンタッチダイヤルキー（01 ～ 08）を押します。
短縮ダイヤル：［短縮ダイヤル］を押したあと、テンキーを使って 2 桁の番号（00 ～ 99）を入力します。



5 **テンキーを使って相手先の名前（スペースを含め最大 20 文字）を入力し、[OK] を押します。**

例）

ナマエ	[ア]
キヤノ	

6 **テンキーを使って登録するファクス番号（スペースとポーズを含め最大 50 桁）を入力し、[OK] を押します。**

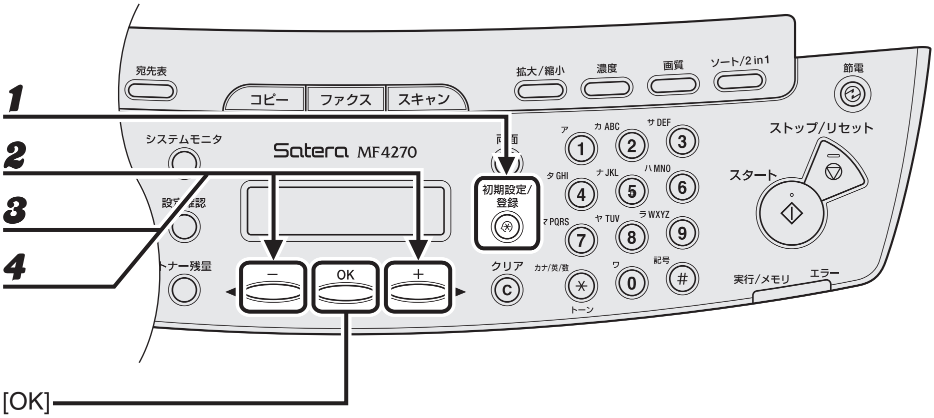
例）

デンワバンゴウ
012XXXXXXX_

続けて新しいワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルを登録する場合は、手順 4 からの操作を繰り返し行ってください。

7 **[ストップ／リセット] を押して待受画面に戻ります。**

● ワンタッチダイヤル／短縮ダイヤルを編集する



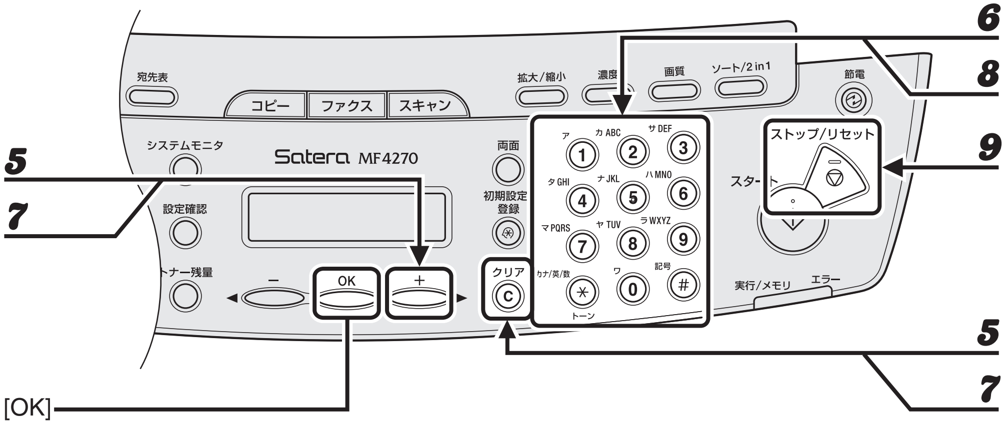
1 ［初期設定／登録］を押します。

2 ［◄ −］または［＋ ►］を押して＜アテサキヒョウ　シヨウセッテイ＞を選択し、［OK］を押します。

3 ［◄ −］または［＋ ►］を押して＜ワンタッチ　ダイヤル＞または＜タンシュク　ダイヤル＞を選択し、［OK］を押します。

4 ［◄ −］または［＋ ►］を押して編集するワンタッチダイヤル（01 ～ 08）または短縮ダイヤル（00 ～ 99）を選択し、［OK］を押します。

操作パネル上の以下のキーを使って選択することもできます。
ワンタッチダイヤル：ワンタッチダイヤルキー（01 ～ 08）を押します。
短縮ダイヤル：［短縮ダイヤル］を押したあと、テンキーを使って 2 桁の番号（00 ～ 99）を入力します。



5 **［+►］を押して変更する文字にカーソルを移動し、［クリア］を押します。**

入力内容をすべて消去する場合は、［クリア］を長押しします。

6 **テンキーを使って新しい名前を入力し、［OK］を押します。**

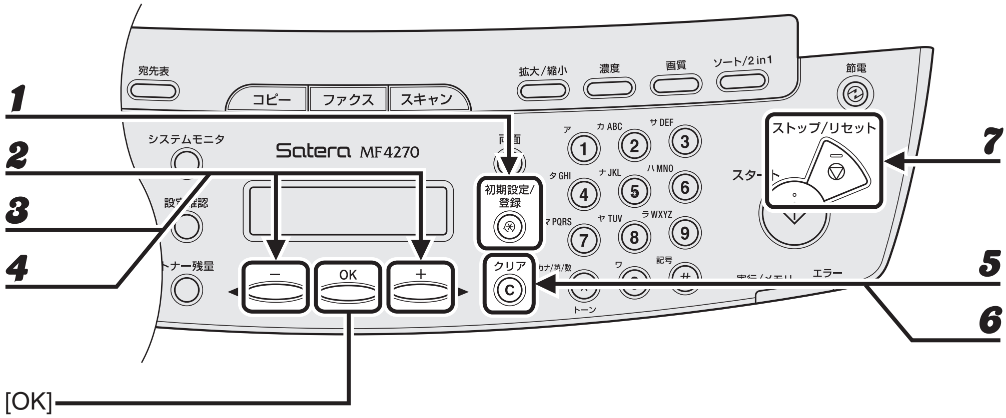
7 **［+►］を押して変更する文字にカーソルを移動し、［クリア］を押します。**

入力内容をすべて消去する場合は、［クリア］を長押しします。

8 **テンキーを使って新しい番号を入力し、［OK］を押します。**

9 **［ストップ／リセット］を押して待受画面に戻ります。**

● ワンタッチダイヤル／短縮ダイヤルを削除する



1　**［初期設定／登録］を押します。**

2　**［◄ −］または［+ ►］を押して<アテサキヒョウ　シヨウセッテイ>を選択し、［OK］を押します。**

3　**［◄ −］または［+ ►］を押して<ワンタッチ　ダイヤル>または<タンシュク　ダイヤル>を選択し、［OK］を押します。**

4　**［◄ −］または［+ ►］を押して削除するワンタッチダイヤル（01 ～ 08）または短縮ダイヤル（00 ～ 99）を選択し、［OK］を押します。**

操作パネル上の以下のキーを使って選択することもできます。
ワンタッチダイヤル：ワンタッチダイヤルキー（01 ～ 08）を押します。
短縮ダイヤル：［短縮ダイヤル］を押したあと、テンキーを使って 2 桁の番号（00 ～ 99）を入力します。

5　**［クリア］を長押しして名前を削除し、［OK］を押します。**

6　**［クリア］を長押しして番号を削除し、［OK］を押します。**

メモ

ファクス／電話番号を消去した場合は、相手先の名前も自動的に消去されます。

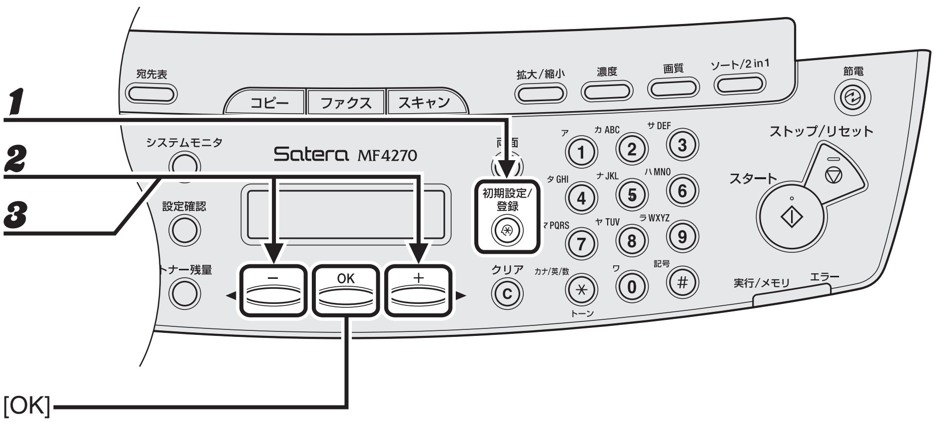
7　**［ストップ／リセット］を押して待受画面に戻ります。**

グループダイヤルを登録／編集する

メモ

グループダイヤルを登録する際は、ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに宛先を登録しておいてください。

● グループダイヤルに宛先を登録する



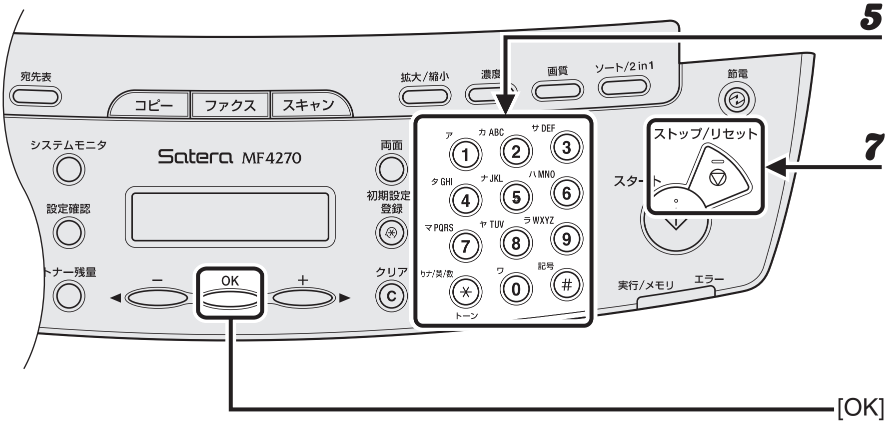
1 **［初期設定／登録］を押します。**

2 **［◄－］または［＋►］を押して<アテサキヒョウ　シヨウセッテイ>を選択し、［OK］を押します。**

3 **［◄－］または［＋►］を押して<グループ　ダイヤル>を選択し、［OK］を押します。**

4 **グループダイヤルの登録先を指定し、［OK］を押します。**

未登録のワンタッチダイヤルを登録先として指定します。
［◄－］または［＋►］を押して登録先を選択します。また、ワンタッチダイヤルキー（01 ～ 08）を押して選択することもできます。



5 **テンキーを使ってグループの名前（スペースを含め最大 20 文字）を入力し、[OK] を押します。**

例）

```
ナマエ                    [ア]
キヤノンク゛ルーフ゜_
```

6 **グループダイヤルに登録する宛先（最大 50 件）をすべて指定し、[OK] を押します。**

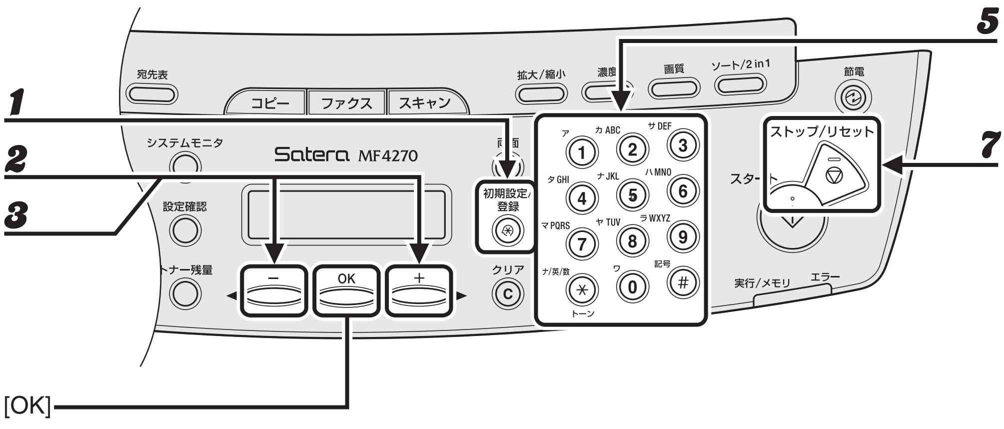
登録済みのワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルを宛先として指定します。
ワンタッチダイヤルを指定する場合：ワンタッチダイヤルキー（01 〜 08）を押します。
短縮ダイヤルを指定する場合：[短縮ダイヤル] を押したあと、2 桁の番号（00 〜 99）を入力します。複数指定する場合は、1 つの宛先を指定するごとに [短縮ダイヤル] を押します。

メモ

[◄−] または [+►] を押すと指定した宛先を確認できます。

7 **[ストップ／リセット] を押して待受画面に戻ります。**

● 宛先を追加する



1 **［初期設定／登録］を押します。**

2 **［◄ −］または［+ ►］を押して<アテサキヒョウ　シヨウセッテイ>を選択し、［OK］を押します。**

3 **［◄ −］または［+ ►］を押して<グループ　ダイヤル>を選択し、［OK］を押します。**

4 **宛先を追加するグループダイヤルを指定し、［OK］を押します。**

グループダイヤルは、操作パネル上の対応するワンタッチダイヤルキー（01 〜 08）を押して選択することもできます。

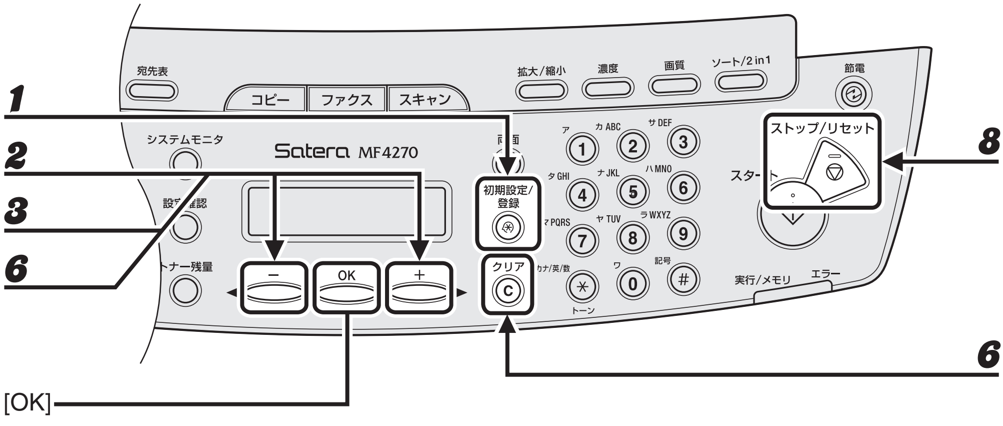
5 **テンキーを使って新しい名前を入力し、［OK］を押します。**

6 **グループダイヤルに追加する宛先を指定し、［OK］を押します。**

指定操作方法については、「グループダイヤルに宛先を登録する」（→ P.4-11）を参照してください。

7 **［ストップ／リセット］を押して待受画面に戻ります。**

● 宛先を消去する



1 ［初期設定／登録］を押します。

2 ［◄ −］または［+ ►］を押して<アテサキヒョウ　シヨウセッテイ>を選択し、［OK］を押します。

3 ［◄ −］または［+ ►］を押して<グループ　ダイヤル>を選択し、［OK］を押します。

4 宛先を消去するグループダイヤルを指定し、［OK］を押します。

グループダイヤルは、操作パネル上の対応するワンタッチダイヤルキー（01 ～ 08）を押して選択することもできます。

5 グループ名が表示されたら、［OK］を押します。

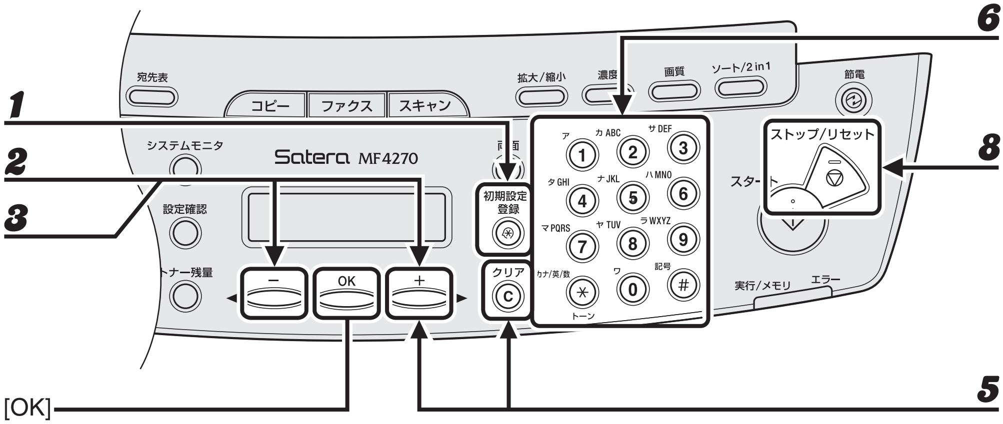
6 ［◄ −］または［+ ►］を押して消去する宛先を選択し、［クリア］を押します。

続けて別の宛先を消去する場合は、本手順を繰り返します。

7 ［OK］を押します。

8 ［ストップ／リセット］を押して待受画面に戻ります。

● グループ名を変更する



1 ［初期設定／登録］を押します。

2 ［◄ −］または［+ ►］を押して<アテサキヒョウ　シヨウセッテイ>を選択し、［OK］を押します。

3 ［◄ −］または［+ ►］を押して<グループ　ダイヤル>を選択し、［OK］を押します。

4 グループ名を変更するグループダイヤルを指定し、［OK］を押します。

グループダイヤルは、操作パネル上の対応するワンタッチダイヤルキー（01 ～ 08）を押して選択することもできます。

5 ［+ ►］を押して変更する文字にカーソルを移動し、［クリア］を押します。

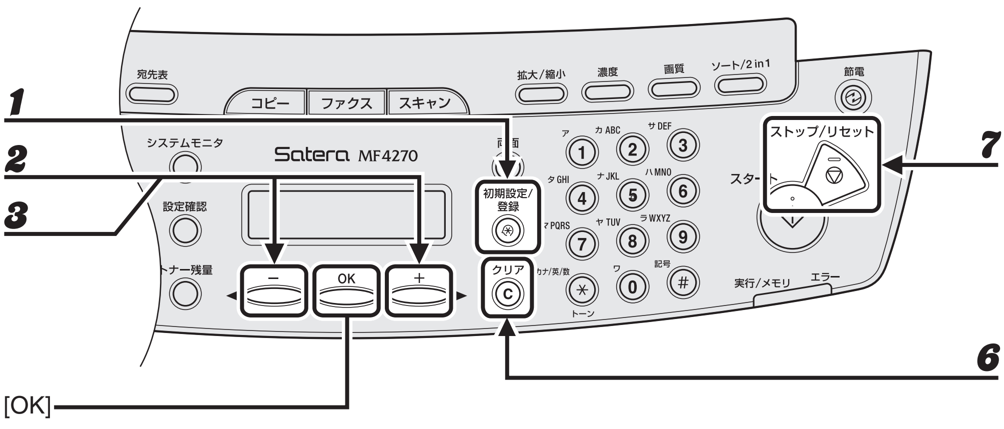
名前全体を消去する場合は、［クリア］を長押しします。

6 テンキーを使って新しい名前を入力し、［OK］を押します。

7 ［OK］を押します。

8 ［ストップ／リセット］を押して待受画面に戻ります。

● グループダイヤルを消去する



1 **［初期設定／登録］を押します。**

2 **［◄ ー］または［＋ ►］を押して＜アテサキヒョウ　シヨウセッテイ＞を選択し、［OK］を押します。**

3 **［◄ ー］または［＋ ►］を押して＜グループ　ダイヤル＞を選択し、［OK］を押します。**

4 **宛先を消去するグループダイヤルを指定し、［OK］を押します。**

グループダイヤルは、操作パネル上の対応するワンタッチダイヤルキー（01 〜 08）を押して選択することもできます。

5 **グループ名が表示されたら、［OK］を押します。**

6 **［クリア］押して登録済みの宛先を 1 件ずつすべて消去し、［OK］を押します。**

メモ

- 宛先をすべて消去すると、グループ名は自動的に消去されます。
- 登録した宛先の数のみ［クリア］を押してください。登録した宛先数を超えて［クリア］を押すと、ディスプレイの表示は＜アテサキヒョウ　シヨウセッテイ＞に戻り、グループダイヤルは消去されません。この場合は、手順 2 からの操作を繰り返し行ってください。

7 **［ストップ／リセット］を押して待受画面に戻ります。**

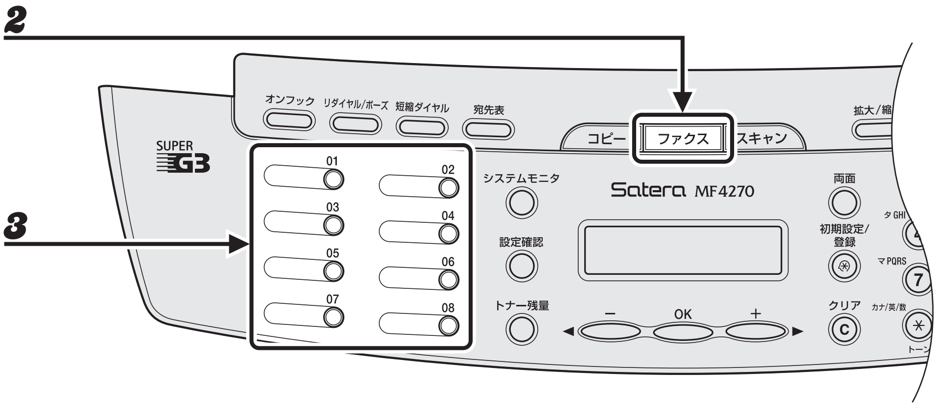
宛先を指定する

スピードダイヤルを使って原稿を送信します。

ワンタッチダイヤルを使用する

メモ

お使いになる場合は、宛先をあらかじめ登録しておいてください。(→宛先を登録／編集／削除する：P.4-5)



---

1 **原稿をセットします。**

ADF を使用しない場合は、1 枚目の原稿を原稿台ガラスにセットします。

2 **[ファクス] を押します。**

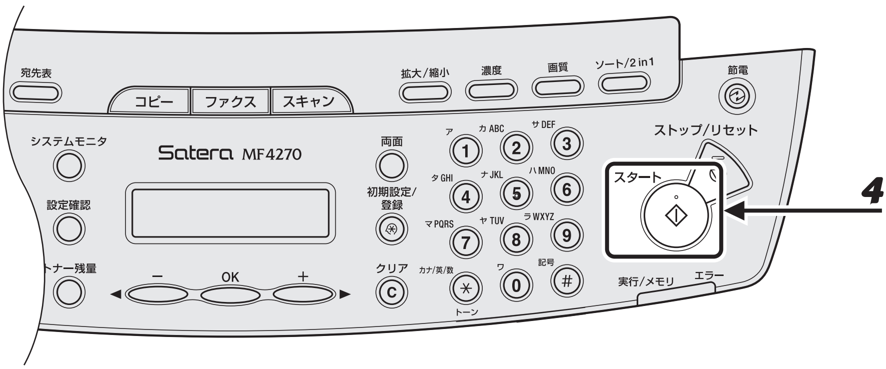
必要に応じて画質と濃度を調整する場合は、「読み込み設定」(→ P.4-3) を参照してください。

3 **登録先のワンタッチダイヤルキー (01 ～ 08) を押します。**

間違ったキーを押した場合は、[ストップ／リセット]を押したあと、手順２から操作をやりなおしてください。

例)

```
=0123XXXXXX
[05]ｷﾔﾉﾝ
```



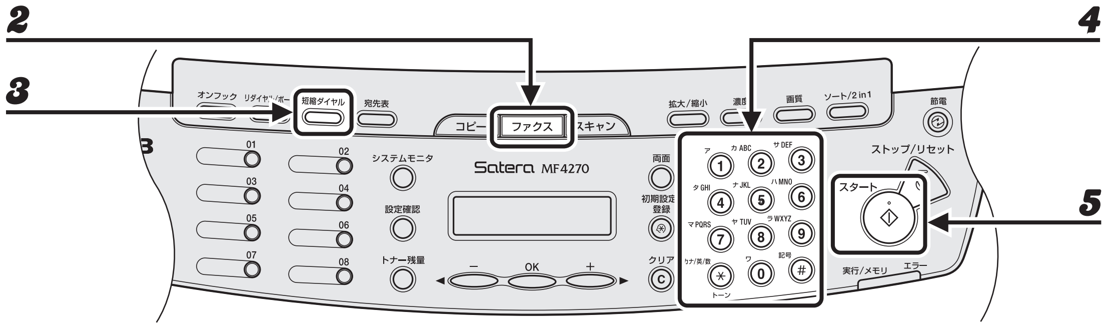
4 ［スタート］を押します。

原稿台ガラスに原稿をセットした場合は、原稿 1 枚ごとに「スタート」を押します。すべての原稿の読み込みが完了したら［OK］を押します。

短縮ダイヤルを使用する

メモ

お使いになる場合は、宛先をあらかじめ登録しておいてください。（→宛先を登録／編集／削除する：P.4-5）



---

1 原稿をセットします。

ADF を使用しない場合は、1 枚目の原稿を原稿台ガラスにセットします。

2 ［ファクス］を押します。

必要に応じて画質と濃度を調整する場合は、「読み込み設定」（→ P.4-3）を参照してください。

3 ［短縮ダイヤル］を押します。

4 テンキーを使って 2 桁の登録先番号（00 ～ 99）を入力します。

例）

☎＝０１２３ＸＸＸＸＸＸ
［＊０１］ｷﾔﾉﾝ

間違ったキーを押した場合は、［ストップ／リセット］を押したあと、手順２から操作をやりなおしてください。

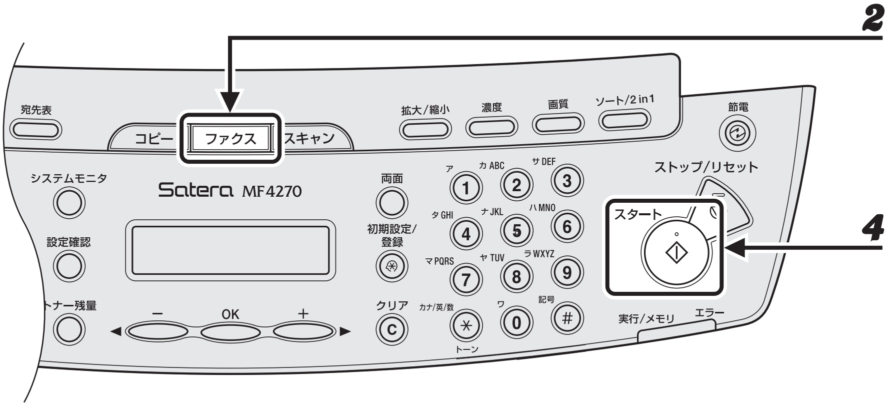
5 ［スタート］を押します。

原稿台ガラスに原稿をセットした場合は、原稿 1 枚ごとに「スタート」を押します。すべての原稿の読み込みが完了したら［OK］を押します。

グループダイヤルを使用する

メモ

お使いになる場合は、宛先をあらかじめ登録しておいてください。（→宛先を登録／編集／削除する：P.4-5）



---

1 原稿をセットします。

ADF を使用しない場合は、1 枚目の原稿を原稿台ガラスにセットします。

2 ［ファクス］を押します。

必要に応じて画質と濃度を調整する場合は、「読み込み設定」（→ P.4-3）を参照してください。

3 グループダイヤルの登録先のワンタッチダイヤルキー（01 ～ 08）を押します。

例）

```
ク゛ルーフ゜ タ゛イヤル
[01]キヤノンク゛ルーフ゜
```

間違ったキーを押した場合は、[ストップ／リセット]を押したあと、手順２から操作をやりなおしてください。

4 ［スタート］を押します。

原稿台ガラスに原稿をセットした場合は、原稿 1 枚ごとに「スタート」を押します。すべての原稿の読み込みが完了したら［OK］を押します。

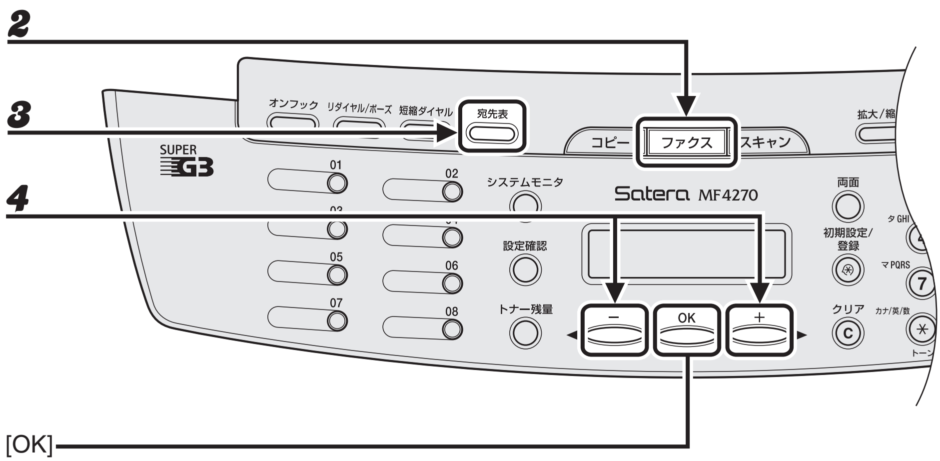
宛先表を使用する

宛先表を使うと、登録済みの宛先を宛先表から検索できます。どのワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに宛先を登録したか忘れてしまった場合に便利です。
登録したすべての宛先を通して探す（<アテサキリスト　ヒョウジ>）こともできますし、宛先を名前で検索する（<アテサキ　ケンサク>）こともできます。

メモ

宛先を登録する場合は、「宛先を登録／編集／削除する」（→ P.4-5）を参照してください。

● 宛先リスト表示



1　**原稿をセットします。**

ADF を使用しない場合は、1 枚目の原稿を原稿台ガラスにセットします。

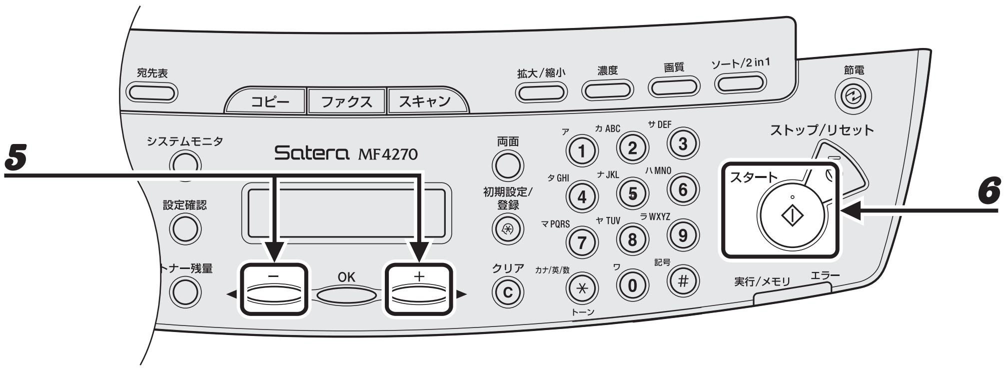
2　**［ファクス］を押します。**

必要に応じて画質と濃度を調整する場合は、「読み込み設定」（→ P.4-3）を参照してください。

3　**［宛先表］を押します。**

宛先が登録されていない場合は、＜ミトウロクデス＞と表示されます。

4　**［◄－］または［＋►］を押して<アテサキリスト　ヒョウジ>を選択し、［OK］を押します。**



5 **［◄ −］または［+ ►］を押して宛先を選択します。**

例）

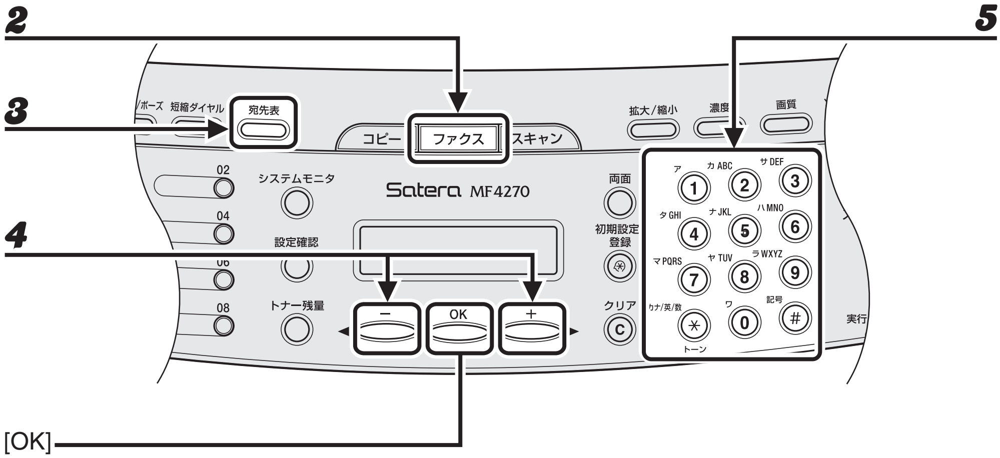
```
キヤノン ホンシャ
```

宛先はワンタッチダイヤルキー（01 〜 08)、短縮ダイヤル（00 〜 99）の順に表示されます。
ワンタッチダイヤルキーと短縮ダイヤルに宛先の名前が登録されていない場合は、ファクス番号が表示されます。

6 **［スタート］を押します。**

原稿台ガラスに原稿をセットした場合は、原稿 1 枚ごとに「スタート」を押します。すべての原稿の読み込みが完了したら［OK］を押します。

相手先の名称を検索する



1 原稿をセットします。

ADF を使用しない場合は、1 枚目の原稿を原稿台ガラスにセットします。

2 ［ファクス］を押します。

必要に応じて画質と濃度を調整する場合は、「読み込み設定」（→ P.4-3）を参照してください。

3 ［宛先表］を押します。

宛先が登録されていない場合は、＜ミトウロクデス＞と表示されます。

4 ［◄ー］または［＋►］を押して＜アテサキ　ケンサク＞を選択し、［OK］を押します。

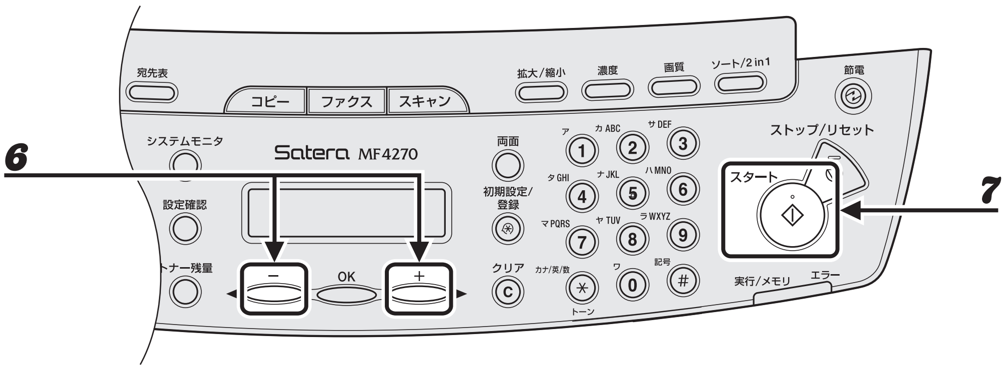
5 テンキーを使って、検索する名称の最初の文字を入力し、［OK］を押します。

たとえば、「ア」で始まる相手先の名称を検索する場合は、［1］（ア）を押します。
入力モードを切り替える場合は、［＊］を押してください。ディスプレイ右上に入力モードを示す＜ア＞（カタカナ入力）、＜ A ＞（アルファベット入力）または＜ 1 ＞（数字入力）が表示されます。

例）

```
ｹﾝｻｸ                [ｱ]
ｷﾔﾉﾝ
```

- 検索可能な文字数は最大 10 文字です。
- アルファベットで検索する場合は、大文字と小文字は区別されます。大文字で登録した宛先を検索するには大文字で、小文字で登録した宛先を検索するには小文字で入力してください。
- 検索が完了すると、入力した文字に一致する宛先の数が括弧の中に表示されます。
- 新しく検索しなおすには［クリア］を押します。



6 **[◄ —] または [+ ►] を押して宛先を選択します。**

7 **[スタート] を押します。**

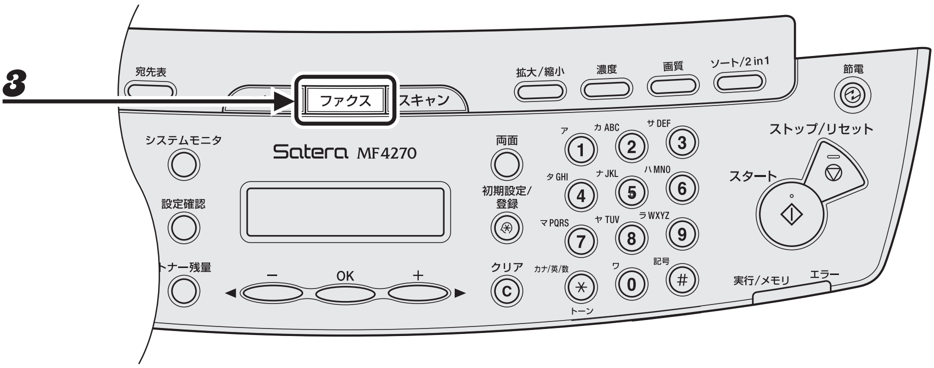
原稿台ガラスに原稿をセットした場合は、原稿 1 枚ごとに「スタート」を押します。すべての原稿の読み込みが完了したら [OK] を押します。

手動で送信する

原稿を送信する前に相手と話をしたい場合、または相手先のファクス機が自動受信できない場合は、手動で送信してください。

メモ

- 手動送信では、原稿台ガラスは使用できません。
- 手動送信では、グループダイヤルは使用できません。



1 外付け電話機を本製品に接続します。

外付け電話機の接続方法については、スタートアップガイド「本製品のセットアップ」「電話回線を接続する」を参照してください。

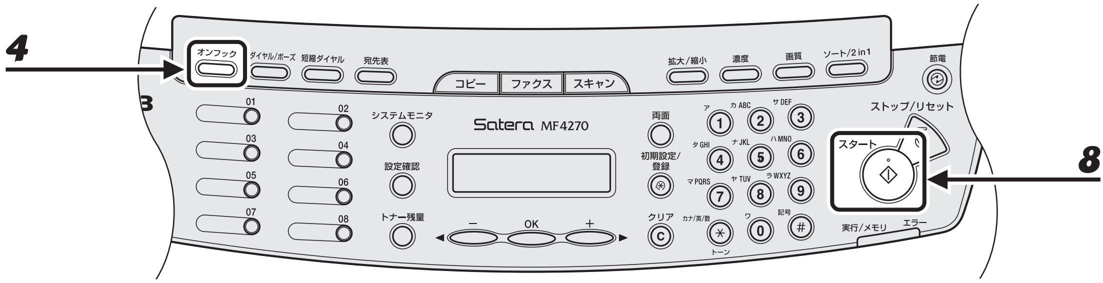
メモ

本製品に接続する電話機が、黒電話 *（600 型、601 型等）を含む、金属ベル内蔵電話機の場合は、呼び出し音が小さかったり、呼び出し音が鳴らない可能性があります。
* 黒電話とは、以前に一般家庭で普及していた、旧式の黒い電話機の総称です。

2 ADF に原稿をセットします。

3 ［ファクス］を押します。

必要に応じて原稿の設定を調整する場合は、「読み込み設定」（→ P.4-3）を参照してください。



4 ［オンフック］を押すか、外付け電話機の受話器を取ります。

［オンフック］を押すと、一時期に通信音量を［◄ー］または［+►］を押して調整できます。

5 相手先のファクス／電話番号をダイヤルします。

メモ

ファクス／電話番号を入力する前に、発信音を確認してください。発信音を確認する前に番号を入力すると、通じなかったり、間違った番号にかかったりすることがあります。

6 受話器で相手と話します。

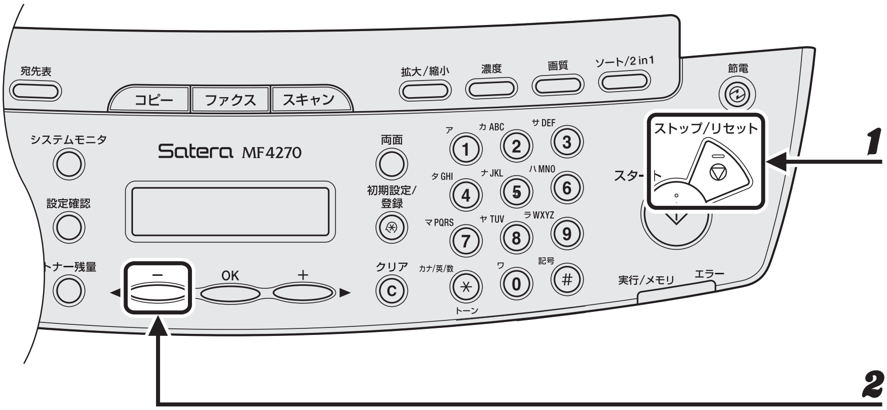
手順４で［オンフック］を押した場合は、相手先の声が聞こえたら受話器を取ります。
相手先の声ではなく「ピー」という音が聞こえた場合は、手順８に進んでください。

7 ファクスの受信準備をするよう相手先に依頼します。

8 「ピー」という音が聞こえたら［スタート］を押し、受話器を置きます。

送信ジョブを中止する

原稿の読み込み操作や送信操作を中止します。



1 ［ストップ／リセット］を押します。

2 ＜ツウシンヲ　チュウシ　シマスカ？＞と表示されたら、［◄ ─］を押して＜ハイ＞を選択します。

```
ツウシンヲ  チュウシ  シマスカ?
 〈  ハイ              イイエ  〉
```

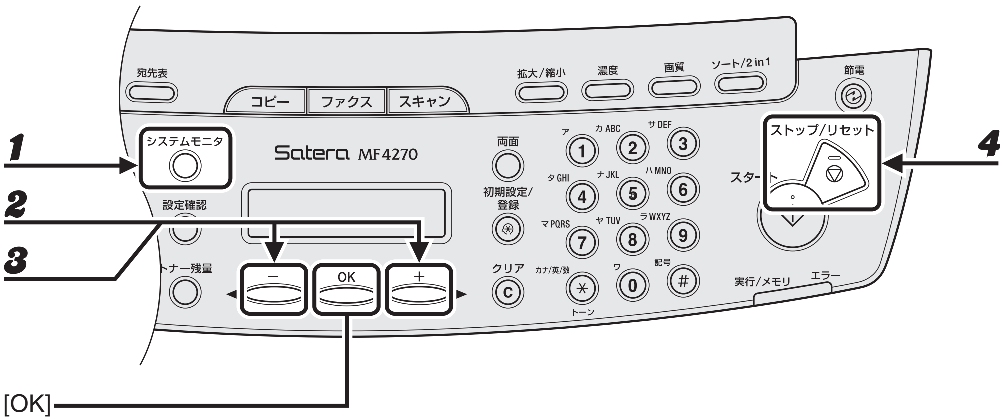
メモ

- ADF に原稿が残っている場合は、取り除いてください。
- 待受画面がコピーモードまたはスキャンモードの場合で、ファクスジョブを削除する場合は、［ファクス］を押してファクスモードにしてください。

メモリ内の送信ジョブを確認／操作する

［システムモニタ］を押して、送信履歴を確認したり送信中または送信待機中のジョブを確認／削除できます。

送信履歴を確認する



---

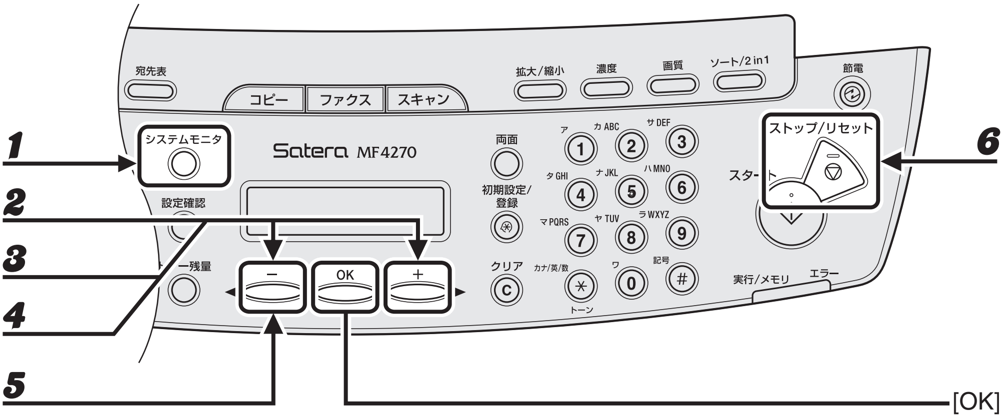
1 ［システムモニタ］を押します。

2 ［◄－］または［＋►］を押して＜ツウシンリレキ＞を選択し、［OK］を押します。

3 ［◄－］または［＋►］を押して送信履歴を表示します。

4 ［ストップ／リセット］を押して待受画面に戻ります。

送信中または送信待機中のジョブを確認／削除する



1　**［システムモニタ］を押します。**

2　**［◄ ─］または［＋ ►］を押して＜ツウシン　ジョウキョウ＞を選択し、［OK］を押します。**

3　**［◄ ─］または［＋ ►］を押してメモリ内にある送信ジョブを確認します。**

ジョブを削除する場合は、手順 4 に進んでください。削除しない場合は、［ストップ／リセット］を押して待受画面に戻ります。

4　**［◄ ─］または［＋ ►］を押して削除するジョブを選択し、［OK］を押します。**

メモ

＜ドウホウ＞の場合は、ジョブに設定されたすべての宛先への送信がキャンセルされます。

5　**［◄ ─］を押して＜ハイ＞を選択します。**

削除操作を中止する場合は、［＋►］を押して＜イイエ＞を選択します。

6　**［ストップ／リセット］を押して待受画面に戻ります。**

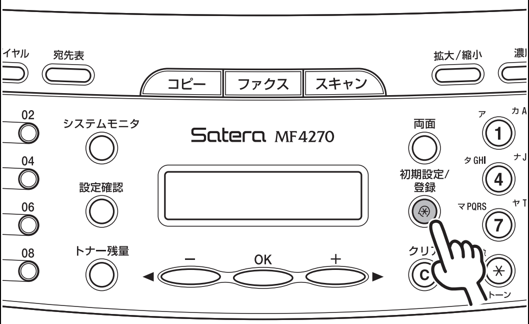
5 受信する

以下の手順に従って、ファクスの受信を設定します。
応用機能については、操作ガイド（総合編）「第 4 章 送信と受信」「受信応用機能」を参照してください。

メモ

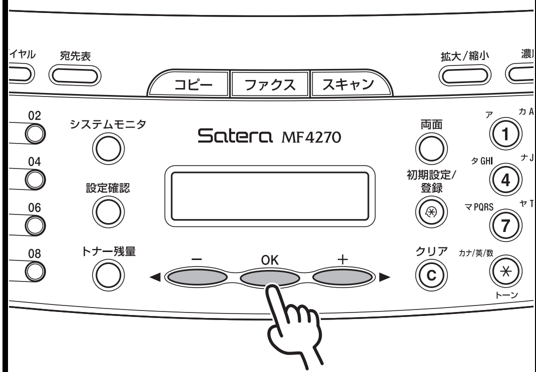
以下の用紙を使用してください。
- 用紙サイズ：A4、オフィシオ、ブラジル - オフィシオ、メキシコ - オフィシオ、フォリオ、ガヴァメント - レター、ガヴァメント - リーガル、FOOLSCAP、レター、リーガル

1 設定メニューを選択する



［初期設定／登録］を押します。

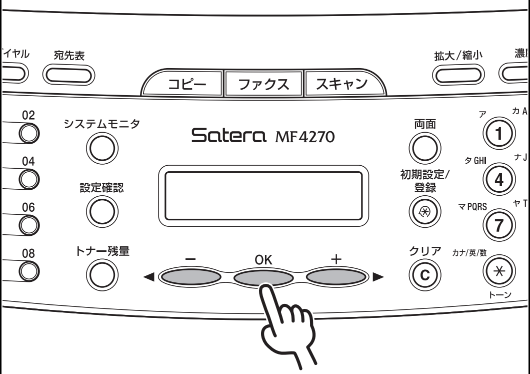
2 受信モードを選択する



［◄ −］または［+ ►］を押して＜ファクスセッテイ＞を選択し、［OK］を押します。

［◄ −］または［+ ►］を押して＜ジュシンモード＞を選択し、［OK］を押します。

3 受信モードを設定する



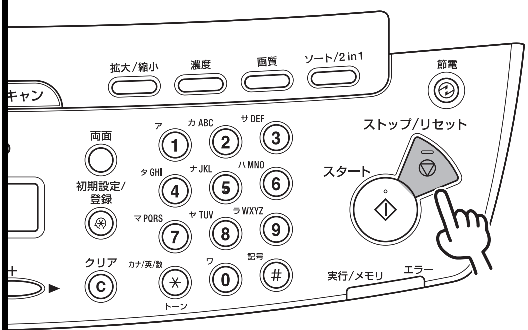
［◄ー］または［＋►］を押して受信モードを選択し、［OK］を押します。

<ジドウ>：すべての着信をファクスとして受信します。
<ルス TEL >：ファクスの場合は自動的に受信し、電話の場合は留守番電話機が用件を録音します。
< FAX/TEL >：外付け電話機が接続されている場合は、ファクスと電話を自動的に切り替えます。
<シュドウ>：着信に応答しません。手動でファクスを受信してください。
詳細については、操作ガイド（総合編）「第 4 章 送信と受信」「受信応用機能」を参照してください。

メモ

- < FAX/TEL >または<シュドウ>の場合は、外付け電話機を本製品に接続してください。
- <ルス TEL >の場合は、留守番電話機を本製品に接続してください。

4 設定メニューを終了する



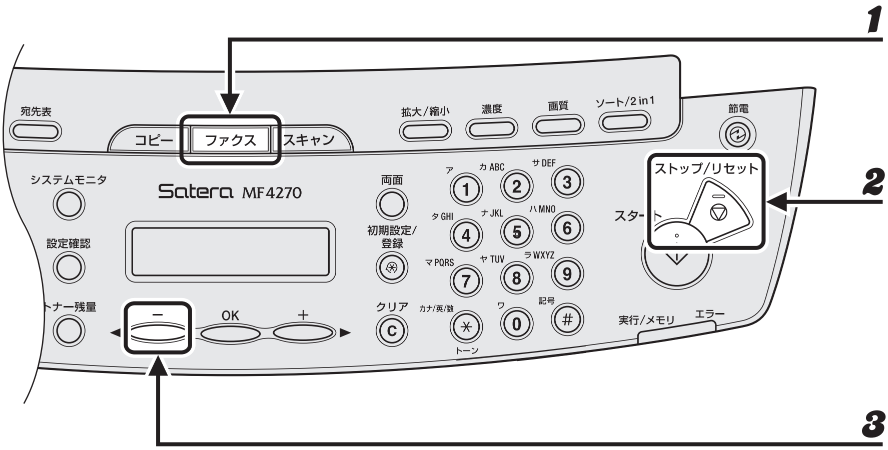
［ストップ／リセット］を押して待受画面に戻ります。

こんなときは ...

- **受信を中止するとき：**
  ［ストップ／リセット］を押します。
  <ツウシンヲ　チュウシ　シマスカ？>と表示されたら、［◄ー］を押して<ハイ>を選択します。
- **<トナーショウ（ケイゾクプリントカ）／トナーヲ　ジュンビシテクダサイ>と表示されたとき：**
  トナーを均一にならしてください。トナーがなくなった場合にすぐに交換できるように、新しいトナーカートリッジを用意してください。
  詳細については、「トナーカートリッジの交換時期」（→ P.10-8）を参照してください。

受信ジョブを中止する

原稿の受信操作を中止します。



1　［ファクス］を押します。

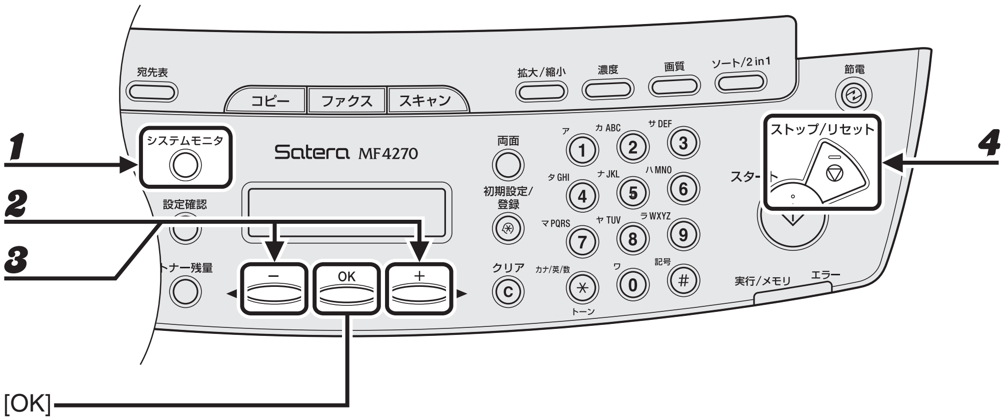
2　［ストップ／リセット］を押します。

3　＜ツウシンヲ　チュウシ　シマスカ？＞と表示されたら、［◄ –］を押して＜ハイ＞を選択します。

```
ツウシンヲ　チュウシ　シマスカ?
 〈　ハイ　　　　　　　　イイエ　〉
```

メモリ内の受信ジョブを確認する

［システムモニタ］を押して、受信履歴を確認できます。



1 ［システムモニタ］を押します。

2 ［◄ー］または［+►］を押して＜ツウシンリレキ＞を選択し、［OK］を押します。

3 ［◄ー］または［+►］を押して受信履歴を表示します。

4 ［ストップ／リセット］を押して待受画面に戻ります。

問題発生時にジョブをメモリで受信する（代行受信）

トナー切れや用紙切れなどでプリントができない場合、本製品は受信した文書をいったんメモリに蓄積します。この機能を代行受信と呼びます。

メモ

- 本体のメモリは、最大で 256 ジョブまたは約 256 ページ分のデータを蓄積できます。*
  * 相手側のファクスが Canon Satera MF4270 で、ITU-T チャート No.1 を標準モードで送信した場合のページ数です。メモリに蓄積できる最大のページ数は、送信側のファクスによって異なります。
- 蓄積されたページはプリントされるとメモリから削除されます。
- メモリがいっぱいになると、残りのページは受信できません。相手に残りのページを再送信してくれるよう連絡してください。

1 エラーランプが点灯し、メッセージが交互に表示されます。

メモリ代行受信した場合は、ディスプレイに＜ジュシンデータプリントデキマセン／エラーカイジョゴ　プリント＞と交互に以下のメッセージが表示されます。

例）

```
ﾖｳｼｦ ﾎｷｭｳｼﾃｸﾀﾞｻｲ
ｶｾｯﾄ        :Ｂ５
```

原因：コピーやプリント時、受信文書のプリント時に用紙カセットまたは手差しトレイに用紙がセットされていない。
処置：用紙をセットしてください。用紙カセットの場合は、用紙をセットしたあとに [OK] を押してください。詳細を確認する場合は「ディスプレイの表示」（→ P.11-9）を参照してください。

```
ﾖｳｼｶﾞ ﾂﾏﾘﾏｼﾀ
```

```
ﾊﾟﾈﾙｦ ﾓﾁｱｹﾞﾃｸﾀﾞｻｲ
ﾄﾅｰｶﾊﾞｰｦ ｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ
```

原因：本体内で紙づまりが起きた。
処置：つまった用紙を取り除いて（→用紙がつまったときには：P.11-1）、用紙カセットまたは手差しトレイに用紙をセットしなおしてください。次にカバーを開閉して実行中のジョブを再開してください。

例）

```
ﾀﾀﾞｼｲﾖｳｼｦ ｾｯﾄｼﾃｸﾀﾞｻｲ
ｶｾｯﾄ        :Ｂ５
```

原因：用紙カセットまたは手差しトレイにある用紙のサイズが＜ヨウシ　セッテイ＞メニューの＜カセット＞または＜テザシトレイ＞で指定した用紙と違う。
処置：用紙をセットしなおすか＜ヨウシ　セッテイ＞メニューで指定した用紙サイズを変更してください。
（→＜タダシイヨウシヲ　セットシテクダサイ＞と表示された場合：P.11-17）

```
ｶﾊﾞｰｦ ｼﾒﾃｸﾀﾞｻｲ
ﾄﾅｰｶﾊﾞｰ
```

原因：トナーカバーが完全に閉じていない。
処置：トナーカバーが完全に閉じているか確認してください。

```
ﾃｻﾞｼﾉ ﾖｳｼｦ ｼﾞｮｷｮ
```

原因：手差しトレイに用紙がセットされている。
処置：手差しトレイにセットされている用紙を取り除いてください。手差しトレイに用紙がセットされていると、ファクス、レポートおよびリストはプリントされずにメモリに蓄積されます。

```
ﾄｳﾛｸｻｲｽﾞｦ ﾍﾝｺｳ
->ﾖｳｼｾｯﾃｲ
```

原因：プリントに適切な用紙サイズが設定されていない。
処置：レポート、リスト、受信したデータをプリントする場合は、＜ヨウシセッテイ＞の＜カセット＞を＜ A4 ＞、＜ OFICIO ＞、＜ BRAZIL-OFICIO ＞、＜ MEXICO-OFICIO ＞、＜ FOLIO ＞、＜ GOVERNMENT-LETTER ＞、＜ GOVERNMENT-LEGAL ＞、＜ FOOLSCAP ＞、＜ LTR ＞、または＜ LGL ＞に設定してください。（→用紙のサイズと種類を設定する：P.2-17）
詳細を確認する場合は「ディスプレイの表示」（→ P.11-9）を参照してください。

```
ﾖｳｼｶﾞ ﾂﾏﾘﾏｼﾀ
ｳｼﾛｶﾊﾞｰｦ ｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ
```

```
ﾊﾟﾈﾙｦ ﾓﾁｱｹﾞﾃｸﾀﾞｻｲ
ﾄﾅｰｶﾊﾞｰｦ ｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ
```

原因：本体内で紙づまりが起きた。
処置：つまった用紙を取り除いて（→用紙がつまったときには：P.11-1）、用紙カセットまたは手差しトレイに用紙をセットしなおしてください。次にトナーカバーを開閉して本製品をリセットしてください。

```
ﾖｳｼｦ ｾｯﾄ ｼﾅｵｼﾃ ｸﾀﾞｻｲ
ﾄﾅｰｦ ｾｯﾄ ｼﾅｵｼﾃ ｸﾀﾞｻｲ
```

原因：用紙が正しくセットされていないか、トナーカートリッジが正しくセットされていない。
処置：用紙カセットと手差しトレイからセットされている用紙を取り除いてください。そのあと、用紙をセットしなおしてください。
トナーカートリッジを正しくセットしてください。
詳細を確認する場合は「ディスプレイの表示」（→ P.11-9）を参照してください。

```
ﾄﾅｰｶﾞ ﾅｸﾅﾘﾏｼﾀ
ﾄﾅｰｦ ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ
```

原因：トナーがなくなった。
処置：トナーを均一にならしてください。（→トナーを均一にならす：P.10-8）メッセージが引き続き表示された場合は、新しいトナーカートリッジに交換してください。
詳細を確認する場合は「ディスプレイの表示」（→ P.11-9）を参照してください。

2 **エラーを解消すると、受信文書がプリントされます。**

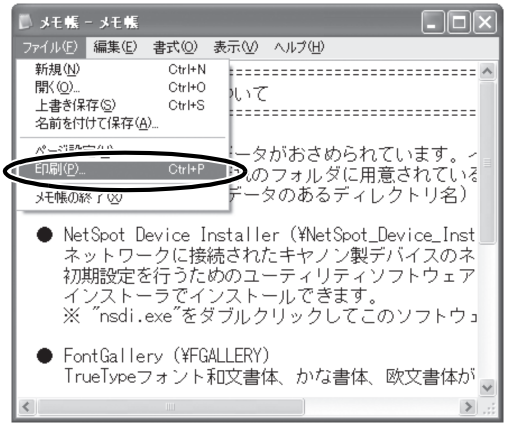
6 コンピュータからプリントする

以下の手順で、コンピュータからプリントします。
プリンタドライバがインストールされていることを確認してください。確認方法は、スタートアップガイド「コンピュータでのソフトウェア設定」「ネットワーク接続」または「コンピュータでのソフトウェア設定」「USB 接続」を参照してください。プリンタドライバの設定については、オンラインヘルプを参照してください。

メモ

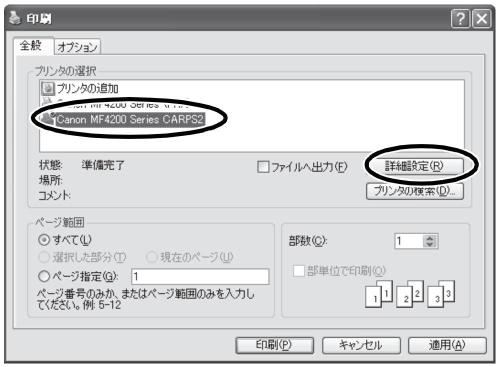
OS やアプリケーションによっては、手順や画面に表示される項目が異なる場合があります。

1 印刷コマンドを選択する



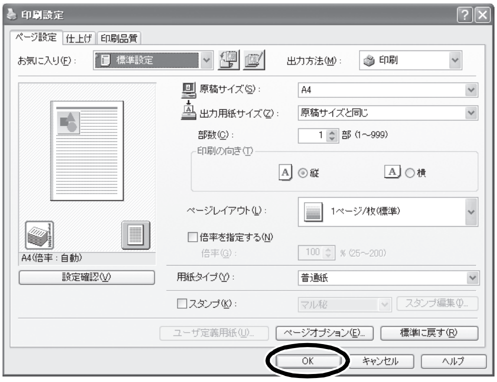
アプリケーションで開いている文書から、［ファイル］→［印刷］をクリックします。

2 使用するプリンタを選択する



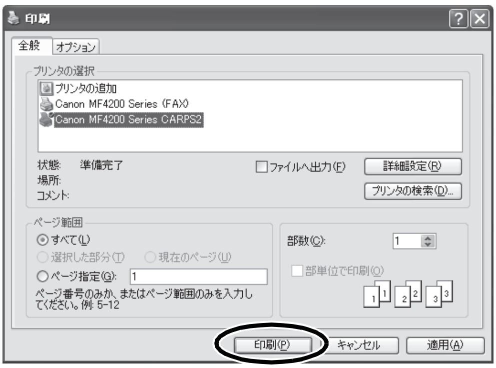
プリンタアイコン（Canon MF4200 Series CARPS2）を選択したあと、［詳細設定］または［プロパティ］をクリックして、画面を開きます。

3 詳細を設定する



設定が終了したら、［OK］をクリックします。

4 プリントを開始する



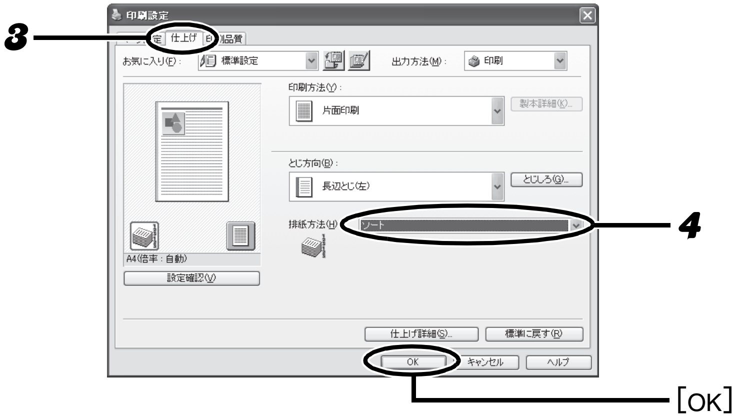
［印刷］または［OK］をクリックします。

こんなときは ...

- **プリントを中止するとき：**
  「プリント状況を確認／削除する」（→ P.6-6）を参照してください。

ソートプリント

プリントをページ順にそろえることができます。例えば、プリントした 3 ページの原稿の束を 1、2、3、1、2、3 とページ順に排紙します。



1 アプリケーションで開いている文書から、[ファイル] → [印刷] をクリックします。

2 プリンタアイコン（Canon MF4200 Series CARPS2）を選択したあと、[詳細設定] または [プロパティ] をクリックして、画面を開きます。

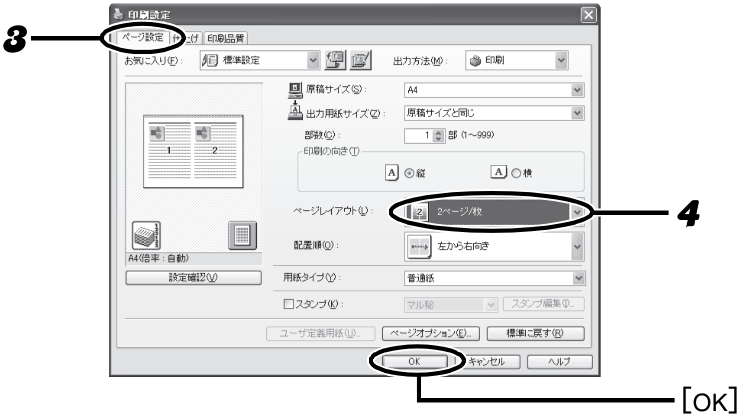
3 [仕上げ] タブをクリックします。

4 [排紙方法] の [ソート] を選択し、[OK] をクリックします。

5 [印刷] または [OK] をクリックします。

2 in 1

2 in 1 は、2 枚の原稿を自動的に縮小して指定サイズにプリントします。



1 **アプリケーションで開いている文書から、[ファイル] → [印刷] をクリックします。**

2 **プリンタアイコン(Canon MF4200 Series CARPS2)を選択したあと、[詳細設定] または [プロパティ] をクリックして、画面を開きます。**

3 **[ページ設定] タブをクリックします。**

4 **[ページレイアウト] の [2 ページ / 枚] を選択し、[OK] をクリックします。**

5 **[印刷] または [OK] をクリックします。**

メモ

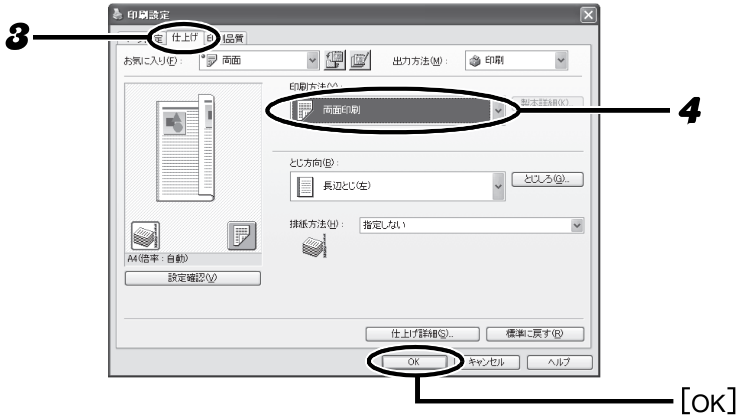
- [2 ページ / 枚] の他に、[4 ページ / 枚]、[6 ページ / 枚]、[8 ページ / 枚]、[9 ページ / 枚]、[16 ページ / 枚] の中から選択することができます。[ポスター (2 × 2)]、[ポスター (3 × 3)]、[ポスター (4 × 4)] を選択すると、複数枚の原稿を貼り合わせたポスターを出力することができます。
- 複数の原稿を指定のサイズに縮小する場合、プルダウンメニューの [配置順] でレイアウト内容を選択することもできます。

両面プリント

両面プリント機能を使って、片面の原稿から両面プリントをすることができます。

メモ

両面プリントには以下の用紙を使用してください。
・ 用紙サイズ：A4 およびレター
・ 用紙の重さ：64 ～ 80g/m^2



1 アプリケーションで開いている文書から、［ファイル］→［印刷］をクリックします。

2 プリンタアイコン（Canon MF4200 Series CARPS2）を選択したあと、［詳細設定］または［プロパティ］をクリックして、画面を開きます。

3 ［仕上げ］タブをクリックします。

4 ［印刷方法］の［両面印刷］を選択し、［OK］をクリックします。

5 ［印刷］または［OK］をクリックします。

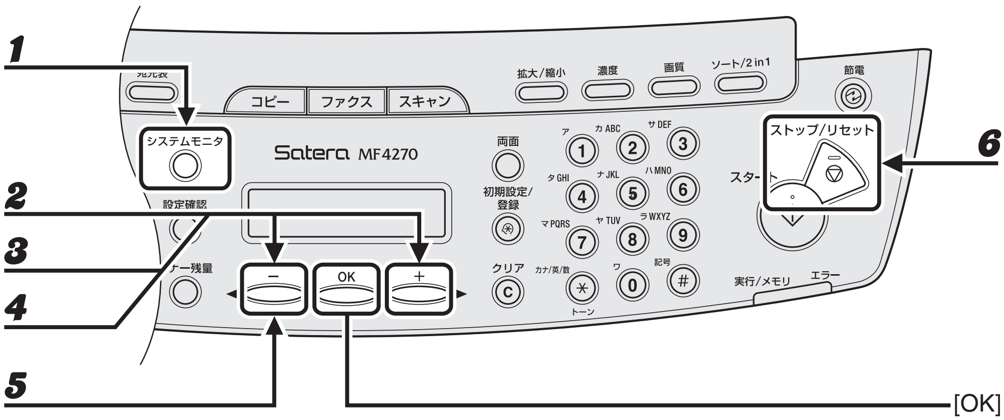
ジョブの確認と削除

［システムモニタ］を押して、処理中のプリントジョブの状態を確認／削除できます。

メモ

実行／メモリランプが点灯していることを確認してください。実行／メモリランプが消灯している場合は、メモリに保存されているプリントジョブはすべて消えています。

プリント状況を確認／削除する



1 **［システムモニタ］を押します。**

2 **［◄ー］または［＋►］を押して＜プリント　ジョウキョウ＞を選択し、［OK］を押します。**

3 **［◄ー］または［＋►］を押してメモリ内にあるプリント中のジョブを確認します。**

ジョブを削除する場合は、手順 4 に進んでください。削除しない場合は、［ストップ／リセット］を押して待受画面に戻ります。

4 **［◄ー］または［＋►］を押して削除するジョブを選択し、［OK］を押します。**

5 **［◄ー］を押して＜ハイ＞を選択します。**

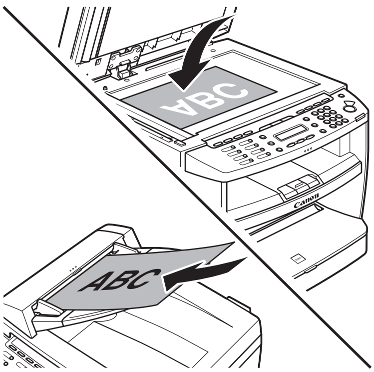
削除操作を中止する場合は、［＋►］を押して＜イイエ＞を選択します。

6 **［ストップ／リセット］を押して待受画面に戻ります。**

7 スキャンする (USB 接続のみ)

以下の手順で、USB で接続されたコンピュータに原稿を読み込みます。
スキャナドライバがインストールされていることを確認してください。確認方法は、スタートアップガイド「コンピュータでのソフトウェア設定」「USB 接続」を参照してください。
スキャナドライバの設定については、スキャナドライバガイド（付属の CD-ROM に収録されています）を参照してください。

1 原稿をセットする



原稿台ガラスまたは ADF に原稿をセットします。

使用できる原稿については「使用可能な原稿」（→ P.2-1）を参照してください。

2 スキャンモードを選択する



［スキャン］を押します。

スキャンランプが点灯し、スキャンモードになります。

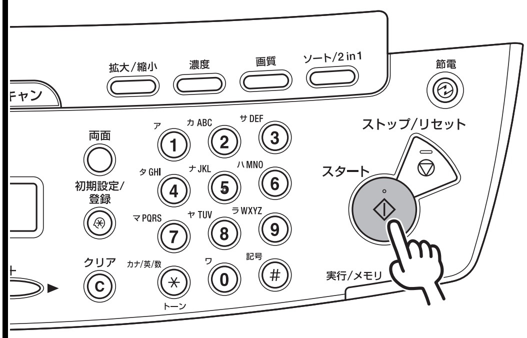
3 スキャン機能を設定する



MF Toolboxを起動し、◇マークを選択するボタンの上にドラッグして、スキャン形式を設定します。

選択したボタンの上にマークが表示されます。

4 スキャンを開始する



［スタート］を押します。

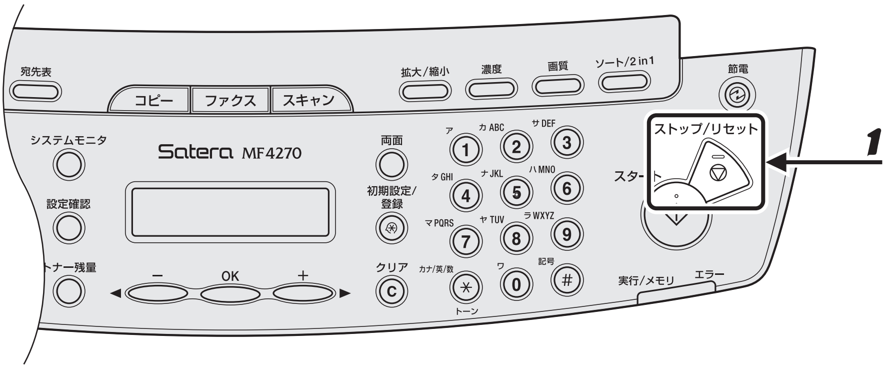
こんなときは ...

- **スキャンを中止するとき：**
  ［ストップ／リセット］を押し、コンピュータ画面上の［OK］をクリックします。

スキャンジョブの中止

以下の手順で、進行中のジョブを中止します。

コンピュータへのスキャンジョブを中止する



---

1 ［ストップ／リセット］を押します。

2 コンピュータ画面上の［OK］をクリックします。

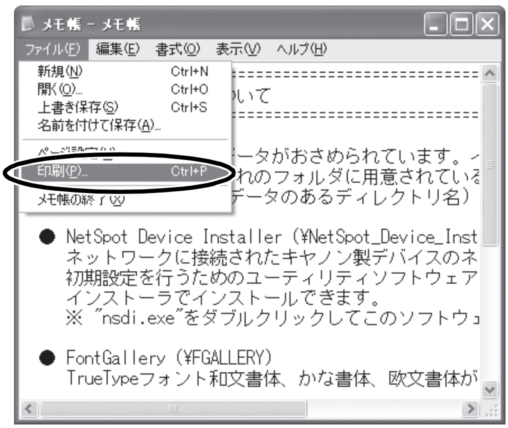
8 コンピュータからファクス送信する

以下の手順で、コンピュータからファクスを送信します。
ファクスドライバがインストールされていることを確認してください。確認方法は、スタートアップガイド「コンピュータでのソフトウェア設定」「ネットワーク接続」または「コンピュータでのソフトウェア設定」「USB 接続」を参照してください。
ファクスドライバの設定については、オンラインヘルプを参照してください。

メモ

OS やアプリケーションによっては、手順や画面に表示される項目が異なる場合があります。

1 印刷コマンドを選択する



アプリケーションで開いている文書から、［ファイル］→［印刷］をクリックします。

2 使用するファクスを選択する

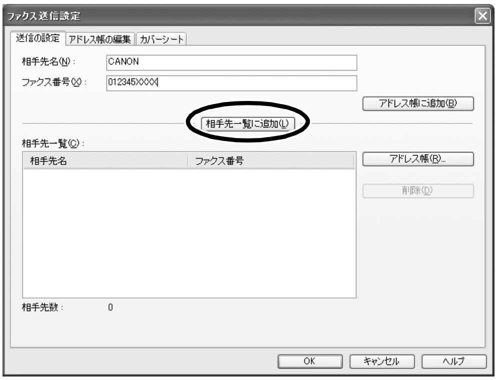


ファクスアイコン（Canon MF4200 Series (FAX)）を選択し、［印刷］または［OK］をクリックします。

こんなときは ...

- **ファクスのプロパティを変更するとき：**
  ［詳細設定］または［プロパティ］をクリックして、設定を変更します。

3 相手先を選択する

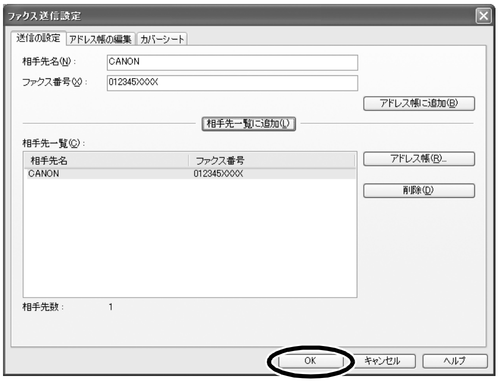


[送信の設定] タブで名前とファクス番号を指定し、[相手先一覧に追加] をクリックします。

こんなときは ...

- **表紙を付けてファクスを送信するとき：**
  [カバーシート] タブをクリックし、添付表紙の形式を設定します。

4 送信を開始する



[OK] をクリックします。

こんなときは ...

- **ファクス送信を中止するとき：**
  操作ガイド（総合編）「第 4 章 送信と受信」「メモリ内の送受信ジョブを確認／操作する」を参照してください。

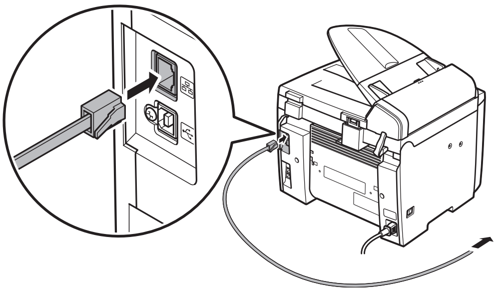
9 リモート UI

以下の手順で、リモート UI を使って本製品を管理します。
リモート UI ソフトウェアを使って、ウェブブラウザからネットワークに接続された本製品へのアクセスと管理ができます。

・ ネットワーク上のパソコンから本製品の状況を確認できます
・ パソコンから本製品の設定や操作ができます

詳細については、操作ガイド（総合編）「第 7 章 リモート UI」を参照してください。

1 ネットワークを準備する



TCP/IP ネットワークで使用できるよう本製品を設定し、ネットワークルータまたはハブに本製品とコンピュータを接続します。

詳細については、スタートアップガイド「コンピュータでのソフトウェア設定」「ネットワーク接続」を参照してください。

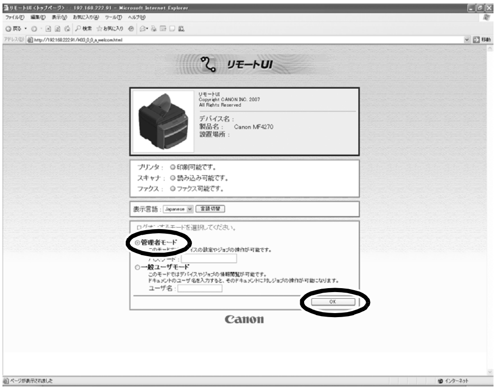
2 ウェブブラウザを起動する



ウェブブラウザを起動し、本製品の IP アドレスを入力してから、キーボードの［Enter］キーを押します。

IP アドレスの確認の詳細については、操作ガイド（総合編）「第 6 章 ネットワーク」「ネットワーク環境で使用するために必要な作業」を参照してください。

3 ログオンする

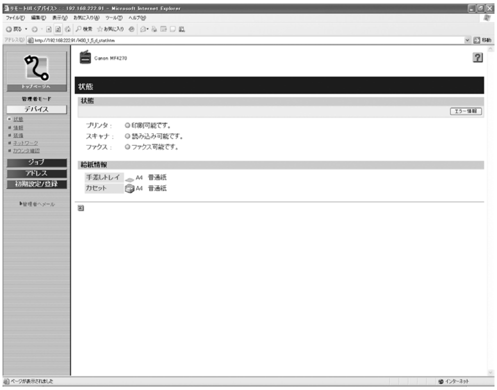


ログオンするモードを選択し、[OK] をクリックします。

メモ

システム管理者暗証番号を設定していない場合は、入力する必要はありません。

4 本製品を管理／操作する



ウェブブラウザから本製品を管理／操作できます。

詳細については、操作ガイド（総合編）「第 7 章 リモート UI」を参照してください。

10 日常のメンテナンス

日常のお手入れ

本製品のお手入れをする前に、以下を確認してください。

- メモリにジョブが蓄積されていないことを確認してから、主電源スイッチを切り、電源コードを抜いてください。
- 本製品に傷が付かないよう、柔らかい布をお使いください。
- ティッシュペーパー、紙タオルなどは使わないでください。内部の部品に付着したり、静電気発生の原因になったりすることがあります。

注意

シンナーやベンジン、アセトンなどの溶剤、およびその他の化学クリーナーは絶対に使わないでください。本体内部の部品を損傷する恐れがあります。

本体のお手入れ

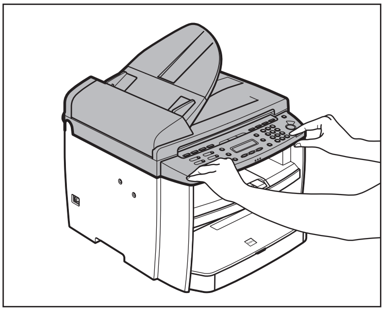
1. 主電源スイッチを切り、電源コードを抜きます。
2. 水または薄めた中性洗剤を含ませてかたく絞った布で、本体の表面を拭きます。
3. 乾いてから電源コードを接続し、主電源スイッチを入れます。

内部のお手入れ

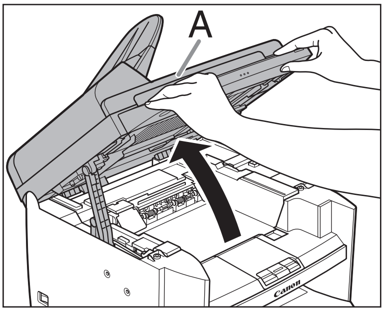
プリントエリアを定期的に清掃し、トナーの粉や紙ぼこりがたまらないようにしてください。

1 **主電源スイッチを切り、電源コードを抜きます。**

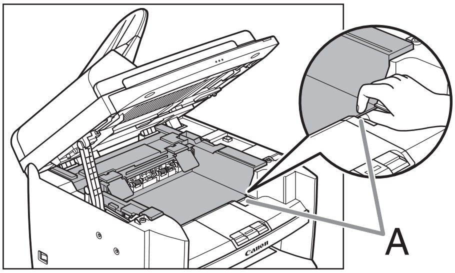
2 **操作パネル部の両端を両手で持ちます。**



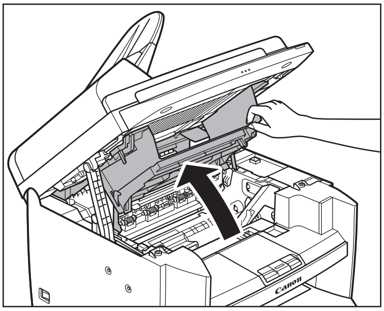
3 **操作パネル部（A）をロックされるまで両手で持ち上げます。（かちりという音がします。）**



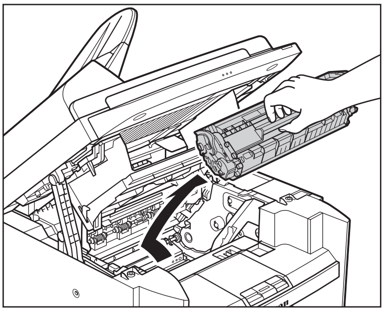
4 **トナーカバーの右手前にあるつまみ（A）を持ちます。**



5 **トナーカバーを開けます。**

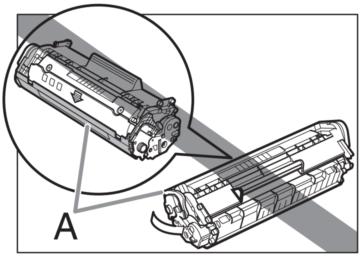


6　トナーカートリッジを取り出します。



注意

- 「注意高温」の表示がある部分とローラ部は高温になっています。内部を点検するときは、触れないように注意してください。やけどの原因になることがあります。
- トナーカートリッジを光に当てないよう、保護袋に入れるか厚手の布で包んでください。
- トナーカートリッジのドラム保護シャッター（A）を開けないでください。ドラムの表面に光が当たったり傷が付いたりすると、印字の質が低下することがあります。



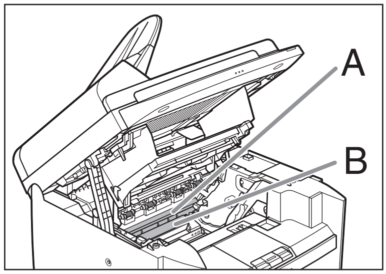
メモ

トナーカートリッジを取り扱うときは、必ず取っ手を持ってください。

7　清潔で柔らかい、乾いた、糸くずの出ない布で、内部からトナーの粉や紙ぼこりを取り除きます。

注意

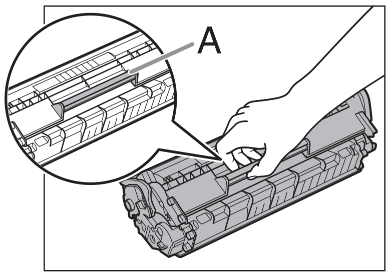
- 定着器（A）は使用中に熱くなります。触らないように注意してください。
- 本製品を損傷することがありますので、搬送ローラ（B）に触らないでください。



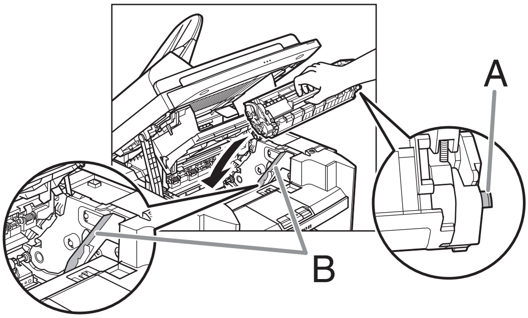
- 手や衣類にトナーが付着した場合は、冷水で洗ってください。温水を使うとトナーが定着し、落ちなくなります。

8　トナーカートリッジの取っ手を持ちます。

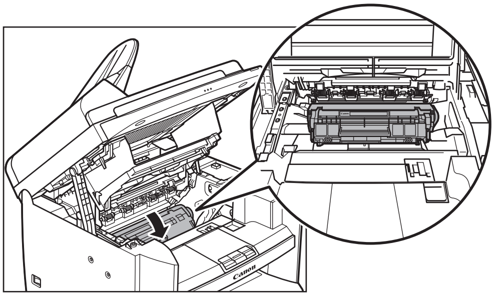
矢印（A）を本体に向けてください。



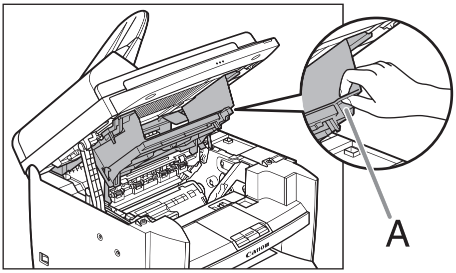
9 トナーカートリッジの右端の突起（A）を本体内部のガイド（B）の下側に合わせ、ガイドに沿って収めます。



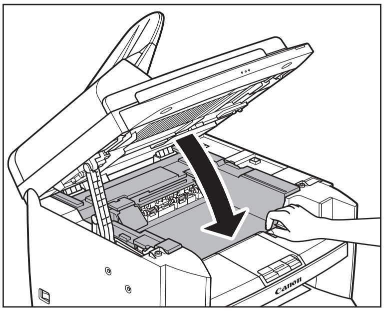
10 トナーカートリッジが完全に本体に収まるまで手で押し込みます。



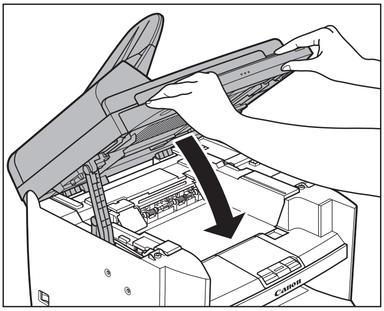
11 トナーカバーの右手前にあるつまみ（A）を持ちます。



12 トナーカバーを閉じます。



13 操作パネル部を下げます。



注意

- 指をはさまないよう注意してください。
- トナーカバーが閉まらない場合は、無理に閉めないでください。トナーカバーを開けて、トナーカートリッジが正しくセットされているかを確認してください。

14 電源コードを接続し、主電源スイッチを入れます。

定着器のお手入れ

プリントされた用紙に黒いスジが現れる場合は、定着器が汚れている可能性があります。このような場合は、以下の手順で定着器をクリーニングしてください。トナーカートリッジを交換したときにもクリーニングしてください。A4 の白紙を手差しトレイにセットし、クリーニングを開始します。

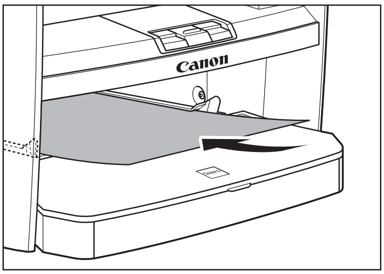
メモ

クリーニングには約 130 秒かかります。

1 **［初期設定／登録］を押します。**

2 **［◄ –］または［+ ►］を押して <チョウセイ／　クリーニング>を選択し、［OK］を押します。**

3 **A4 の白紙を 1 枚、手差しトレイにセットします。**



4 **［◄ –］または［+ ►］を押して <テイチャクキノ　クリーニング>を選択し、［OK］を押します。**

クリーニングが開始されます。

メモ

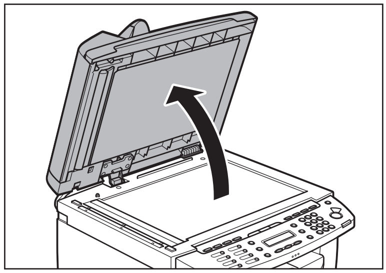
- クリーニング用の用紙は普通紙を使用してください。
- クリーニングに使用した用紙は、クリーニング終了後、廃棄してください。

読み取りエリアのお手入れ

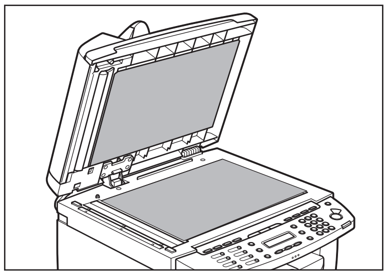
コピーや送信ファクスの品質を保つため、読み取りエリアを清掃してください。

● 原稿台ガラス

1 **原稿台ガラスカバーを開きます。**



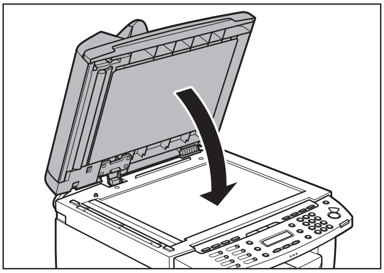
2 **水を含ませてかたく絞った布で、原稿台ガラスと原稿台ガラスカバーの下面を拭きます。次に、乾いた柔らかい布で拭きます。**



メモ

水分を含ませすぎた布で拭くと、原稿が破れたり、本製品を損傷したりする可能性があります。布はかたく絞ってください。

3 **原稿台ガラスカバーを閉じます。**



注意

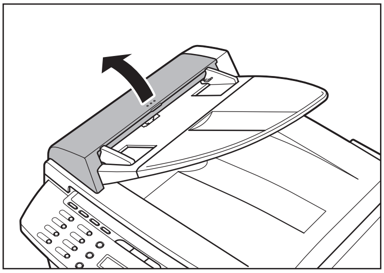
指をはさまないよう注意してください。

● ADF

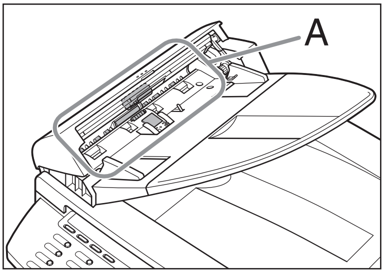
ADF を使ってコピーすると、黒いスジが出る場合があります。これは、ADF の読み取り部分に付着したのり、インク、修正液などが原因です。柔らかく清潔な布で、読み取り部分を拭いてください。

1 **主電源スイッチを切り、電源コードを抜きます。**

2 **ADF を開きます。**



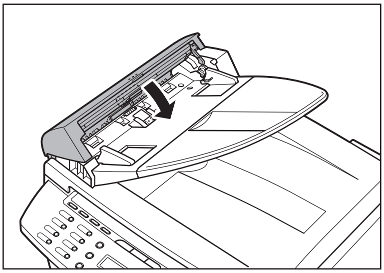
3 **水を含ませた布で、ADF 内部のローラ（A）を拭きます。次に、乾いた柔らかい布で拭きます。**



メモ

水分を含ませすぎた布で拭くと、原稿が破れたり、本製品を損傷したりする可能性があります。布はかたく絞ってください。

4 ADF を閉じます。



⚠ 注意

指をはさまないよう注意してください。

5 電源コードを接続し、主電源スイッチを入れます。

トナーカートリッジの交換時期

トナーが残り少なくなってくると、ディスプレイに<トナーショウ（ケイゾクプリントカ）／トナージュンビ>と表示されます。この場合は、トナーを均一にならしてください。トナーがなくなった場合にすぐに交換できるように、新しいトナーカートリッジを用意しておくことをおすすめします。
<トナーガ　ナクナリマシタ／トナーヲ　コウカンシテクダサイ>と表示された場合には、トナーを均一にならしてください。メッセージが引き続き表示された場合は、新しいトナーカートリッジに交換してください。コピー中およびプリント中にこのメッセージが表示されると、実行中のコピーまたはプリントは継続して印刷されます。ファクス受信中にこのメッセージが表示されると、受信したファクスはプリントされずにメモリに保存されます。
交換用のトナーカートリッジが手元にはなく、取り急ぎトナーカートリッジを交換しないで、受信したデータやレポートをプリントしたい場合は、<ファクスセッテイ>の<プリント　セッテイ>で<インジケイゾク>を< ON >に設定してください。工場出荷時の初期値は< OFF >に設定されています。トナー交換後は<インジケイゾク>を<OFF>に戻しておくことをおすすめします。（→メニューの設定内容：P.12-3）

注意

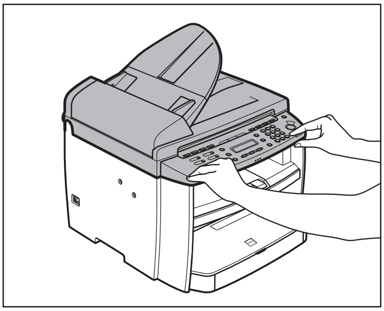
- <インジケイゾク>を< ON >に設定した場合、途中で印字が薄くなったり、かすれて読み取りができなかったりすることがあります。しかしメモリ内の受信データはプリントと同時に消えるため、再度、プリントすることができません。
- 「注意高温」の表示がある部分とローラ部は高温になっています。内部を点検するときは、触れないように注意してください。やけどの原因になることがあります。

メモ

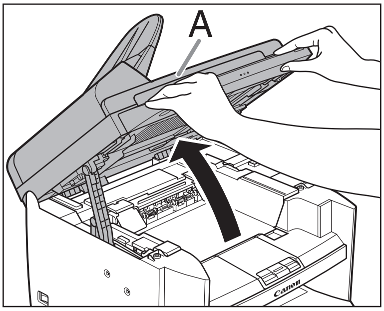
［トナー残量］を押し、トナーカートリッジが寿命の場合も、トナーカートリッジを交換してください。（→トナー残量の確認：P.1-12）

トナーを均一にならす

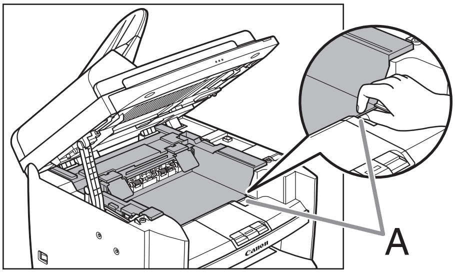
1 操作パネル部の両端を両手で持ちます。



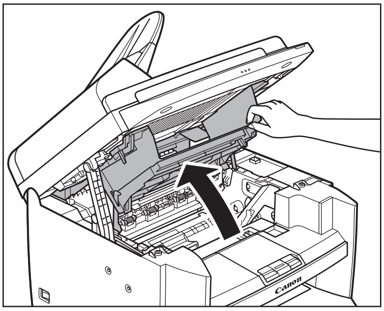
2 操作パネル部（A）をロックされるまで両手で持ち上げます。（かちりという音がします。）



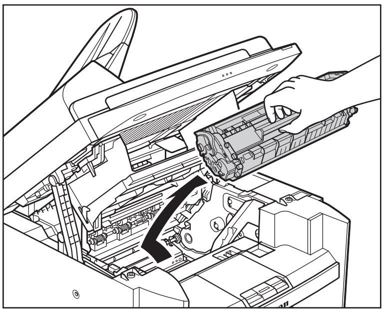
3 トナーカバーの右手前にあるつまみ（A）を持ちます。



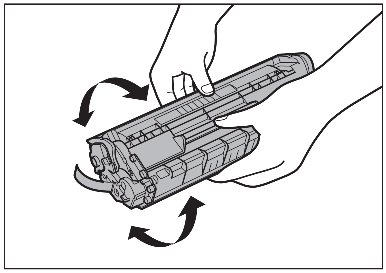
4 トナーカバーを開けます。



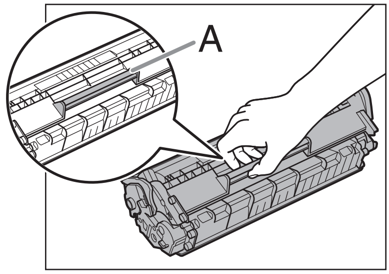
5 トナーカートリッジを取り出します。



6 トナーカートリッジをゆっくりと数回振り、トナーを均一にならします。

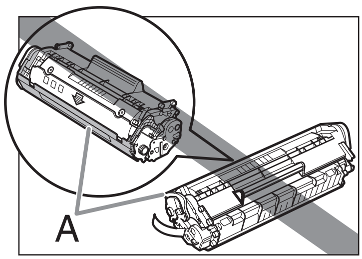


7 トナーカートリッジの取っ手（A）を持ちます。



注意

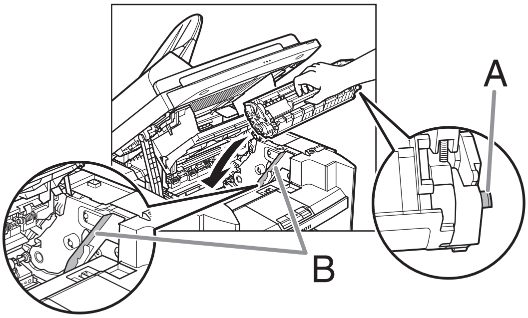
トナーカートリッジのドラム保護シャッター（A）を開けないでください。ドラムの表面に光が当たったり傷が付いたりした場合、印字の質が低下することがあります。



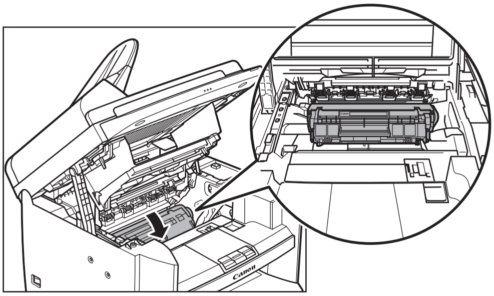
メモ

トナーカートリッジを取り扱うときは、必ず取っ手を持ってください。

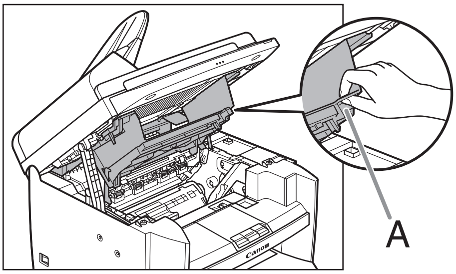
8 トナーカートリッジの右端の突起（A）を本体内部のガイド（B）の下側に合わせ、ガイドに沿って収めます。



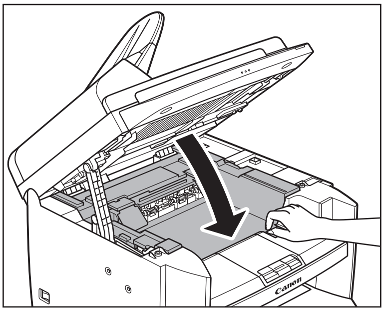
9 トナーカートリッジが完全に本体に収まるまで手で押し込みます。



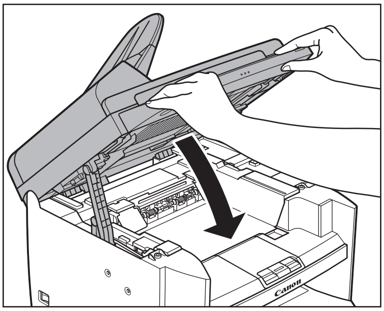
10 トナーカバーの右手前にあるつまみ（A）を持ちます。



11 トナーカバーを閉じます。



12 操作パネル部を下げます。

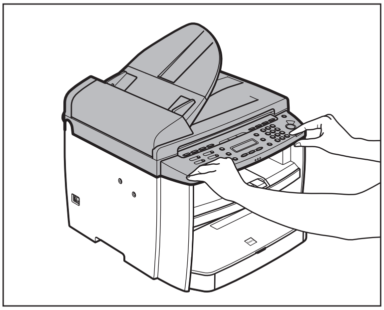


注意

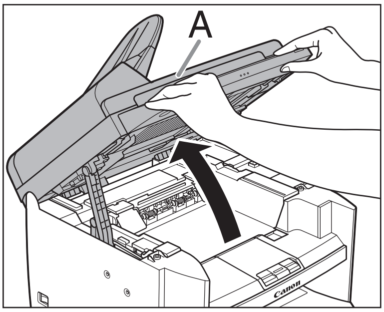
・ 指をはさまないよう注意してください。
・ トナーカバーが閉まらない場合は、無理に閉めないでください。トナーカバーを開けて、トナーカートリッジが正しくセットされているかを確認してください。

トナーカートリッジを交換する

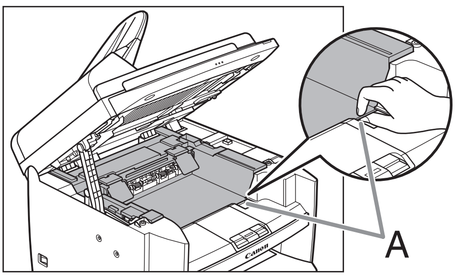
1 操作パネル部の両端を両手で持ちます。



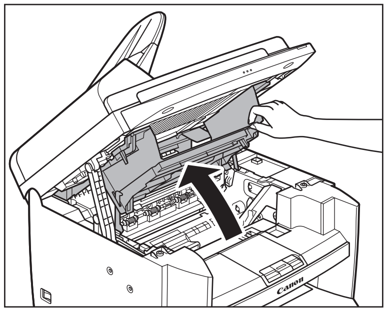
2 操作パネル部（A）をロックされるまで両手で持ち上げます。



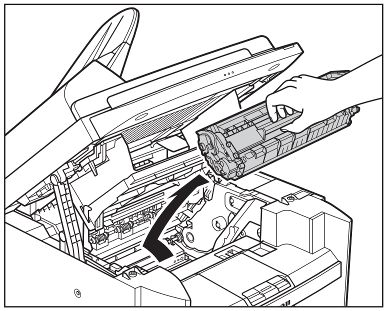
3 トナーカバーの右手前にあるつまみ（A）を持ちます。



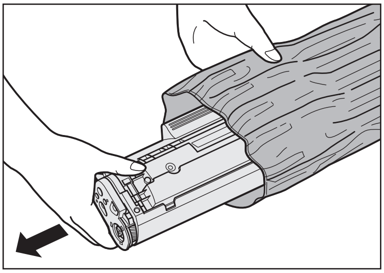
4 トナーカバーを開けます。



5 トナーカートリッジを取り出します。



6 保護袋から新しいトナーカートリッジを取り出します。

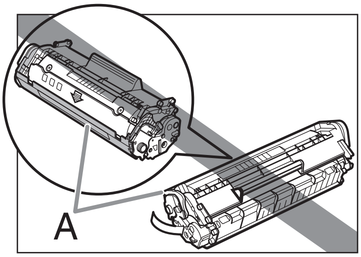


メモ

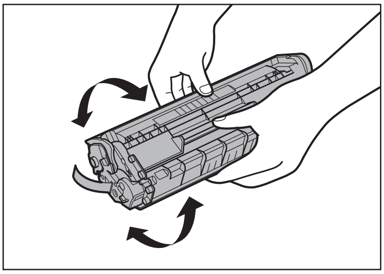
保護袋は保存しておいてください。後で本製品からトナーカートリッジを取り外す際に必要となります。

注意

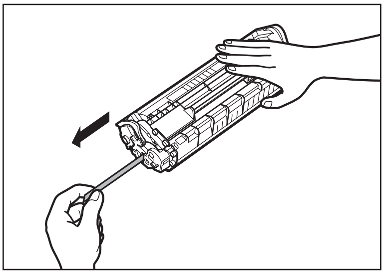
トナーカートリッジのドラム保護シャッター（A）を開けないでください。ドラムの表面に光が当たったり傷が付いたりした場合、印字の質が低下することがあります。



7 トナーカートリッジをゆっくりと数回振り、トナーを均一にならします。



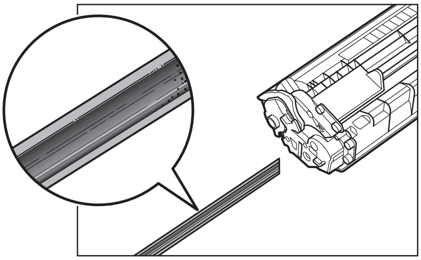
8 トナーカートリッジを平らな場所におき、片手でトナーカートリッジを押さえながら、シーリングテープを完全に引き抜きます。



メモ

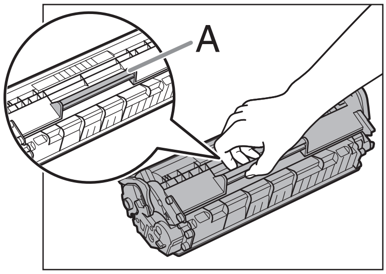
シーリングテープはまっすぐに引き抜いてください。

注意



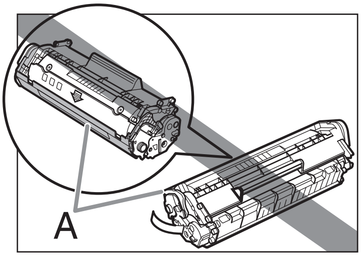
- 引き抜いたシーリングテープには、トナーが付着していることがあります。手や衣服を汚さないように注意してください。
- 手や衣類にトナーが付着した場合は、冷水で洗ってください。温水を使うと、トナーが定着し、落ちなくなります。

9 トナーカートリッジの取っ手（A）を持ちます。



注意

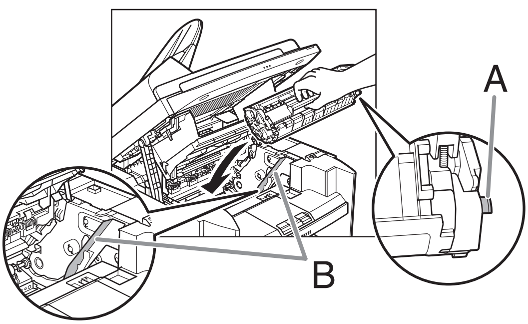
トナーカートリッジのドラム保護シャッター（A）を開けないでください。ドラムの表面に光が当たったり傷が付いたりした場合、印字の質が低下することがあります。



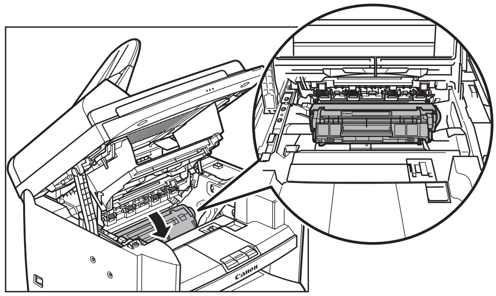
メモ

トナーカートリッジを取り扱うときは、必ず取っ手を持ってください。

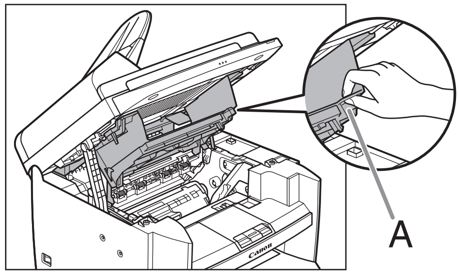
10 トナーカートリッジの右端の突起（A）を本体内部のガイド（B）の下側に合わせ、ガイドに沿って収めます。



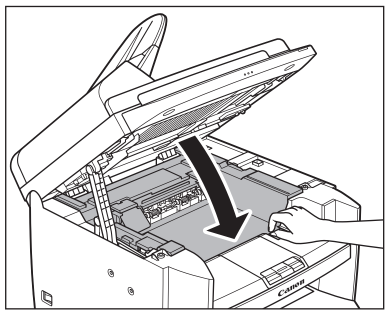
11 トナーカートリッジが完全に本体に収まるまで手で押し込みます。



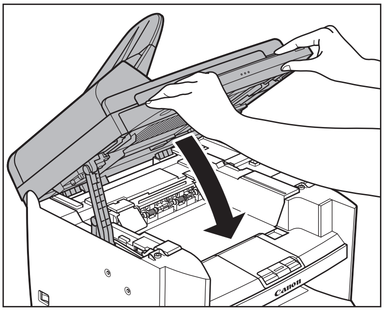
12 トナーカバーの右手前にあるつまみ（A）を持ちます。



13 トナーカバーを閉じます。



14 操作パネル部を下げます。



注意

- 指をはさまないよう注意してください。
- トナーカバーが閉まらない場合は、無理に閉めないでください。トナーカバーを開けて、トナーカートリッジが正しくセットされているかを確認してください。

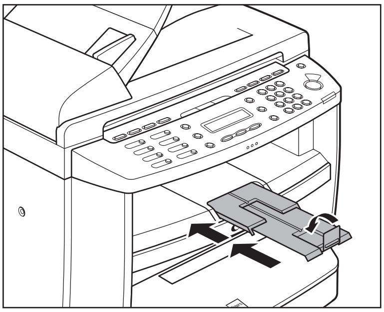
本製品を移動するとき

本製品を長距離移動する場合などは、振動による損傷を防ぐため、以下の手順に従ってください。

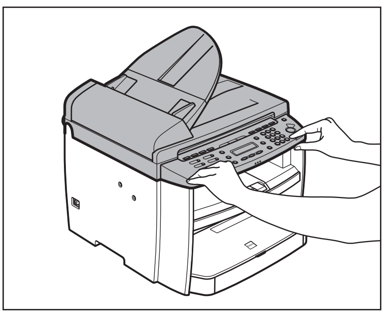
1 主電源スイッチを切ります。

2 電源コード、およびすべてのケーブルを本製品の背面から外します。

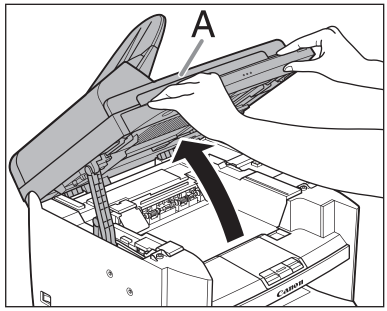
3 排紙補助トレイを使用している場合は、排紙ストッパーを折りたたみ、排紙補助トレイを本体内部に押し込みます。



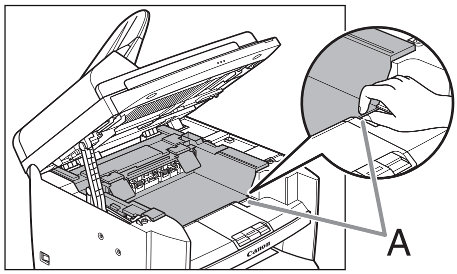
4 操作パネル部の両端を両手で持ちます。



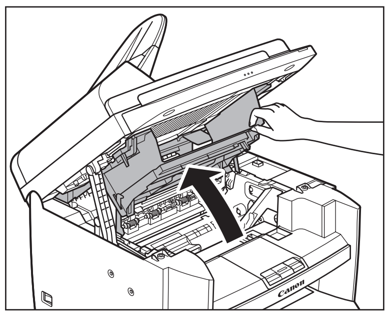
5 操作パネル部（A）をロックされるまで両手で持ち上げます。（かちりという音がします。）



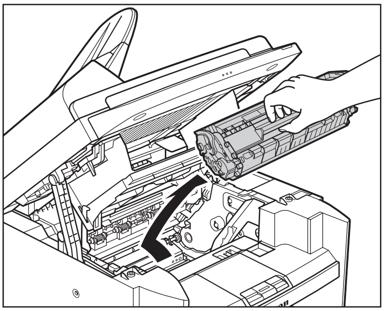
6 トナーカバーの右手前にあるつまみ（A）を持ちます。



7 トナーカバーを開けます。

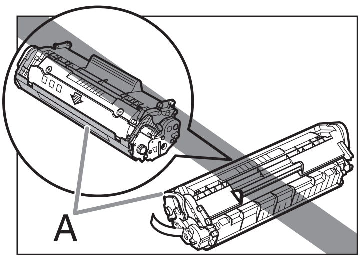


8 トナーカートリッジを取り出します。



注意

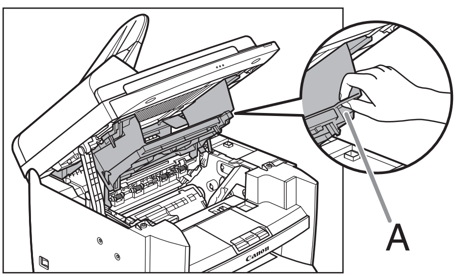
- トナーカートリッジを光に当てないよう、保護袋に入れるか厚手の布で包んでください。
- トナーカートリッジのドラム保護シャッター（A）を開けないでください。ドラムの表面に光が当たったり傷が付いたりした場合、印字の質が低下することがあります。



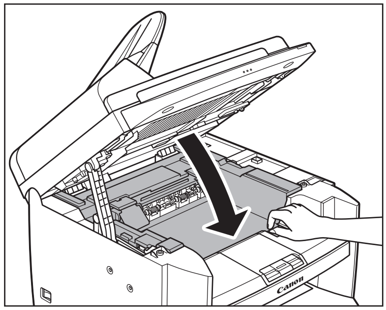
メモ

トナーカートリッジを取り扱うときは、必ず取っ手を持ってください。

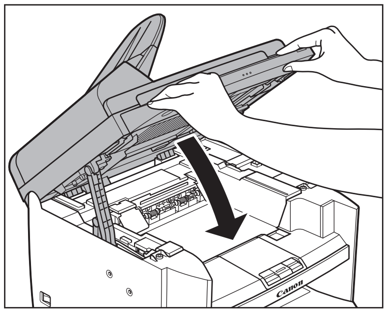
9 トナーカバーの右手前にあるつまみ（A）を持ちます。



10 トナーカバーを閉じます。



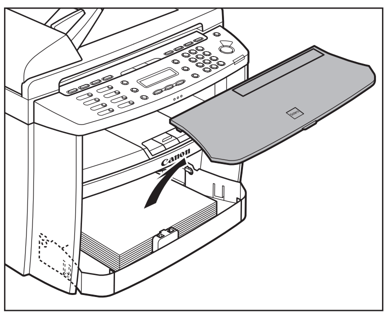
11 操作パネル部を下げます。



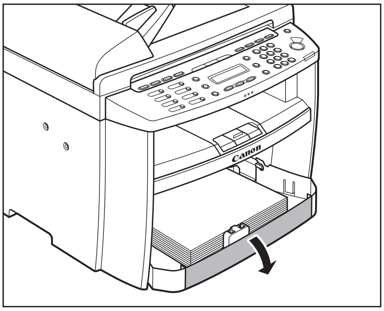
注意

指をはさまないよう注意してください。

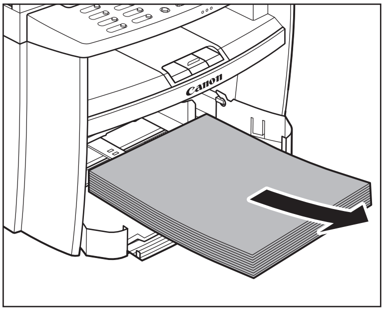
12 用紙カバーを用紙カセットから取り外します。



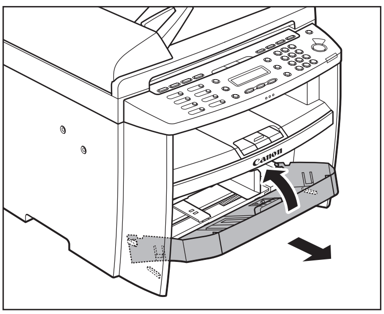
13 用紙カセットの前面部を開きます。



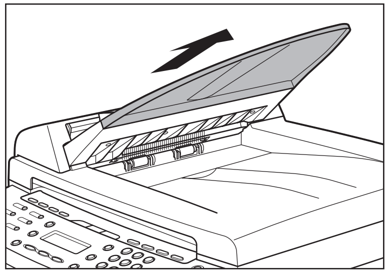
14 用紙カセットから用紙を取り出します。



15 用紙カセットの前面部を持ち上げ、手前に引いて取り外します。

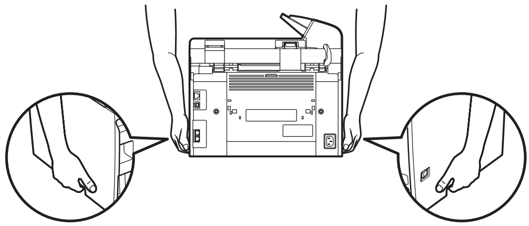


16 原稿給紙トレイを取り外します。



17 すべてのカバーが閉じていることを確認します。

18 左右にある取っ手を使って、本製品を持ち上げます。



注意

- 付属品を持って本製品を持ち上げないでください。本製品を落とすと、けがをする恐れがあります。
- 腰が悪い方は、持ち上げる前に本製品の重さを確認してください。（→付録：P.13-1）

11 困ったときには

用紙がつまったときには

ここでは、紙づまりが起きた場合の対処について説明します。エラーメッセージが表示された場合については、「ディスプレイの表示」（→ P.11-9）を参照してください。それ以外のトラブルについては、操作ガイド（総合編）「第 10 章 困ったときには」、またはスキャナドライバガイド「第 3 章 困ったときには」を参照してください。
ディスプレイに<ゲンコウヲ　テンケン　シテクダサイ>、<ヨウシガ　ツマリマシタ>、または<ヨウシガ　ツマリマシタ／ウシロカバーヲ　アケテクダサイ>と表示された場合は、ADF か本体内部で紙づまりが起きています。つまった原稿や用紙を取り除いてください。用紙カセットや手差しトレイにも用紙がつまっていたら、それも取り除いてください。紙づまりが繰り返し起こる場合は、以下を確認してください。

- 本製品に用紙をセットする前に、平らな場所でそろえてください。
- お使いの用紙が本製品に適しているか、確認してください。
  （→使用可能な用紙：P.2-6）
- つまった用紙の切れ端が本体内部に残っていないか、確認してください。

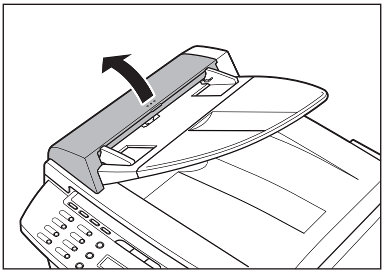
注意

- つまった原稿や用紙を取り除くときは、原稿や用紙の端で手を切らないよう注意してください。
- つまった用紙を取り除くときや、本体内部を点検するときは、ネックレス、ブレスレットなどの金属製品が本体内部の部品と接触しないようにしてください。やけどや感電の恐れがあります。
- 用紙が破れた場合は、切れ端がつまらないように、すべて取り除いてください。
- 手や衣類にトナーが付着した場合は、冷水で洗ってください。温水で洗うとトナーが定着し、落ちなくなります。
- つまった原稿や用紙を本体から無理に取り除かないでください。問題が解決できない場合は、お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センターにご連絡ください。

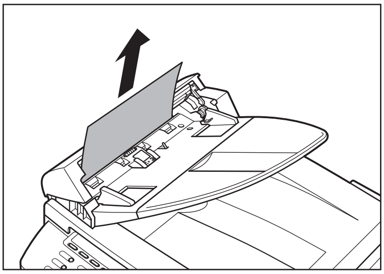
ADF につまった原稿を取り除く

ディスプレイに<ゲンコウヲ　テンケン　シテクダサイ>と表示された場合は、ADF からつまった原稿を取り除いてください。

1 ADF を開きます。



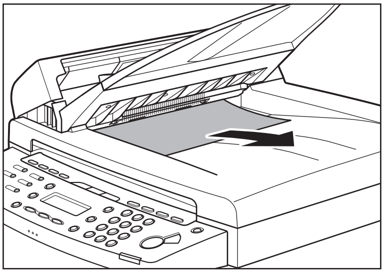
2 つまった原稿の両端を持って、ADF から静かに取り除きます。



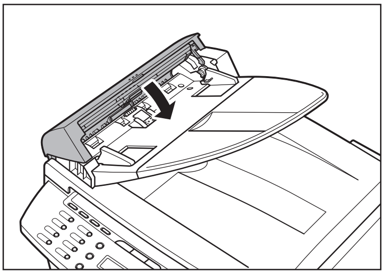
メモ

原稿を強く引っ張らないでください。原稿が破れることがあります。

3 つまった原稿の両端を持って、排紙トレイから静かに取り除きます。



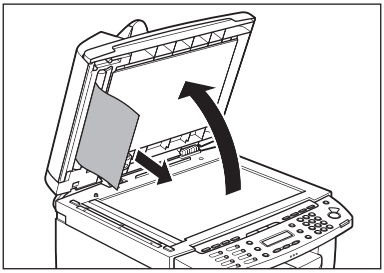
4 ADF を閉じます。



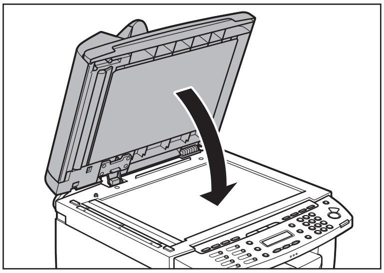
注意

指をはさまないよう注意してください。

5 原稿台ガラスカバーを開き、つまった原稿を取り除きます。



6 原稿台ガラスカバーを閉じます。



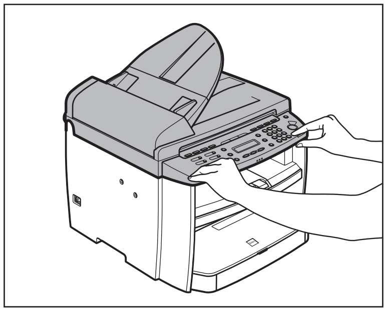
⚠ **注意**

指をはさまないよう注意してください。

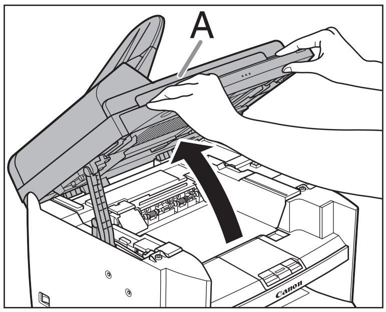
本体内部につまった用紙を取り除く

ディスプレイに<ヨウシガ　ツマリマシタ>または<ヨウシガ　ツマリマシタ／ウシロカバーヲ　アケテクダサイ>と表示された場合は、本体内部からつまった用紙を取り除いてください。用紙カセットや手差しトレイにも用紙がつまっていたら、それも取り除きます。

1 **操作パネル部の両端を両手で持ちます。**

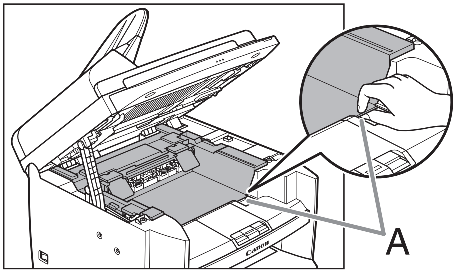


2 **操作パネル部（A）をロックされるまで両手で持ち上げます。（かちりという音がします。）**

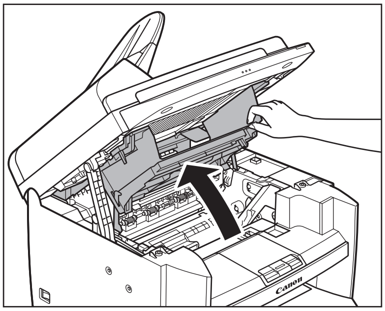


困ったときには

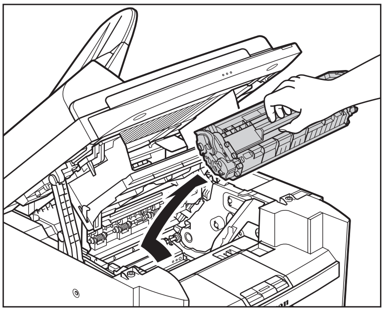
3 トナーカバーの右手前にあるつまみ（A）を持ちます。



4 トナーカバーを開けます。

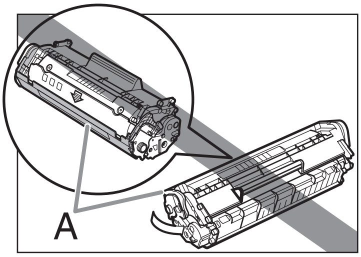


5 トナーカートリッジを取り出します。



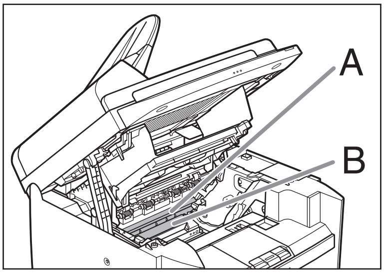
注意

- 「注意高温」の表示がある部分とローラ部は高温になっています。内部を点検するときは、触れないように注意してください。やけどの原因になることがあります。
- 本体内部に触れる際は、時計、ブレスレット、指輪などを外しておいてください。内部の部品と接触して、損傷する場合があります。
- トナーカートリッジを光に当てないよう、保護袋に入れるか厚手の布で包んでください。
- トナーカートリッジのドラム保護シャッター（A）を開けないでください。ドラムの表面に光が当たったり傷が付いたりした場合、印字の質が低下することがあります。



メモ

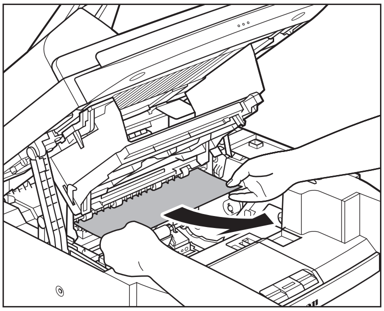
トナーカートリッジを取り扱うときは、必ず取っ手を持ってください。



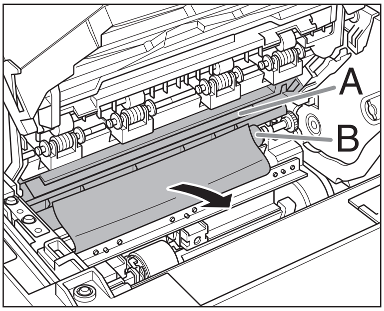
注意

- 定着器（A）は使用中に熱くなります。触らないように注意してください。
- 本製品を損傷することがありますので、搬送ローラ（B）に触らないでください。

6 つまった用紙の両端を持って、静かに引き出します。



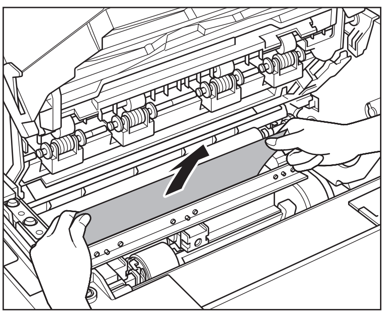
7 定着器と搬送ローラの間につまった用紙を、先端が見えるまで静かに引き出します。



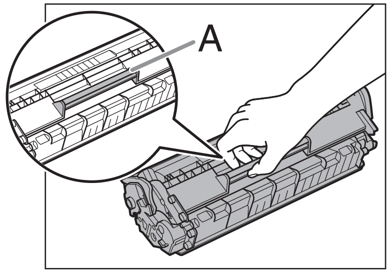
注意

- 定着器（A）は使用中に熱くなります。触らないように注意してください。
- 本製品を損傷することがありますので、搬送ローラ（B）に触らないでください。

8 つまった用紙をゆっくりと引き出します。

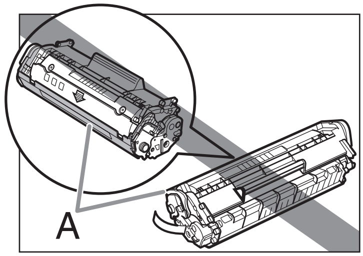


9 トナーカートリッジの取っ手（A）を持ちます。



注意

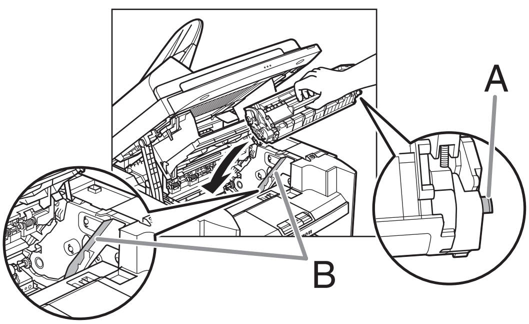
トナーカートリッジのドラム保護シャッター（A）を開けないでください。ドラムの表面に光が当たったり傷が付いたりした場合、印字の質が低下することがあります。



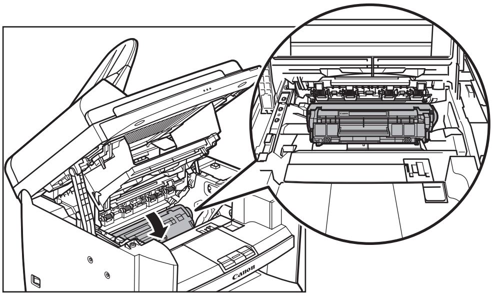
メモ

トナーカートリッジを取り扱うときは、必ず取っ手を持ってください。

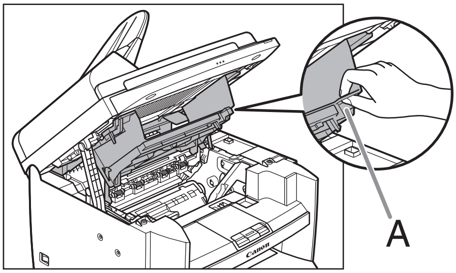
10 トナーカートリッジの右端の突起（A）を本体内部のガイド（B）の下側に合わせ、ガイドに沿って収めます。



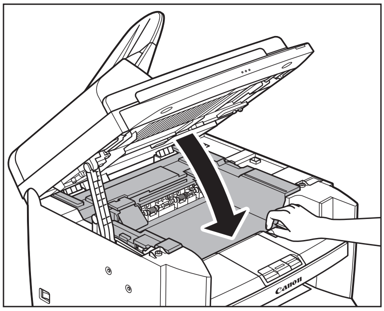
11 トナーカートリッジが完全に本体に収まるまで手で押し込みます。



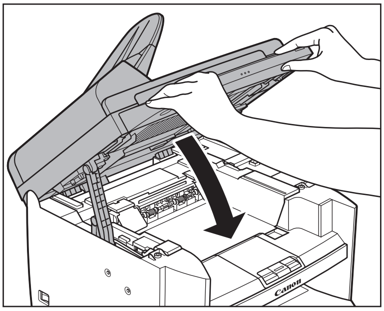
12 トナーカバーの右手前にあるつまみ（A）を持ちます。



13 トナーカバーを閉じます。



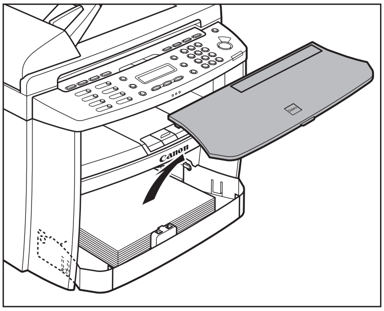
14 操作パネル部を下げます。



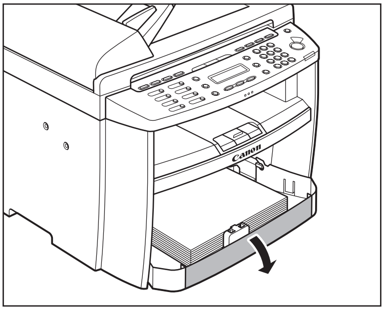
注意

- 指をはさまないよう注意してください。
- トナーカバーが閉まらない場合は、無理に閉めないでください。トナーカバーを開けて、トナーカートリッジが正しくセットされているかを確認してください。

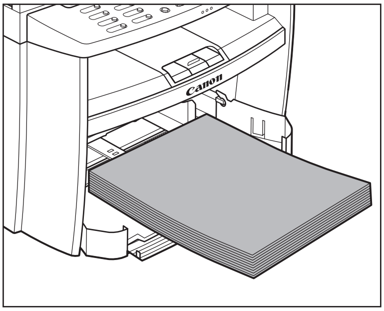
15 用紙カセットから用紙カバーを取り除きます。



16 用紙カセットの前面部を開きます。

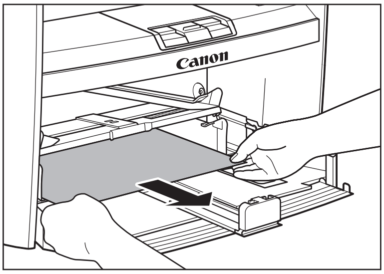


17 用紙カセットの用紙を取り除きます。

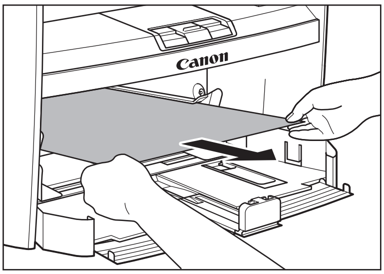


18 つまった用紙の両端を持って、静かに矢印の方向に引き出します。

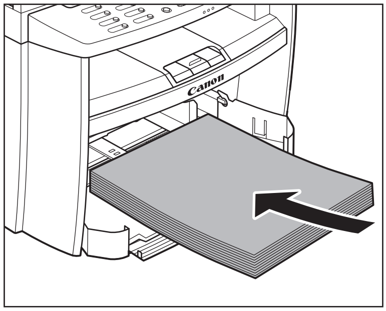
・用紙カセットから給紙している場合



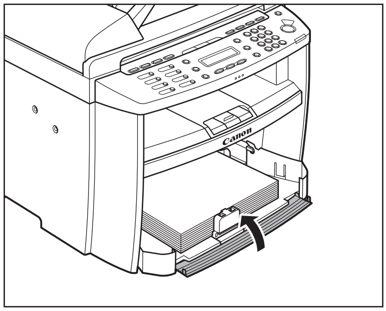
・手差しトレイから給紙している場合



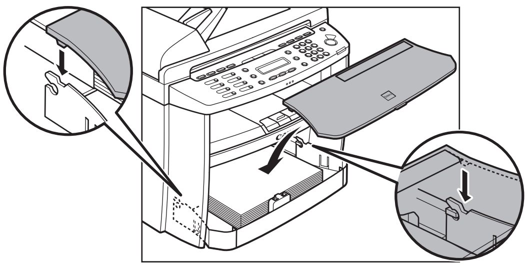
19 用紙カセットに用紙をセットします。



20 用紙カセットの前面部を閉じます。

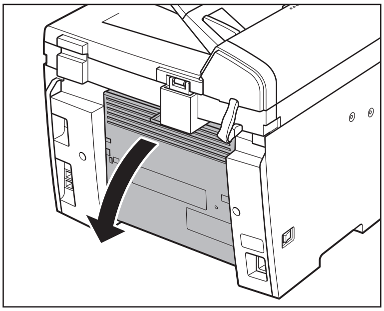


21 用紙カバーを用紙カセットに合わせます。



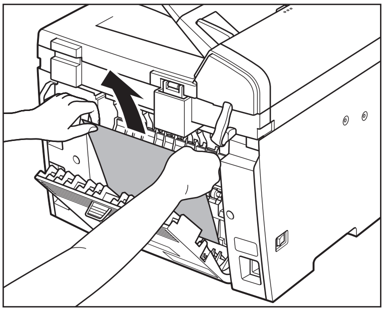
22 後ろカバーを開きます。

この手順は、ディスプレイに＜ウシロカバーヲ　アケテクダサイ＞と表示されたときだけ、必要です。

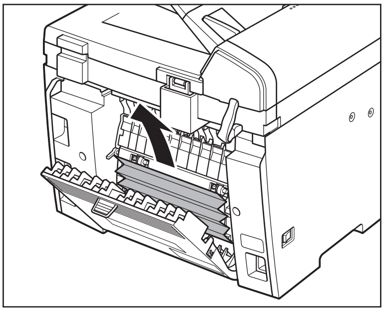


23 つまった用紙の両端を持って、静かに上方に引き出します。

この手順は、ディスプレイに＜ウシロカバーヲ　アケテクダサイ＞と表示されたときだけ、必要です。

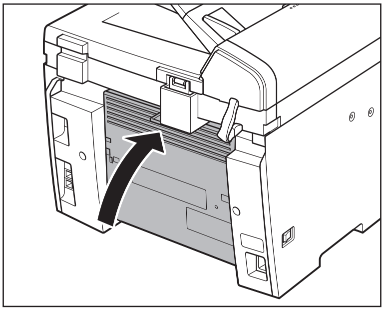


つまった用紙がひどく折れ曲がっている場合は、用紙を伸ばしてから引き抜いてください。



24 後ろカバーを閉じます。

この手順は、ディスプレイに＜ウシロカバーヲ　アケテクダサイ＞と表示されたときだけ、必要です。



注意

指をはさまないよう注意してください。

メモ

背面につまった用紙を取り除いた後は、トナーカバーを開閉して本製品をリセットしてください。

ディスプレイの表示

ディスプレイに表示されるエラーメッセージについては、以下の表を参照してください。

メッセージ	原因	処置
アテサキヲ　カクニンシテクダサイ	2 回目に入力したファクス番号が 1 回目に入力した番号と異なる。＜ファクスセッテイ＞の＜ソウシン　キノウ　セッテイ＞で＜ダイヤルジ　カイセンカクニン＞が＜ON＞に設定されているときに表示される。	ファクス番号が正しいかどうか、確認してください。[スタート] を押してから、1 回目に入力した番号と同じ番号を入力してください。
ガゾウガ　ウシナワレマシタ	バックアップ時間を超えたため、本体の電源を入れたときに、メモリに蓄積されていたデータが失われた。	2 秒後に自動的にエラーが解除され、メモリクリアレポートがプリントされます。
カバーヲ　シメテクダサイ トナーカバー	トナーカバーが完全に閉じていない。	トナーカバーが完全に閉じているか確認してください。
ゲンコウヲ　テンケン　シテクダサイ	ADF 内で原稿がつまっている。	つまった原稿をADFから取り除いてください。 (→用紙がつまったときには：P.11-1)
コノキノウハ　シヨウデキマセン	[リダイヤル／ポーズ] を使ってのリダイヤルはできない。 ＜システム　カンリ　セッテイ＞の＜ソウシンキノウノ　セイゲン＞で＜リダイヤルノ　セイゲン＞が＜ ON ＞に設定されているときに表示される。	＜リダイヤルノ　セイゲン＞を＜ OFF ＞に設定するか、手動でダイヤルしてください。
コレイジョウ　トウロク　デキマセン	・ 入力した同報送信の相手先が最大件数 (124) に達した。 ・ 登録したグループダイヤルの相手先が最大件数 (50) に達した。	・ 数回に分けて送信してください。 ・ 別のワンタッチダイヤルキーに登録してください。
システム　エラー EXXX	本体に何らかのエラーが発生している。＜ XXX ＞はエラーの種類に応じた3桁の番号を示す。	主電源スイッチを切り、10 秒以上待ち、再度主電源スイッチを入れます。これで問題が解消しない場合は、主電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いて、キヤノンお客様相談センターにご連絡ください。
シバラク　オマチクダサイ	主電源スイッチを入れたとき、またはプリント操作の準備ができていない場合に表示される。	メッセージが消えるまでお待ちください。

メッセージ	原因	処置
ジュシンデータプリントデキマセン エラーカイジョゴ　プリント	何らかのエラーが発生したため、受信データをメモリに一時的に保存した。 このエラーメッセージは以下のエラーメッセージと交互に表示される。 ・＜カバーヲ　シメテクダサイ／トナーカバー＞ ・＜タダシイヨウシヲ　セットシテクダサイ＞ ・＜テザシノ　ヨウシヲ　ジョキョ＞ ・＜トウロクサイズヲ　ヘンコウ／ -> ヨウシセッテイ＞ ・＜トナーガ　ナクナリマシタ／トナーヲ　コウカンシテクダサイ＞ ・＜パネルヲ　モチアゲテクダサイ／トナーカバーヲ　アケテクダサイ＞ ・＜ヨウシガ　ツマリマシタ＞ ・＜ヨウシガ　ツマリマシタ／ウシロカバーヲ　アケテクダサイ＞ ・＜ヨウシヲ　セット　シナオシテ　クダサイ／トナーヲ　セット　シナオシテクダサイ＞ ・＜ヨウシヲ　ホキュウシテクダサイ＞	このエラーメッセージは他のエラーメッセージと交互に表示されます。エラーが解消された後、受信データはプリントされます。対処方法については、一緒に表示されるメッセージの対処方法を参照してください。
ジュワキヲ　オイテクダサイ	外付け電話機の受話器が外れている。	受話器を置いてください。
ステニ　トウロクサレテイマス	・グループダイヤル登録中に、すでに登録済みのワンタッチダイヤル、または短縮ダイヤルを登録しようとした。 ・同報送信入力中に、すでに入力済みのワンタッチダイヤル、または短縮ダイヤルを入力しようとした。	使用する前にワンタッチダイヤル、または短縮ダイヤルに登録されている情報を確認してください。
タダシイヨウシヲ　セットシテクダサイ	用紙カセットまたは手差しトレイにある用紙のサイズが＜ヨウシ　セッテイ＞メニューの＜カセット＞または＜テザシトレイ＞で指定した用紙と違う。	用紙をセットしなおすか＜ヨウシ　セッテイ＞メニューで指定した用紙サイズを変更してください。(→＜タダシイヨウシヲ　セットシテクダサイ＞と表示された場合：P.11-17)

メッセージ	原因	処置
テザシノ　ヨウシヲ　ジョキョ	手差しトレイに用紙がセットされている。	手差しトレイにセットされている用紙を取り除いてください。手差しトレイに用紙がセットされていると、ファクス、レポートおよびリストはプリントされずにメモリに蓄積されます。
トウロクサイズヲ　ヘンコウ -> ヨウシセッテイ	プリントに適切な用紙サイズが設定されていない。	・ レポート、リスト、受信したデータをプリントする場合は、＜ヨウシセッテイ＞の＜カセット＞を＜ A4 ＞、＜ OFICIO ＞、＜ BRAZIL-OFICIO ＞、＜ MEXICO-OFICIO ＞、＜ FOLIO ＞、＜GOVERNMENT-LETTER＞、＜GOVERNMENT-LEGAL＞、＜FOOLSCAP＞、＜LTR＞、または＜ LGL ＞に設定してください。（→用紙のサイズと種類を設定する：P.2-17） ・ 受信したデータを両面印刷する場合は、＜ヨウシセッテイ＞の＜カセット＞を＜A4＞または＜ LTR ＞に設定してください。（→用紙のサイズと種類を設定する：P.2-17） ・ 両面コピーする場合は、＜ヨウシセッテイ＞の＜カセット＞または＜テザシトレイ＞を＜ A4 ＞または＜ LTR ＞に設定してください。（→用紙のサイズと種類を設定する：P.2-17）
トウロクチュウノ　キーデス トウロク　デキマセン	グループダイヤル登録中に、グループダイヤルとして割り当てようとしているワンタッチダイヤルキー自体を指定した。	他のワンタッチダイヤル、または短縮ダイヤルを指定してください。

メッセージ	原因	処置
トナーガ　ナクナリマシタ **トナーヲ　コウカンシテクダサイ**	トナーがなくなった。	トナーを均一にならしてください。(→トナーを均一にならす：P.10-8) メッセージが引き続き表示された場合は、新しいトナーカートリッジに交換してください。コピー中およびプリント中にこのメッセージが表示されると、実行中のジョブは継続して印刷されます。ファクス受信中にこのメッセージが表示されると、受信したファクスはプリントされずにメモリに保存されます。トナーカートリッジの交換をしないで受信したファクスをプリントする場合は、＜ファクスセッテイ＞の＜プリント　セッテイ＞で＜インジケイゾク＞を＜ ON ＞に設定してください。トナー交換後は＜インジケイゾク＞を＜OFF＞に戻しておくことをおすすめします。(→メニューの設定内容：P.12-3)
トナーショウ（ケイゾクプリントカ） **トナージュンビ**	トナーが残り少なくなっている。	トナーを均一にならしてください。(→トナーを均一にならす：P.10-8) トナーがなくなった場合にすぐに交換できるように、新しいトナーカートリッジを用意してください。
ニュウリョクシタニチジガチガイマス	＜タイマー　セッテイ＞の＜ヒヅケ／ジコク　セッテイ＞で、無効な数値が入力された。	正しい数値を入力してください。
パスワードガ　チガイマス	メモリ受信パスワードまたはシステムパスワードが正しくありません。	正しいパスワードを入力してください。(→操作ガイド（総合編）「第４章 送信と受信」「受信応用機能」、操作ガイド（総合編）「第８章 システム管理設定」「システム管理暗証番号を設定する」)

メッセージ	原因	処置
パネルヲ　モチアゲテクダサイ トナーカバーヲ　アケテクダサイ	何らかのエラーが発生した。	このエラーメッセージは、他のエラーメッセージと交互に表示されます。対処方法は一緒に表示されるエラーメッセージの対処方法を参照してください。 （例えば＜ヨウシヲ　セット　シナオシテ　クダサイ／トナーヲ　セット　シナオシテ　クダサイ＞。）
プリンタ　データエラー プリンタヲ　テンケン　シテクダサイ	本体に何らかのエラーが発生している。	主電源スイッチを切り、10 秒ほど待ち、再度主電源スイッチを入れます。これで問題が解消しない場合は、主電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いて、キヤノンお客様相談センターにご連絡ください。
ミトウロクデス	指定したワンタッチダイヤルキーや短縮ダイヤルに、宛先が登録されていない。	スピードダイヤルに、宛先を登録してください。詳細については、「ワンタッチダイヤル／短縮ダイヤルを登録／編集する」（→P.4-6）を参照してください。
ムコウデス	・ ワンタッチダイヤルの登録中に、すでにグループダイヤルとして登録済みのワンタッチダイヤルキーに登録しようとした。 ・ グループダイヤルの登録中に、すでにワンタッチダイヤルとして登録済みのワンタッチダイヤルキーに登録しようとした。	未使用のワンタッチダイヤルキーに登録してください。
メモリ　ザンリョウ	利用できるメモリ残量のメッセージで、送信時に原稿を ADF にセットすると表示される。	メモリ容量が不足する場合は、メモリ内の文書が送信されるまでお待ちください。メモリに保存されている原稿をプリント、送信、または削除してください。

メッセージ	原因	処置
メモリガ　イッパイデス	・ジョブがいっぱいになった。 ・メモリに保存できる送受信ジョブ数が最大件数に達した。	・メモリに保存されている原稿をプリント、送信、または削除してください。 ・原稿または画像データを分割して送信してみてください。 ・解像度を下げて送信してください。 ・本製品のメモリに保存できるジョブ数は、送受信ジョブ合わせて 256 です（相手側のファクスがCanon Satera MF4270 で、ITU-T チャート No.1 を標準モードで送信した場合のジョブ数）。メモリ内の文書が送信されるまでお待ちください。または、メモリに保存されている原稿をプリント、送信、または削除してください。
ヨウシガ　ツマリマシタ	本体内で紙づまりが起きた。 このエラーメッセージは<パネルヲ　モチアゲテクダサイ／トナーカバーヲ　アケテクダサイ>のエラーメッセージと交互に表示される。	つまった用紙を取り除いて（→用紙がつまったときには：P.11-1）、用紙カセットまたは手差しトレイに用紙をセットしなおしてください。次にカバーを開閉して実行中のジョブを再開してください。
ヨウシガ　ツマリマシタ ウシロカバーヲ　アケテクダサイ	本体内で紙づまりが起きた。 このエラーメッセージは<パネルヲ　モチアゲテクダサイ／トナーカバーヲ　アケテクダサイ>のエラーメッセージと交互に表示される。	つまった用紙を取り除いて（→用紙がつまったときには：P.11-1）、用紙カセットまたは手差しトレイに用紙をセットしなおしてください。次にトナーカバーを開閉して本製品をリセットしてください。

メッセージ	原因	処置
ヨウシヲ　セット　シナオシテクダサイ **トナーヲ　セット　シナオシテクダサイ**	用紙が正しくセットされていないか、トナーカートリッジが正しくセットされていない。	用紙カセットと手差しトレイからセットされている用紙を取り除いてください。そのあと、用紙をセットしなおしてください。用紙カセットに用紙をセットする方法については、スタートアップガイド「本製品のセットアップ」「用紙カセットを組み立て、用紙をセットする」を参照してください。手差しトレイに用紙をセットする方法については、「手差しトレイにセットする」（→ P.2-11）を参照してください。 トナーカートリッジを正しくセットしてください。（→スタートアップガイド「本製品のセットアップ」「トナーカートリッジをセットする」）
ヨウシヲ　ホキュウシテクダサイ	・ コピーまたはプリント時に用紙カセットまたは手差しトレイに用紙がセットされていない。 ・ 受信文書のプリント時に用紙カセットまたは手差しトレイに用紙がセットされていない。また、レポートやリストのプリント時に適切な用紙サイズが設定されていない。このエラーメッセージは＜トウロクサイズヲ　ヘンコウ／-＞ヨウシセッテイ＞または＜ジュシンデータプリントデキマセン＞のエラーメッセージと交互に表示される。	・ 用紙をセットしてください。用紙カセットの場合は、用紙をセットしたあとに［OK］を押してください。 ・ 用紙をセットしてください。用紙カセットの場合は、用紙をセットしたあとに［OK］を押してください。レポートやリストのプリント時の場合は、用紙サイズを＜ A4 ＞、＜ OFICIO ＞、＜ BRAZIL-OFICIO ＞、＜ MEXICO-OFICIO ＞、＜ FOLIO ＞、＜GOVERNMENT-LETTER＞、＜GOVERNMENT-LEGAL＞、＜ FOOLSCAP ＞、＜ LTR ＞、または＜ LGL ＞に設定し、設定したサイズの用紙をセットしてください。

エラーコード

エラーコードは、エラーが起きた場合にエラー送信レポートまたはエラー受信レポートに記録される 4 桁のコードです。

2007 12/31 15:50 123XXXXXXX　　　　ｷﾔﾉﾝ　　　　P . 001

****
***　　ｴﾗｰｿｳｼﾝ ﾚﾎﾟｰﾄ　　***
****

ｳｹﾂｹNO.	ﾂｳｼﾝﾓｰﾄﾞ	NO.	ｱｲﾃｻｷ	ｶｲｼｼﾞｺｸ	ﾍﾟｰｼﾞ	ﾂｳｼﾝｹｯｶ
0001	ｿｳｼﾝ G3	001	ｷﾔﾉﾝ ﾎﾝｼｬ 111XXXXXXX	12 / 31 15:50	000	STOP 00 ' 00
			00A0 : ｿｳｼﾝｦ ﾁｭｳｼｼﾏｼﾀ			

エラーコード

詳細については、操作ガイド（総合編）「第 11 章 付録」「レポートを自動でプリントする」を参照してください。

エラーコードについては、以下の表を参照してください。

エラーコード	原因	処置
0001	相手先のファクスが G3 ファクスではない。	先方が対応できるモードまたは通信速度で原稿を送ってください。
0070	受信を手動で中止した。	相手先に連絡して、再度送信してもらってください。
0071	メモリがいっぱいになった。	メモリ内に蓄積されているジョブをプリント、送信、または削除してください。
0080	相手先のファクスから 35 秒以内に応答がない。	もう一度原稿を送ってください。相手先に連絡して、先方のファクスをチェックしてもらってください。海外に送信する場合は、ファクス／電話番号の前にポーズを入れてください。
008D	相手機が用紙切れで送信できない。	用紙を補給するよう、相手先に連絡してください。
00A0	送信を手動で中止した。	再度送信してください。
00A1	原稿がつまった。	つまった原稿を取り除いてください。 （→用紙がつまったときには：P.11-1）
00FF	リダイヤルに失敗した。	相手先の番号が正しいか、または電話線が正しく接続されているか確認してください。

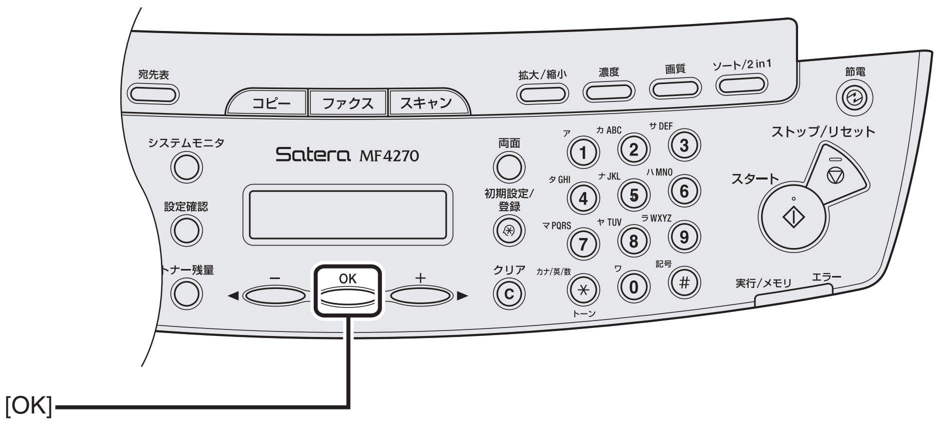
<タダシイヨウシヲ　セットシテクダサイ>と表示された場合

＜ヨウシ　セッテイ＞メニューの＜カセット＞または＜テザシトレイ＞に設定されている用紙サイズと、用紙カセットまたは手差しトレイにセットされている用紙サイズが異なる場合に表示されるメッセージです。このメッセージが表示された場合は、＜ヨウシ　セッテイ＞メニューに設定されているサイズの用紙をセットするか、＜ヨウシ　セッテイ＞メニューに設定されているサイズをセットされている用紙サイズに合わせて変更してください。

メモ

プリントジョブの場合は、本製品ではなくコンピュータ側で用紙サイズを指定してください。

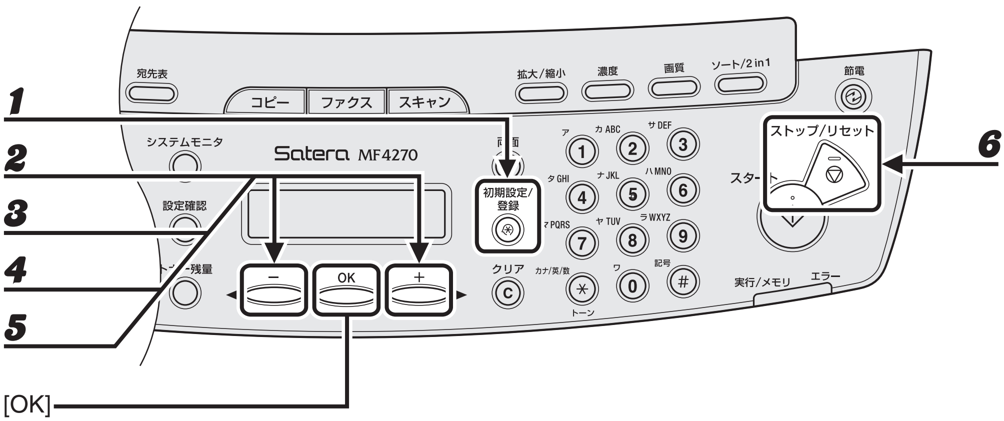
用紙をセットしなおす



1　**ディスプレイに表示されているサイズの用紙をセットします。**

用紙カセットに用紙をセットした場合は、[OK] を押すとプリントが再開されます。
手差しトレイに用紙をセットした場合は、そのままプリントが再開されます。

用紙サイズ設定を変更する



---

1 **［初期設定／登録］を押します。**

メモ

コピー中に＜タダシイヨウシヲ　セットシテクダサイ＞と表示された場合は、＜ヨウシセッテイ＞メニューの設定を変更できません。この場合は、ジョブを中止してから、［初期設定／登録］を押して用紙のサイズを変更してください。コピージョブの中止の詳細については「コピージョブの中止」（→ P.3-14）を参照してください。

2 **［◀ −］または［+ ▶］を押して＜ヨウシ　セッテイ＞を選択し、［OK］を押します。**

3 **［◀ −］または［+ ▶］を押して＜カセット＞または＜テザシトレイ＞を選択し、［OK］を押します。**

4 **［◀ −］または［+ ▶］を押して＜ヨウシ　サイズ＞を選択し、［OK］を押します。**

5 **［◀ −］または［+ ▶］を押してセットされている用紙のサイズを選択し、［OK］を押します。**

6 **［ストップ／リセット］を押して待受画面に戻ります。**

これで原稿をコピーする準備ができました。
ファクスジョブの場合は、手順 7 に進んでください。

7 **［OK］を押してジョブを再開します。**

これで操作は完了です。

電力供給が止まったら

突然停電が起きたり、電源コードが抜けた場合でも、内蔵バッテリによりユーザデータ設定内容やスピードダイヤルの登録内容は記憶されています。メモリ内に蓄積されたジョブは、約 10 分間保存されます。
電力供給が止まっている間の機能は、以下のように制限されます。

・ 送受信、コピー、スキャン、プリントはできません。
・ 外付け電話機を使っての電話はかけられないことがあります。ただし、お使いの電話機の種類によって異なります。
・ 外付け電話機を使って電話を受けられることがあります。ただし、お使いの電話機の種類によって異なります。

メモ

内蔵バッテリを完全に充電するには主電源を入れてから約 6 時間かかります。充電が不十分だとメモリ内にデータがきちんと保存されない場合があります。

トラブルが解決しない場合

本章の説明を参照してもトラブルが解決しない場合は、お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センター（巻末参照）にご連絡ください。
ご連絡の際には、以下をお手元にご用意ください。

・ 製品名（Satera MF4270）
・ シリアル番号（本体裏面のラベルに記載されています）
・ 購入先
・ トラブルの内容
・ トラブルにどのような対処をされたか、およびその結果

注意

本製品から変な音がしたり、煙が出たり変なにおいがする場合は、すぐに主電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いて、お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センターにご連絡ください。ご自分で分解したり、修理したりしないでください。

メモ

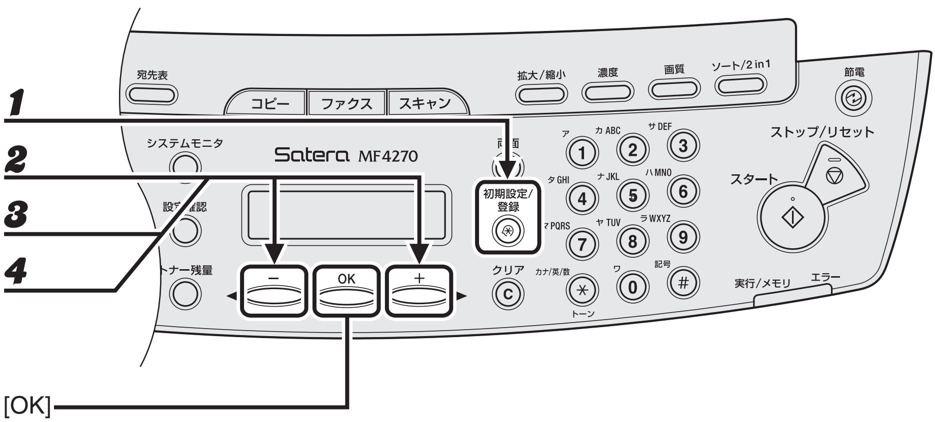
ご自分で分解修理した場合、保証の対象外になることがあります。

12 各種機能の登録／設定

各種機能を登録／設定する

設定メニューから機能内容を設定／変更することができます。現在の設定内容を確認するには、ユーザデータリストをプリントしてください。

ユーザデータリストをプリントする



1 ［初期設定／登録］を押します。

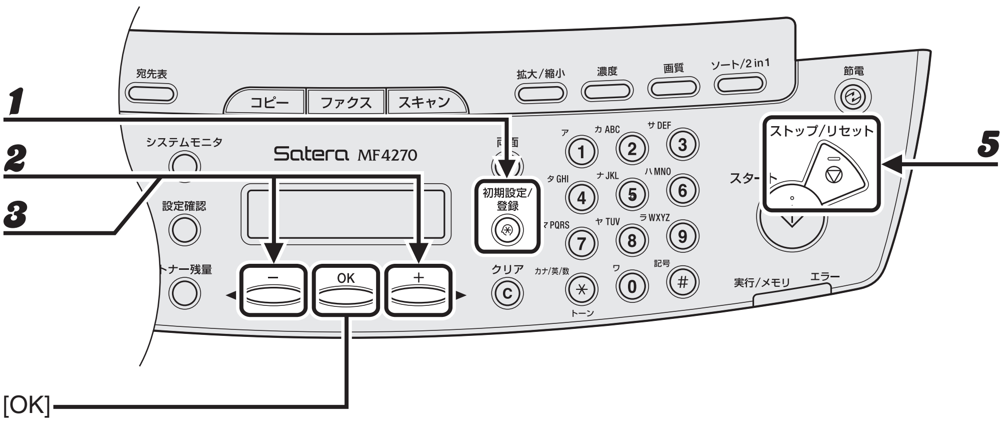
2 ［◄－］または［＋►］を押して<レポート　セッテイ>を選択し、［OK］を押します。

3 ［◄－］または［＋►］を押して<リストプリント>を選択し、［OK］を押します。

4 ［◄－］または［＋►］を押して<ユーザ　データ　リスト>を選択し、［OK］を押します。

プリントが始まり、自動的に待受画面に戻ります。

設定メニューを使う



1 **［初期設定／登録］を押します。**

2 **［◄ー］または［＋►］を押してメニューを選択し、［OK］を押します。**

＜ヨウシ　セッテイ＞
＜オンリョウ　チョウセイ＞
＜ドウホウ＞
＜キョウツウ　シヨウ　セッテイ＞
＜コピー　シヨウ　セッテイ＞
＜ファクスセッテイ＞
＜アテサキヒョウ　シヨウセッテイ＞
＜プリント　セッテイ＞
＜タイマー　セッテイ＞
＜チョウセイ／　クリーニング＞
＜レポート　セッテイ＞
＜システム　カンリ　セッテイ＞

3 **［◄ー］または［＋►］を押してサブメニューを選択し、［OK］を押します。**

メモ

サブメニューの詳細は「メニューの設定内容」（→ P.12-3）を参照してください。

4 **設定内容を登録するか、サブメニュー項目に進む場合は、［OK］を押します。**

5 **終了したら、［ストップ／リセット］を押して待受画面に戻ります。**

メモ

- ［OK］の前に［ストップ／リセット］を押した場合は、設定内容は保存されません。
- ［初期設定／登録］を押して直前の画面に戻ります。

メニューの設定内容

以下の項目を設定できます。

メモ

以下、表中の**太字**は工場出荷時の設定です。

用紙設定	
設定項目	設定内容
1 カセット	用紙カセットにセットした用紙のサイズと種類を選択します。 （→用紙のサイズと種類を設定する：P.2-17）
1. ヨウシ　サイズ	用紙カセットにセットした用紙のサイズを選択します。 （**A4**、B5、A5、エグゼクティブ、ヨウガタ　4 ゴウ、ヨウガタ 2 ゴウ、ハガキ、オウフクハガキ、OFICIO、BRAZIL-OFICIO、MEXICO-OFICIO、FOLIO、GOVERNMENT-LETTER、GOVERNMENT-LEGAL、FOOLSCAP、LTR、LGL）
2. ヨウシノ　シュルイ	用紙カセットで使用する用紙の種類を選択します。 （**フツウシ**、フツウシ L、アツガミ、アツガミ H、OHP　フィルム）
2 テザシトレイ	手差しトレイにセットした用紙のサイズと種類を選択します。 （→用紙のサイズと種類を設定する：P.2-17）
1. ヨウシ　サイズ	手差しトレイにセットした用紙のサイズを選択します。 （**A4**、B5、A5、エグゼクティブ、ヨウガタ　4 ゴウ、ヨウガタ 2 ゴウ、ハガキ、オウフクハガキ、OFICIO、BRAZIL-OFICIO、MEXICO-OFICIO、FOLIO、GOVERNMENT-LETTER、GOVERNMENT-LEGAL、FOOLSCAP、LTR、LGL）
2. ヨウシノ　シュルイ	手差しトレイで使用する用紙の種類を選択します。 （**フツウシ**、フツウシ L、アツガミ、アツガミ H、OHP　フィルム）

音量調整	
設定項目	設定内容
1 ツウシン　オンリョウ	ファクス送信中の通信音を設定します。（0 ～ 3（**2**））
2 ニュウリョクオン	操作パネルキーの入力音を設定します。（0 ～ 3（**2**））
3 ケイコクオン	送信失敗などのエラーが起きたときの警告音を設定します。 （0 ～ 3（**2**））

同報

設定項目	設定内容
1 ドウホウ	同報送信の宛先を指定します。1 度に 124 件まで指定できます。（→操作ガイド（総合編）「第 4 章 送信と受信」「送信応用機能」）

共通仕様設定

設定項目	設定内容
1 ショキキノウノ　セッテイ	電源を入れたときに表示される待受画面を選択します。 **・ コピー** ・ ファクス ・ スキャン
2 トナーセーブモード	トナーの消費量を節約するかどうかを設定します。 **・ OFF** ・ ON * この機能は、プリントジョブについては無効になります。

コピー仕様設定

設定項目	設定内容
1 ヒョウジュンモードノ　ヘンコウ	コピーの初期値を設定します。
1. ガシツ	コピーする原稿の種類を設定します。* **・ モジ／シャシン** ・ モジ ・ シャシン ・ モジ／シャシン + * 濃度が<ジドウ>に設定されている場合、画質モードを選択すると読み取り濃度は自動的に<シュドウ>に切り替わります。
2. ヨミトリ　ノウド	コピー濃度を設定します。 ・ **シュドウ**（1 ～ 9（**5**）） ・ ジドウ* * <ジドウ>を設定すると、画質モードは自動的に<モジ>に切り替わります。
3. バイリツ	コピーの倍率を設定します。
テイケイヘンバイ	用紙の規格に合わせた倍率を選択します。 （**100%**、115% B5　→ A4、122% A5　→ B5、129% STMT → LTR、141% A5　→ A4、200% MAX.、50% MIN.、64%、70%　A4　→ A5、78% LGL → LTR、81% B5　→ A5、86% A4　→ B5）

各種機能の登録／設定

コピー仕様設定	
シュドウ	1%刻みで倍率を入力します。(50% ～ 200%(**100%**))
4. ジドウソート	コピーを自動でソートするかどうかを設定します。 ・ **OFF** ・ ON
5. リョウメン	自動的に両面コピーするかどうかを設定します。 ・ **OFF** ・ ON(**ジョウゲビラキ**、サユウビラキ)
2 サイズ　ケイレツ	用紙サイズグループを選択します。* ・ **AB** ・ インチ ・ A * 用紙サイズグループを変更すると、定形変倍で選択できる拡大縮小率が切り替わります。

ファクス設定	
設定項目	**設定内容**
1 ジュシンモード	受信モードを選択します。(→スタートアップガイド「ファクス受信の設定」「受信モードを設定する」) ・ **ジドウ** ・ ルス TEL ・ FAX/TEL ・ シュドウ
2 キホントウロク	ファクスの基本機能を設定します。
1. ユーザ TEL バンゴウトウロク	お使いのファクス番号(スペースを含め最大 20 文字)を登録します。(→スタートアップガイド「ファクス送信の設定」「発信元の情報を登録する」)
2. ユーザリャクショウ　トウロク	発信元のユーザ名／会社名(スペースを含め最大 32 文字)を登録します。(→スタートアップガイド「ファクス送信の設定」「発信元の情報を登録する」)
3. ハッシンモト　キロク	発信元情報を、各ページに印字するかどうかを設定します。 ・ **ON*** * ＜ ON ＞を設定すると、＜ユーザ TEL バンゴウトウロク＞と＜ユーザリャクショウ　トウロク＞に登録した情報が各ページに印字されます。 ・ OFF
4. カイセン　シュルイ　センタク	電話回線の種類を自動で設定するか手動で設定するかを選択します。(→電話回線の種類:P.1-13)
ジドウ	電話回線の種類を自動で設定します。
シュドウ	電話回線の種類を手動で選択します。 ・ **プッシュカイセン** ・ ダイヤルカイセン(**20PPS**、10PPS)

ファクス設定	
5. ヒョウジュンモードノヘンコウ	ファクスの初期値を設定します。
1. ヨミトリ　ノウド	ファクスの読み取り濃度を設定します。（1 ～ 9（**5**））
2. ガシツ	ファクスの画質を設定します。 ・ **ヒョウジュン** ・ ファイン ・ シャシン ・ スーパーファイン
3 ソウシン　キノウ　セッテイ	送信機能を設定します。
1. ジドウ　リダイヤル	相手先が話し中、または送信エラーが起きた場合、自動的にリダイヤルするかどうかを設定します。（→操作ガイド（総合編）「第 4 章 送信と受信」「ファクスダイヤル機能」）
ON	リダイヤル方法を設定します。
リダイヤル　カイスウ	何回リダイヤルするかを設定します。（1 回～ 10 回（**2 回**））
リダイヤル　カンカク	リダイヤルまでの時間を設定します。（2 分～ 99 分（**2 分**））
OFF	リダイヤルしません。
2. ダイヤルジカイセン　カクニン	ダイヤル時に回線確認するかどうかを設定します。 ・ **ON** ・ OFF
4 ジュシン　キノウ　セッテイ	受信機能を設定します。
1. F/T　ショウサイ　セッテイ	< FAX/TEL >モードの詳細項目を設定します。（→操作ガイド（総合編）「第 4 章 送信と受信」「受信応用機能」）
ヨビダシ　カイシ　ジカン	着信に応答してから呼び出し音を鳴らすまでの時間を設定します。（4 秒～ 30 秒（**6 秒**））
ヨビダシ　ジカン	音声通話の場合に、呼び出し音を鳴らす時間を設定します。（10 秒～ 45 秒（**22 秒**））
ヨビダシゴノ　ドウサ	呼び出し時間が経過したら受信モードに切り替えるか、通話を終了するかを設定します。 ・ **ジュシン** ・ シュウリョウ

ファクス設定	
2. チャクシン　ヨビダシ	＜ジュシンモード＞が＜ジドウ＞に設定されている場合、外付け電話機の呼び出し音を鳴らすようにするかどうかを設定します。 この設定を＜ ON ＞にした場合、ファクス受信時は、呼び出し音でファクスを受信したことがわかるようになります。電話着信時は、外付け電話機が鳴っている間に受話器を取れば、相手と通話できます。
ON	外付け電話機が接続されている場合は、呼び出し音を鳴らします。
ヨビダシ　カイスウ	本製品が応答するまでの着信呼び出し音の回数を設定します。（1 回〜 16 回（**2 回**））
OFF	呼び出し音は鳴りません。（スリープモードに入っているときに、外付け電話機が鳴る場合があります。）
3. リモート　ジュシン	リモート受信するかどうかを設定します。（→操作ガイド（総合編）「第 4 章 送信と受信」「受信応用機能」）
ON	リモート受信します。
リモート　ジュシン ID	外付け電話機から ID 番号をダイヤルして受信を開始することができます。 0 〜 9 を使用した 2 桁の ID が設定できます。（初期値：**25**）
OFF	リモート受信しません。
4. ジュシン　プリント	受信したファクスをすべてメモリに保存してからプリントするか、受信と同時に各ページをプリントするかを設定します。（→操作ガイド（総合編）「第 4 章 送信と受信」「受信応用機能」）
メモリジュシン	受信した文書をすべてメモリに保存してからプリントします。
プリントジュシン	受信と同時に各ページをプリントします。
5. アイテサキ　ハッシンモトキロク	相手先の発信元情報を、受信したファクスに印字するかどうかを設定します。 ・ **OFF** ・ ON
6. DM セイゲン	番号非通知のファクスの受信を制限できます。（→操作ガイド（総合編）「第 4 章 送信と受信」「受信応用機能」）
OFF	すべてのファクスを受信します。
ON	番号非通知のファクスの受信しません。

ファクス設定	
5 プリント　セッテイ	受信時のプリンタ機能を設定します。
1. ガゾウ　シュクショウ	受信画像がセットされている用紙よりも大きい場合に、受信画像を縮小してプリントするかどうかを設定します。(→操作ガイド(総合編)「第 4 章 送信と受信」「受信応用機能」)
ON	セットされている用紙のサイズに合わせて画像を縮小します。
OFF	画像を縮小しません。
ガゾウ　ショウリャク	用紙サイズからはみ出す部分を最大24mmまで省略してプリントします。
2. リョウメンキロク	受信画像を用紙の両面にプリントするかどうかを設定します。(→操作ガイド(総合編)「第 4 章 送信と受信」「受信応用機能」) ・ **OFF** ・ ON
3. インジケイゾク	トナーが残り少なくなった場合にプリントを継続するかどうかを設定します。受信したファクスおよびレポートのプリント時にのみ有効です。(→トナーカートリッジの交換時期：P.10-8) ・ **OFF** ・ ON

宛先表仕様設定	
設定項目	**設定内容**
1 ワンタッチ　ダイヤル	ワンタッチダイヤルの情報を登録します。8 件まで登録できます。(→ワンタッチダイヤル／短縮ダイヤルを登録／編集する：P.4-6)
ナマエ	相手先の名前（スペースを含め最大 20 文字）を登録します。
デンワバンゴウ	相手先のファクス／電話番号（スペースを含め最大 50 桁）を登録します。
2 タンシュク　ダイヤル	短縮ダイヤルの情報を登録します。100 件まで登録できます。(→ワンタッチダイヤル／短縮ダイヤルを登録／編集する：P.4-6)
ナマエ	相手先の名前（スペースを含め最大 20 文字）を登録します。
デンワバンゴウ	相手先のファクス／電話番号（スペースを含め最大 50 桁）を登録します。
3 グループ　ダイヤル	グループダイヤルを登録します。グループダイヤルは 8 件まで登録できます。1 つのグループダイヤルには最大 50 件まで宛先を登録できます。(→グループダイヤルに宛先を登録する：P.4-11)
ナマエ	グループ名（スペースを含め最大 20 文字）を登録します。
NO.0##=	登録済みのワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルの中から、グループダイヤルとして登録する宛先を指定します。

プリント設定

設定項目	設定内容
1 エラータイムアウト	コンピュータからデータが受信されない場合、エラーになるまでの時間を設定します。
ON	エラータイムアウト時間を設定します。（5 秒～ 300 秒（**15 秒**））
OFF	エラータイムアウトを設定しません。

タイマー設定

設定項目	設定内容
1 ヒヅケ／ジコク　セッテイ	現在の日付と時刻を設定します。 （→スタートアップガイド「本製品のセットアップ」「日付／時刻を設定する」）
2 ヒヅケ／ジコク　タイプ	日付／時刻タイプ日付の表示形式を設定します。 ・ **YYYY MM/DD** ・ MM/DD/YYYY ・ DD/MM YYYY
3 オートスリープ	本製品が一定時間（3 分～ 30 分（**5 分**））使用されない場合に、自動的にスリープモードに入るかどうかを設定します。 （→スリープモードを設定する：P.1-15） ・ **ON** ・ OFF

調整／クリーニング

設定項目	設定内容
1 テイチャクキノ　クリーニング	定着器ローラをクリーニングします。 （→定着器のお手入れ：P.10-5）
2 トクシュモード T	コピー、受信記録、レポートの印刷時に、印字のにじみを防ぐかどうかを設定をします。 この設定を< ON >にした場合、印字濃度が薄くなる可能性があります。 ・ **OFF** ・ ON
3 トクシュモード U	高温多湿、または低温低湿環境での印字品質を改善します。
OFF	通常環境では、この設定を使用します。
モード 1	低温低湿環境での印字品質を改善する場合に設定します。 また厚紙や封筒、はがきなど使用時の印字品質を改善する場合に設定します。
モード 2	高温多湿環境での印字品質を改善する場合に設定します。

調整／クリーニング	
4 トクシュモード V	小型用紙（B5、A5、エグゼクティブなど）がプリント中にカールするのを防ぐかどうかを設定します。 ・ **OFF** ・ ON
5 トクシュモード Y	低温環境でのトナーの定着を改善する場合に設定します。 この設定を＜ ON ＞にした場合、最初のコピーにかかる時間と、スリープモードから復帰するのにかかる時間が長くなります。 ・ **OFF** ・ ON

レポート設定	
設定項目	**設定内容**
1 シヨウセッテイ	レポート設定を設定します。 （→操作ガイド（総合編）「第 11 章 付録」「レポート／リストの概要」）
1. ソウシンケッカ　レポート	送信結果レポートをプリントするかどうかを設定します。
エラージノミ　プリント	エラー時のみ、レポートをプリントします。
プリントシナイ	レポートをプリントしません。
プリントスル	原稿を送信するごとにレポートをプリントします。
2. ジュシンケッカ　レポート	受信結果レポートをプリントするかどうかを設定します。 ・ **プリントシナイ** ・ プリントスル ・ エラージノミ　プリント
3. ツウシンカンリ　レポート	60 回通信するごとに、通信管理レポートを自動的にプリントするかどうかを設定します。 ・ **プリントスル** ・ プリントシナイ

レポート設定	
2 リストプリント	各種レポート／リストをプリントします。
1. ソウシンケッカ　レポート	送信結果レポートを手動でプリントします。
2. ジュシンケッカ　レポート	受信結果レポートを手動でプリントします。
3. ツウシンカンリ　レポート	通信管理レポートを手動でプリントします。
4. メモリデータ　リスト	メモリに保存されているジョブの一覧をプリントします。
5. メモリイメージ　プリント	予約されているジョブの情報と最初のページをプリントします。
6. ワンタッチ　ダイヤル　リスト	ワンタッチダイヤルに登録された宛先の一覧をプリントします。
7. タンシュク　ダイヤル　リスト	短縮ダイヤルに登録された宛先の一覧をプリントします。
8. グループ　ダイヤル　リスト	グループダイヤルに登録されたグループの一覧をプリントします。
9. ユーザ　データ　リスト	メニューで登録した設定一覧をプリントします。（→ユーザデータリストをプリントする：P.12-1）

システム管理設定	
設定項目	**設定内容**
1 システムカンリシャ　セッテイ	＜システム　カンリ　セッテイ＞の内容を保護するため、システム管理者についての情報を設定します。暗証番号を設定すると、＜システム　カンリ　セッテイ＞に接続するたびに暗証番号を入力する必要があります。
1. カンリ　アンショウバンゴウ	システムパスワード 7 桁を登録します。

システム管理設定	
2 ネットワーク　セッテイ	ネットワーク設定を行います。（→操作ガイド（総合編）「第 6 章 ネットワーク」）
1. TCP/IP セッテイ	TCP/IP ネットワークを設定します。
1. IP アドレス　ジドウ シュトク	IP アドレスを自動的に取得するかどうかを設定します。
ON	IP アドレスが自動的に割り当てられます。 ・ 1. DHCP（**ON**/OFF） ・ 2. BOOTP（**OFF**/ON） ・ 3. RARP（**OFF**/ON）
OFF	IP アドレスを手動で割り当てます。
2. IP アドレス	固定 IP アドレスを登録します。（初期値：**000.000.000.000**）（→操作ガイド（総合編）「第 6 章 ネットワーク」「ネットワーク環境で使用するために必要な作業」）
3. サブネット　マスク	固定サブネットマスクを登録します。 （初期値：**000.000.000.000**）
4. ゲートウェイアドレス	固定ゲートウェイアドレスを登録します。 （初期値：**000.000.000.000**）
5. LPD インサツ	プリント用アプリケーションに LPD を使うかどうかを設定します。 ・ **ON** ・ OFF
6. RAW インサツ	プリント用アプリケーションに RAW を使うかどうかを設定します。
ON	RAW を使用します。
OFF	RAW を使用しません。
7. HTTP ヲ　シヨウ	リモート UI に対して HTTP（HyperText Transfer Protocol）を有効にするかどうかを設定します。 ・ ON ・ OFF

システム管理設定	
8. ポートバンゴウ　セッテイ	ポート番号を設定します。
1. LPD	0 ～ 65535（初期値：**515**）
2. RAW	0 ～ 65535（初期値：**9100**）
3. HTTP	0 ～ 65535（初期値：**80**）
4. SNMP	0 ～ 65535（初期値：**161**）
2. SNMP　セッテイ	SNMP の詳細を設定します。
1. SNMP ヲ　シヨウ	SNMP を有効にするかどうかを設定します。 ・ **ON** ・ OFF
2. コミュニティメイ 1	SNMP コミュニティ名 1（初期値：**public**）を設定します。
3. コミュニティメイ 2	SNMP コミュニティ名 2 を設定します。
4. SNMP　カキコミ　カノウ　1	ネットワーク上のコンピュータから本製品にアクセスでき、設定を変更できるようにします。 ・ **ON** ・ OFF
5. SNMP　カキコミ　カノウ　2	ネットワーク上のコンピュータから本製品にアクセスでき、設定を変更できるようにします。 ・ **OFF** ・ ON
3. ETHERNET ドライバ	ネットワークの接続タイプを指定します。
1. ジドウ　ケンシュツ	Ethernet ドライバの検出方法を選択します。
ジドウ	通信モード（半二重／全二重）および Ethernet の種類（10Base-T/100Base-TX）を自動的に検出するよう設定します。
シュドウ	通信モードと Ethernet の種類を手動で設定します。
1. ツウシン　ホウシキ	通信モードを選択します。 ・ **ゼンニジュウ** ・ ハンニジュウ

システム管理設定	
2. ETHERNET ノ シュルイ	Ethernet の種類を選択します。 ・ **100　BASE-TX** ・ 10　BASE-T
2. MAC アドレス	MAC アドレスを確認します。
4. IP アドレス　カクニン	現在のネットワーク設定を確認します。
1. IP アドレス	IP アドレスを確認します。
2. サブネット　マスク	サブネットマスクを確認します。
3. ゲートウェイアドレス	ゲートウェイアドレスを確認します。
5. キドウジカンノ　セッテイ	本製品がネットワーク通信を開始するのを遅らせる時間を設定します。（0 秒～ 300 秒（**60 秒**））
3 ツウシン　カンリセッテイ	ファクス機能を設定します。
1. メモリジュシン　セッテイ	受信原稿はすべてメモリで受信し、自動的にプリントしないようにするかどうかを設定します。（→操作ガイド（総合編）「第 4 章 送信と受信」「受信応用機能」）
OFF	メモリ受信を無効にします。
ON	メモリ受信を有効にします。
1. パスワード	メモリを不正なアクセスから保護するための暗証番号を登録します。
2. ジカン　シテイ	メモリ受信の時間を指定するかどうかを設定します。
OFF	メモリ受信の時間を設定しません。
ON	メモリ受信の時間を設定します。 ・ カイシジコク（初期値：**00:00**） ・ シュウリョウジコク（初期値：**00:00**）
4 ソウシンキノウノ　セイゲン	宛先に関する操作や送信時に使える機能を制限します。
1. リダイヤルノ　セイゲン	［リダイヤル／ポーズ］を押してリダイヤルする機能を無効にするかどうかを設定します。 ・ **OFF** ・ ON
2. ファクス NO. カクニン ニュウリョク	ファクスを送信するときに、入力したファクス番号を確認するかどうかを設定します。 ・ **OFF** ・ ON
5 ファームウェア　コウシン	本製品のファームウェアをバージョンアップする必要がある場合に実行します。

13 付録

主な仕様

全体的な仕様	
● 形式	パーソナルデスクトップ
● 電源	100V　50/60Hz
● 消費電力	最大消費：640W 以下 待機時消費：9W 以下 スリープモード時消費：約 3W
● ウォームアップタイム	10.0 秒以下 * （温度：20 ℃、湿度：65%。本製品の主電源スイッチを入れてから待受画面が表示されるまで） * ウォームアップ時間は、本製品の使用状況や環境によって異なることがあります。
● 重量	約 13.2kg（トナーカートリッジを含む）
● 外形寸法（幅 × 奥行 × 高さ）	390mm × 442mm × 470mm （原稿給紙トレイ／用紙カセット取り付け時）
● 設置スペース（幅 × 奥行）	590mm × 830mm
● 動作環境	温度：7.5 ℃〜 35 ℃ 湿度：5%〜 90%相対湿度
● 使用可能な原稿	→ P.2-1.
● 使用可能な用紙	→ P.2-6.
● プリント範囲	→ P.2-10.
● 読み取り範囲	→ P.2-2.

コピーの仕様

● **読取解像度**	＜モジ／シャシン＞：300dpi × 300dpi ＜モジ＞、＜シャシン＞、＜モジ／シャシン＋＞： 600dpi × 600dpi
● **出力解像度**	600dpi × 600dpi
● **コピー倍率**	1:1 ± 1.0%、1:2.00、1:1.29、1:0.78、1:0.64、1:0.50
● **ファーストコピータイム**	原稿台ガラス：9.0 秒以下（A4）
● **コピー速度**	等倍：A4 20 枚／分
● **コピー部数**	最大 99 部

プリンタの仕様

● **印刷方式**	間接静電気方式（オンデマンド定着）
● **用紙積載可能枚数**	・ 用紙カセット：250 枚（積載高さ 25mm 以下） ・ 手差しトレイ：1 枚
● **排紙枚数**	100 枚（64 ～ 80 g/m^2）
● **プリント速度**	「コピー速度」（→ P.13-2）を参照してください。
● **出力解像度**	600dpi × 600dpi
● **階調**	256 階調
● **トナーカートリッジ**	→ P.1-10.

ファクスの仕様	
● 適用回線	公衆交換電話網（PSTN）[*1]
● 互換性	G3
● データ圧縮方式	MH、MR、MMR
● モデム速度	33.6Kbps 自動フォールバック
● 伝送速度	ページ当り約 3 秒[*2]　ECM-MMR、33.6Kbps でメモリから送信
● 送信／受信メモリ	最大約 256 ページ[*2] （送受信の総ページ数）
● ファクス解像度	＜ヒョウジュン＞：8 画素／ mm × 3.85 ライン／ mm ＜ファイン＞：8 画素／ mm × 7.7 ライン／ mm ＜シャシン＞：8 画素／ mm × 7.7 ライン／ mm ＜スーパーファイン＞:8 画素／ mm × 15.4 ライン／ mm
● ダイヤル方式	・ スピードダイヤル ワンタッチダイヤル（8 件） 短縮ダイヤル（100 件） グループダイヤル（8 セット× 50 件） 宛先表ダイヤル（宛先表キーによる） ・ 通常ダイヤル（テンキーによる） ・ 自動リダイヤル ・ 手動リダイヤル（リダイヤル／ポーズキーによる） ・ 同報送信（124 件）
● 受信方式	・ 自動受信 ・ 電話機によるリモート受信（初期設定 ID: 25）

レポートの仕様	
● レポートの種類	・ 通信管理レポート（60 件ごと） ・ 送信／受信結果レポート ・ 発信元情報

電話の仕様	
● 接続可能な電話	外付け電話機／留守番録音機／データモデム

*1 公衆交換電話網は、現在 28.8Kbps までのモデム速度に対応しています。ただし、電話回線の状態により異なります。

*2 ITU-T（国際電気通信連合の通信規格などを制定する部門）標準チャート No.1、MMR 標準モードによる。

メモ

仕様は予告なく変更されることがあります。

製品が改良され変更になったり、今後発売される製品によって内容が変更になることがありますので、ご了承ください。

本製品に関する情報はこちらでもご確認いただけます。

キヤノン Satera ホームページ

■ http://canon.jp/satera/

付録

索引

本書は本文に再生紙を
使用しています。
本書は揮発性有機化合物（VOC）
ゼロのインキを使用しています。

消耗品のご注文先

販 売 先

電話番号

担当部門

担 当 者

サービス担当者 連絡先

販 売 店

電話番号

担当部門

担 当 者

Canon キヤノン株式会社・キヤノンマーケティングジャパン株式会社

お客様相談センター
（全 国 共 通 番 号）

050-555-90024

［受付時間］ 〈平日〉9:00～20:00
〈土日祝祭日〉10:00～17:00
（1/1～3は休ませていただきます）

※上記番号をご利用いただけない方は 043-211-9627 をご利用ください。
※IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

キヤノンマーケティングジャパン株式会社 〒108-8011 東京都港区港南2-16-6

FT5-1196 (000)
xxxxxxxxxx